PDF オートコンバータ EX　V3

インストール・ガイド

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

＜＜ 目 次 ＞＞

1　このマニュアルにつきまして(重要) 4

1.1　最近の環境に関する注意事項 4

2　シングル版とマルチ版について(重要) 5

2.1　事前確認メールのお願い 5
2.2　ご注意頂きたい事項の詳細 6
2.3　機能･制限の比較表 6

3　インストールに必要な環境 7

3.1　推奨ハードウェア環境 7
3.2　S/W 環境 7
3.2.1　OS 7
3.2.2　動作確認アプリケーション 7

インストール前に 8

3.3　設定･確認事項 8
3.3.1　必要な確認事項 8
3.3.2　正常な動作をしない環境 8
3.3.3　不安定な動作となる可能性のある環境 8
3.3.4　注意事項 8
3.3.5　PDF オートコンバータ EX を 64 bit OS 上で動作させる場合の注意事項 9
3.3.6　64 bit OS 上で Office2013 を使用する場合 9

4　インストール手順 10

4.1　PDF コンバータのインストール 10
4.2　PDF オートコンバータ EX のインストール 10
4.2.1　32bit 版の場合 10
4.2.2　64bit 版の場合 16
4.2.3　Windows 8/Windows Server 2012 の場合 23

5　【重要】WINDOWS SERVER 2008 / 2012 / 7 / 8 における必須の設定 29

5.1　発生する問題 29
5.2　発生条件 29
5.3　必要な設定1(32BIT で 32BIT アプリを PDF 変換する場合) 29
5.4　必要な設定 2(64BIT で 32BIT アプリを PDF 変換する場合) 30
5.5　必要な設定 3(64BIT で 64BIT アプリを PDF 変換する場合) 30
5.6　上記(5.3 または 5.4、5.5)を設定しても、「611」というエラーになる場合 30
5.6.1　Excel だけエラーになる場合 30
5.6.2　それでも問題が解消しない場合 30
5.6.3　フォルダを作成しても解決しない場合の回避方法 31

6　共通で設定が必須の事項 33

6.1　エラー時のダイアログ抑止(7 / 8 / SERVER 2008 / 2012 の場合) 34
6.1.1　Windows Server 2008 / 2012 のエラー報告ダイアログを無効にする方法 1 34

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

6.1.2　Windows Server 2008 / 2012 のエラー報告ダイアログを無効にする方法 2 36
7　アプリごとの変換に必要な設定（必須） 40
7.1　EXCEL･WORD の用紙設定 40
7.1.1　Office 2003 の場合 40
7.1.2　Office 2007 の場合 43
7.1.3　Office 2010 / 2013 の場合 46
7.2　EXCEL オプションの設定（XLS 変換オプション） 50
7.2.1　設定方法 50
7.2.2　設定を変更する場合（通常の場合、以下の設定は不要です） 50
7.3　EXCEL / POWERPOINT 2007 / 2010 / 2013 限定の設定 51
7.3.1　PowerPoint の印刷効果の設定（この設定は PPT の PDF 変換で Office 2007 / 2010 / 2013 の場合必須です） 51
7.3.2　Excel の印刷効果の設定（この設定は Excel の PDF 変換で Office 2007 / 2010 / 2013 の場合必須です） 52
7.4　POWERPOINT 2013 を変換する場合の必須の設定 53
7.4.1　設定方法 53
7.5　POWERPOINT 2010 / 2013 限定の必須設定 54
この設定は PowerPoint を Office 2010 / 2013 で変換する際は必須です 54
7.6　OFFICE 2007 / 2010 / 2013 をご使用する場合の注意点 56
7.7　OFFICE 2007 / 2010 / 2013 で使用する場合に必須の設定 59
7.7.1　発生する問題 59
7.7.2　処理を停止しない為に行うべき設定 59
7.8　OFFICE 2007 / 2010 / 2013 で WORD を使用する場合に必須の設定 60
7.8.1　発生する問題 60
7.8.2　処理を停止しない為に行うべき設定 61
7.9　OFFICE 2013 を使用する場合の注意点 62
7.9.1　セキュリティセンターの設定 62
7.10　一太郎の設定（一太郎を変換しない場合、以下の設定は不要です） 63
7.10.1　制限事項 63
7.10.2　PDF オートコンバータ EX の一太郎対応状況につきまして 63
7.10.3　拡張子別設定の調整 64
7.10.4　アウトラインファイルの変換の設定 65
7.11　標準サポート以外のアプリケーションを変換する場合の設定 67
7.12　PDF ファイルのフォント埋め込み 69
7.13　PDF 変換した際に網掛け部分が荒く表示される場合の設定 70
7.13.1　概要説明 70
7.13.2　設定方法 70
7.13.3　設定による見た目の違い 71
7.14　DOC ファイル変換オプションの設定 72
7.14.1　ファイル変換形式ダイアログ 72
7.14.2　変更履歴 73
7.14.3　Word しおり反映オプション（有償） 73
7.14.4　変換時の解像度 74
7.14.5　全てのページを表示してから変換処理を行う 75
7.15　イメージ変換オプションの設定 76

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.15.1　使用方法 76
7.16　EXCEL の総ページ数の設定につきまして 78
7.16.1　設定方法 78
8　有償オプションの設定 79
8.1　セキュリティ変更/ファイルチェックオプション（別途有償） 79
8.1.1　共通設定1 79
8.1.2　共通設定 2 80
8.1.3　PDF のセキュリティ変更の場合 80
8.1.4　apdfcp.ini の内容の変更 81
8.1.5　コマンド/Java/C での PDF セキュリティ変更 82
8.1.6　フォルダ監視での PDF セキュリティ変更 82
8.2　WORD しおり反映オプション（別途有償） 83
9　どのように PDF を作成するのか 84
9.1　重要 PDF 作成方法によって各マニュアルを参照ください。 84
9.1.1　JavaAPI からの変換と C の DLL からの変換を使う場合 84
9.2　サービス変換 85
9.2.1　サービスの登録 85
9.2.2　注意事項 88
9.3　フォルダについて 89
9.3.1　フォルダの構成 （デフォルト環境の場合） 89
9.3.2　フォルダの作成 90
10　アンインストールの方法 91
10.1　アンインストールの方法 91
11　困ったときは 93
11.1　動作時 93
11.1.1　サービスを使ってPDFオートコンバータ EX が動かない時 93
11.2　上記のフォローに対応しても変換が上手くいかない場合 94
11.2.1　すべてのファイルが変換できない場合 94
11.2.2　Office だけすべてのファイルが変換できない（画像等は変換できる） 94
11.2.3　Excel だけすべてのファイルが変換できない場合 94
11.2.4　特定のファイル名のファイルだけ変換できない場合 95
11.2.5　特定のファイルだけ変換できない場合 95
11.2.6　お問い合わせについて 96

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

1 このマニュアルにつきまして（重要）

1.1　最近の環境に関する注意事項

本マニュアルは非常に長いため、マニュアルを見ずにインストールしてしまう方も多いかも知れませんが、

5.【重要】Windows Server 2008 / 2012 / 7/ 8 における必須の設定

6. 共通で設定が必須の事項

7. アプリごとの変換に必要な設定（必須）

を設定しないと、運用開始時に安定して動作しないリスクがあります。必ずマニュアルを見て設定をお願い致します。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

2 シングル版とマルチ版について（重要）

PDF オートコンバータ EX はシングル版とマルチ版が存在します。
シングル版をご検討の方は、以下の内容は関係ありません。
次の章（インストールに必要な環境）をご確認ください。

マルチ版をご検討のお客様へ

2.1　事前確認メールのお願い

マルチ版は環境やシステム構成によっては、性能を発揮できない可能性が非常に高い製品です。
ご検討される方は必ず以下のアドレスにメールのうえ、実際の挙動を確認頂いた上で、販売させて頂きます。

メール送信先　eigyo@iothe.co.jp　株式会社ワイ・エス・エス　営業部

御社名/部署名/お名前

電話番号

環境の詳細
- OS（32/64bit）
- CPU(クロック数/CPU 数/コア数)
- メモリ
- HDD の I/F、回転数
- 開発言語（Java の場合 JDK バージョン）、AP サーバ等

マルチ版を使用するシステムの詳細

マルチ版を使用したい理由

変換要求頻度
- 対象ファイル
- ファイル詳細（ページ数、ファイルサイズ）
- 変換ファイル数/時間

その他特記事項

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

2.2　ご注意頂きたい事項の詳細

- マルチ版は Word、Excel、TIFF（G3・G4）JPEG/BMP/PNG/GIF の PDF 変換しかサポートされません。
- マルチ版はプログラムインターフェース（Java or C）を使用しないと意味がありません。
- マルチ版はシングル版と比べて、製品価格が約4倍です。見積依頼の際に必ずどちらかお知らせください。
- 体験版のライセンス番号はライセンス設定のプログラミングインターフェースライセンス番号のスレッド対応のリストボックスを切り替えれば、シングル版・マルチ版の両方を評価できますが、正式ライセンスはマルチ版とシングル版それぞれに専用ライセンス番号があります。購入後のトラブルを避けるためにも、マルチ版は当社に問い合わせのないお客様には販売できませんのでご注意ください。
- マルチ版は最大4つまでのマルチスレッドをサポートします。必ずスレッド数以上の CPU 数またはコア数のあるマシンをご選択ください。（他の処理も同時に稼動する場合、更に余裕を持たせてください）。
- 4 スレッド以上の処理は、OS や Office、HDD の処理能力により、逆に処理スピードの低下をもたらします。必ず上位アプリ側で CPU 数コア数の余裕分かつ、4 スレッド以下に制御してください。それ以上の 5 スレッド以上の処理は、弊害はありますが、まったく意味がありません。

2.3　機能・制限の比較表

機能・制限比較	シングル版	マルチ版
ライセンスキー	シングル版専用ライセンス必要	マルチ版専用ライセンス必要
販売形態	評価版をご利用頂いてご要望に合っていれば、誰でも購入可能です。	購入後にご迷惑をかけないように、環境や使用方法を事前にご確認させて頂いたうえで、販売させて頂きます。
製品価格	Ver1.x と同じ	シングル版の約 4 倍
対象ファイル	Excel/Word/PPT 一太郎、DocuWorks TIFF（G3・G4） JPEG/BMP/PNG/GIF	Excel/Word TIFF（G3・G4） JPEG/BMP/PNG/GIF
OCR 機能	使用可能	使用不可
同時稼動確認スレッド数	1 スレッドでしか動作しません	4 スレッドまでサポート
in→out 変換のサポート	有	無
コマンド変換サポート	有	無
プログラムインターフェース（Java/C）のサポート	有	有（マルチ版は Java/C のみのサポートです）
ハードの制限	推奨環境	推奨環境＋同時に起動させるスレッド数以上の CPU 数またはコア数が必須です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

3 インストールに必要な環境

本ドキュメントは、YSS PDF オートコンバータ EX のインストール手順と初期起動の方法について記述しています。

3.1　推奨ハードウェア環境

メモリ	4G 以上 PDF オートコンバータ EX が使用できるメモリ 2G
CPU	最低クロック数　2.0GHz 以上をお勧めします。 それ以下でも動作しますが、処理スピードはクロック数に正比例します。可能であれば、3.0GHz以上推奨

・CPU は高性能であるほど、スピードが上昇します。メモリは一定以上あればそれ以上は影響しません。

・仮想環境でこれまで問題が出たことはありません。ただ、CPU の割り当て等の仮想環境の設定が悪いと OS 自体の性能が発揮できないケースがあります。必ず、実機と類似の性能を OS 自体が発揮できる環境を構築ください。OS 自体が性能を発揮できない場合には、当然当社製品の処理スピードが低下します。

◆ その他変換スピードに影響のあるもの

- ハードディスクの回転数（高速ほど良い）（推奨　SAS 15,000 回転）

3.2　S/W 環境

3.2.1　　OS

Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2、 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 R2
Windows Server 2012、Windows Server 2012R2　Windows 7／8　 32 bit OS、64 bit OS に対応
（上記以外の OS につきましては、営業　eigyo@iothe.co.jp　までお問い合わせください。）

3.2.2　　動作確認アプリケーション

◆ 以下のファイルは該当製品のインストールが必要です。各製品は最新のパッチをあててください。
Excel 2003、2007、2010、2013　いずれも SP1 以上をインストール必須です。
Word 2003、2007、2010、2013　いずれも SP1 以上をインストール必須です。
Power Point 2003、2007、2010、2013　いずれも SP1 以上をインストール必須です。
（上記以外のバージョンにつきましては、営業　eigyo@iothe.co.jp　までお問い合わせください。）

- 一太郎 2009、2010、2011、2012、2013　2013 以降のバージョンについてはお問合せください。
（制限事項があります。本マニュアルの一太郎変換のページを参照ください。）
- DocuWorks6.x、7.x、8.x（拡張子 xdw 前提、それ以外の拡張子はご相談ください。）

■上記はサーバに必要な製品です。上記で読み込めるファイルは PDF 変換できます。
変換結果はサーバにインストールされているバージョンの印刷結果に依存しますので、
バージョン間での互換性には注意して、サーバにインストールするバージョンを決定ください。

◆ 以下のファイルは変換時に他のソフトウェアは不要です。

- 画像ファイル　TIFF（G3/G4）、JPEG(RGB)、BMP、GIF、PNG

◆ TEXT ファイル、Notepad.exe 等、右クリックして印刷の機能があるソフトは動作する可能性があります。
その場合は、該当ソフトのインストールが必要です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

インストール前に

3.3　設定･確認事項

3.3.1　必要な確認事項

インストール前に必ず設定･確認をしてください。

- PDF コンバータ Ver5.0 以上を必ずインストールしてください。PDF コンバータのインストール方法は PDF コンバータインストールマニュアルを参照ください。PDF オートコンバータ EX には PDF コンバータ/1 ライセンスが含まれていますので、PDF コンバータを別途購入する必要はありません。
- OS と Office の最新のパッチをインストールしてください。
- 必ずインストールするマシン自体にアドミニストレータ権限のあるユーザでログインしてください。ネットワークのアドミニストレータ権限があっても、そのマシン自体にその権限がないことも考えられます。
- PDF オートコンバータ EX がインストールされているサーバの Office のバージョンを変更したい場合、以下にご注意ください。（例　Office 2003 を使用していたが Office 2007 に変更する等）

  ●重要●必ず古い Office をアンインストールしてから、新しい Office をインストールしてください。

  もし、そのままインストールして、マシン内に Office が 2 つある状態になってしまうと、その後古い Office をアンインストールしても、レジストリ等がおかしくなってしまい、正常に PDF 変換できなくなります。一度そうなると、OS を入れなおす必要が出てきますので、ご注意ください。（一度すべての Office をアンインストール＋フォルダ削除＋レジストリ削除すれば問題解消の余地はありますが、非常に難易度が高いのでお勧めできません）

  必須手順　OS 再起動　→　Office のアンインストール　→　OS 再起動　→　新しい Office のインストール

3.3.2　正常な動作をしない環境

以下の環境では正常に動作しませんのでご注意ください。

- PDF オートコンバータ EX を、Citrix XenApp 等のシンクライアント専用サーバにインストールすることは止めてください。クライアントが Citrix XenApp を使用しているだけで問題が起きる訳ではありませんので、PDF オートコンバータ EX のインストールしているサーバと、シンクライアント（Citrix XenApp）専用サーバが別のサーバであれば、問題ありません。
- リモートデスクトップや、それに類似した製品での PDF オートコンバータ EX インストールサーバへのアクセスに関しては、メンテナンス用にまれにアクセスするのであれば、問題ありません。常時アクセスは止めてください。

3.3.3　不安定な動作となる可能性のある環境

以下の環境では、サーバの負荷が高くなり、OS や相互の処理スピード低下が発生する場合があります。必ず事前に検証または、対応策をお考えください。

- Web サーバ、DB サーバと PDF オートコンバータ EX を同じサーバにインストールする場合。

  特に変換頻度が高い場合はご注意ください。相互に影響が出た場合でも、当社では対応が困難です。

  ご心配の場合は必ず変換専用マシンをご用意ください。

3.3.4　注意事項

- PDF 変換を行うファイル、フォルダについては、必ず PDF オートコンバータ EX がインストールされているローカルサーバ内のものをご指定願います。ネットワーク越しのファイル、フォルダの処理については動作の安定性を考慮し、

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

サポート外とさせて頂きます。

- 一太郎はインストール時、IME と ATOK が悪影響を及ぼす場合もありますので、必ず一太郎変換専用サーバとしてご使用頂くことを推奨いたします。
- ウイルスソフトによっては、変換時にファイルを掴むものがあり、変換用フォルダをウイルスチェックから外していただく必要があるケースもあります。
- 当社製品にメモリリークがないことは確認しておりますが、Windows のアプリケーション（Ofiice 等）は、少しずつごみのようなものができてメモリをリーク(使用)していきます。変換頻度によりますが、頻度が非常に高い場合には 1 週間に 1 回、頻度が低い場合でも 3 か月に 1 回はマシンの再起動を推奨いたします。
- コマンド変換ではアドミニストレータ権限が必要です。
- 異なる変換方法（サービス/ コマンド/ Java/ C）を同時に動作させることは、処理がぶつかり想定外の結果になる可能性があるため、決して使用しないでください。

3.3.5　PDF オートコンバータ EX を 64 bit OS 上で動作させる場合の注意事項

PDF オートコンバータ EX を 64 bit OS 上で動作させる場合、以下の制限があります。

◆ 以下の製品の 64 bit 版が必要です。
PDF オートコンバータ EX（64 bit版）
PDFコンバータXP（64 bit版）

◆ プログラムインターフェース（Java）を使用する場合、JDKが 64 bit版である必要があります。

◆ 変換アプリケーションが完全に 64 bit版ネイティブであるものを推奨します。64 bitで動くようにした 32 bit版では WOW64 上で動作することになるためリスクが増加する（WOW64 が不安点になる）可能性があります。

- Office を 64bit版で動かすことが推奨です。64 bit 環境でも Office をデフォルトでインストールすると 32 bitでインストールされてしまいます。特別なインストール方法が必要です。（マイクロソフトサイトに掲載されていますのでご覧ください）
- Office には SP1 以上の適用が必要です。未適用の状態では正常に動作しません。

DocuWorks、一太郎等は、アプリケーションが 32bit互換（wow64）で動作します。当社製品側で 32bit 互換でも動作するように対応をしておりますが、wow64 の仕様・制限に依存します。これは当社製品以外でも同様です。

3.3.6　64 bit OS 上で Office2013 を使用する場合

●重要●

OS が 64bit で Office 2013 を変換する場合、必ず Office を 64bit でインストールしてください。
やむをえず Office を 32bit にせざるを得ない場合は、営業までご連絡ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

4 インストール手順

4.1　PDF コンバータのインストール

- **PDF オートコンバータ EX のインストール前に必ず PDF コンバータをインストールしてください。**

インストール手順は下記の通りです。
1.PDF コンバータ XP のインストール
2.PDF オートコンバータ EX のインストール

PDF オートコンバータ EX Ver3.0 以上をインストールする際は、PDF コンバータ Ver5.0 以上を必ずインストールしてください。
PDF コンバータ Ver4 以下のバージョンでは動作しません。
過去のバージョンからのバージョンアップの際はご注意ください。

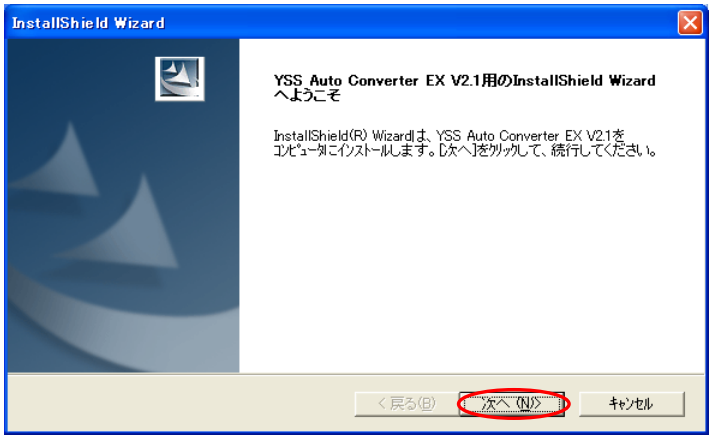
- 以下は PDF コンバータ Ver5.0 以上がインストール済みであることを前提として説明しております。

4.2　PDF オートコンバータ EX のインストール

4.2.1　32bit 版の場合

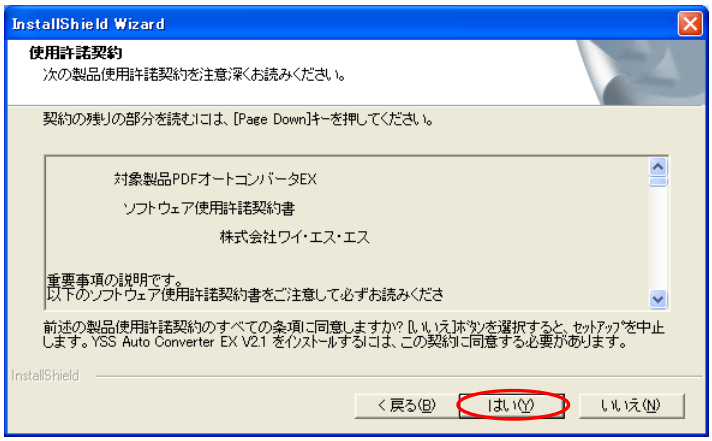
WindowsXP に PDF オートコンバータ EX　Ver2.X（yautoex21.exe）をインストールした例でご説明します。
（X はバージョン番号を表しております。）
PDF オートコンバータ EX の実行モジュールを（yautoexXXX.exe：XXX はバージョン番号）をマシン上に保存してください。

(1)yautoex2XX.exe をダブルクリックしてください。
この画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



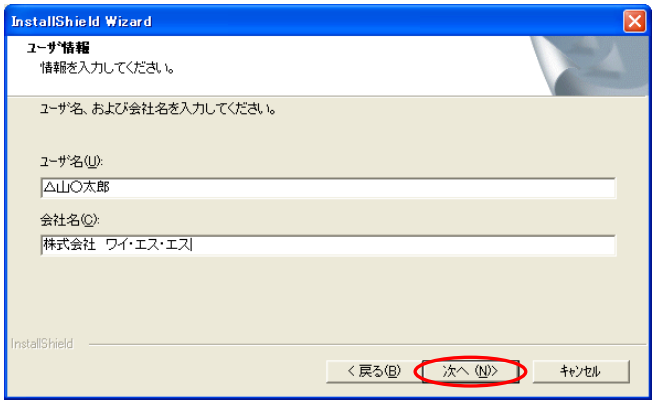
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(2)この画面が表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。



(3)この画面が表示されます。

「ユーザ名」、「会社名」を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

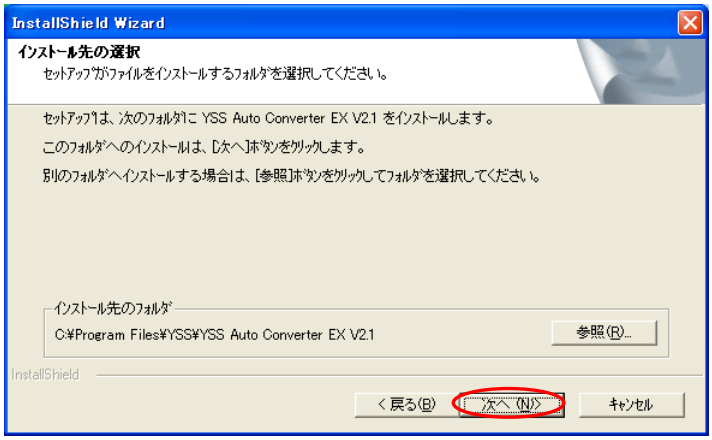


(4)この画面が表示されます。

インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

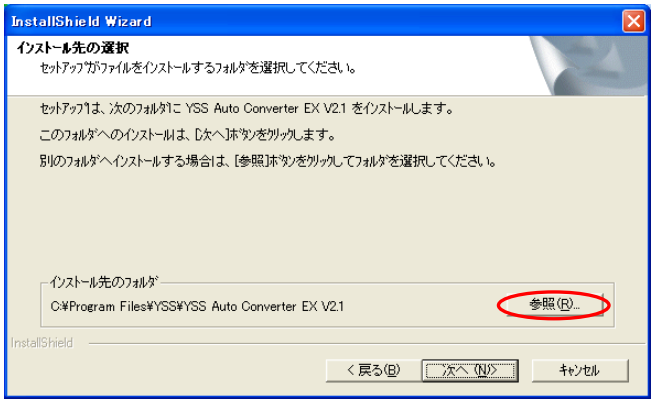
クリックすると(5)の画面が表示されます。

(インストール先のフォルダを変更する場合、「4-1」をご参照ください。)

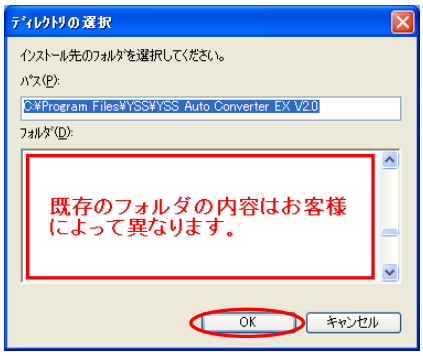


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

4-1　インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてください。



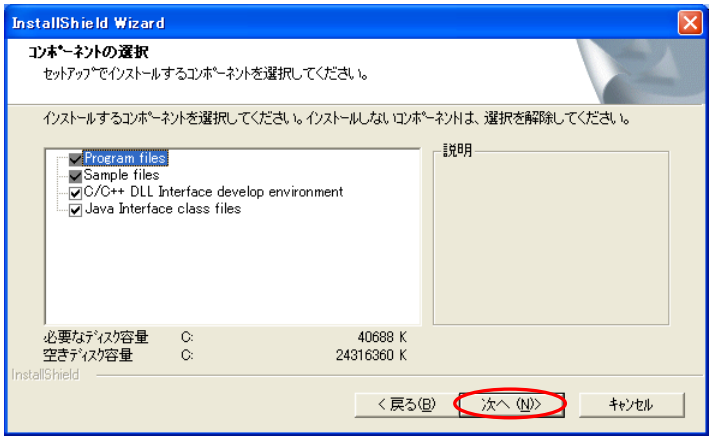
4-2　この画面が表示されます。
インストール先を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。
クリックすると(4)の画面が表示されます。



注 意

Windows Server 2008 / 2012 / 7 / 8 などはセキュリティが強化されているため、Program Files 以下にインストールしないようにしてください。他のフォルダにインストールするようにしてください。

(5)この画面が表示されます。
インストールするコンポーネントを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
（初期設定の状態でインストールを続けることを推奨いたします。）

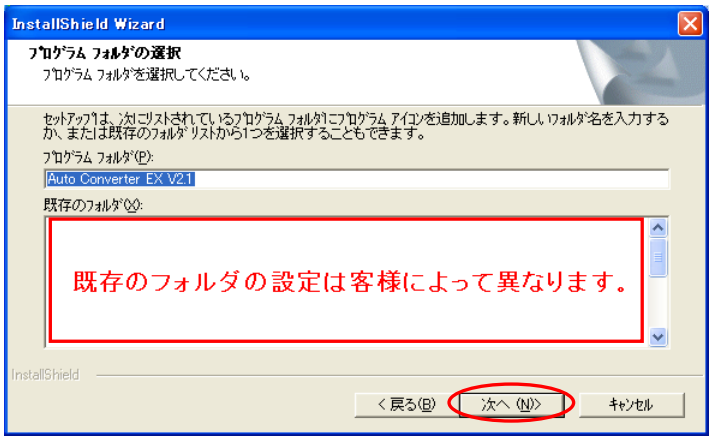


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(6)この画面が表示されます。

プログラムフォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

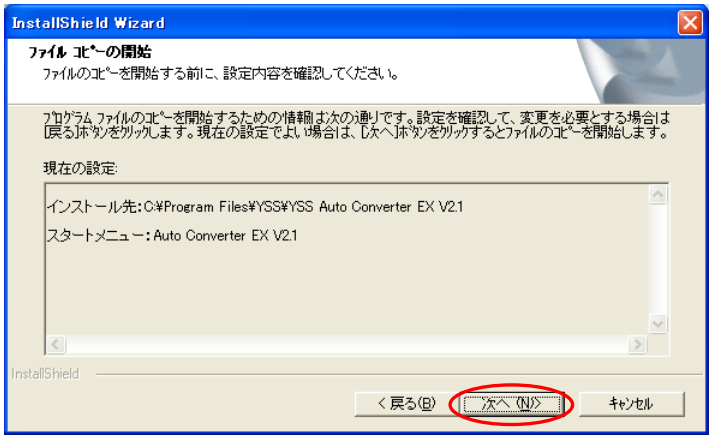
（プログラムフォルダ名を変更する場合は、名称を入力または既存のフォルダリストから選択し、設定してください。）



(7)この画面が表示されます。

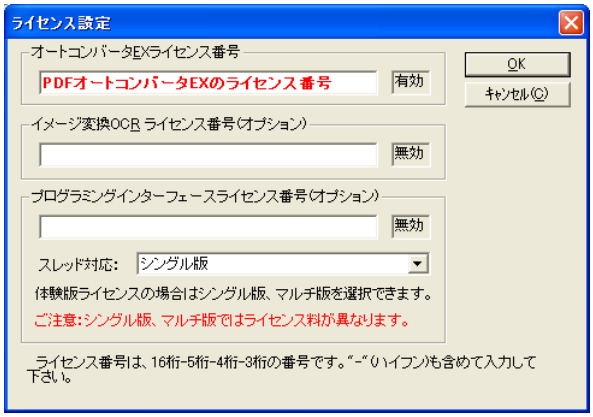
内容を確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

インストールが開始されます。



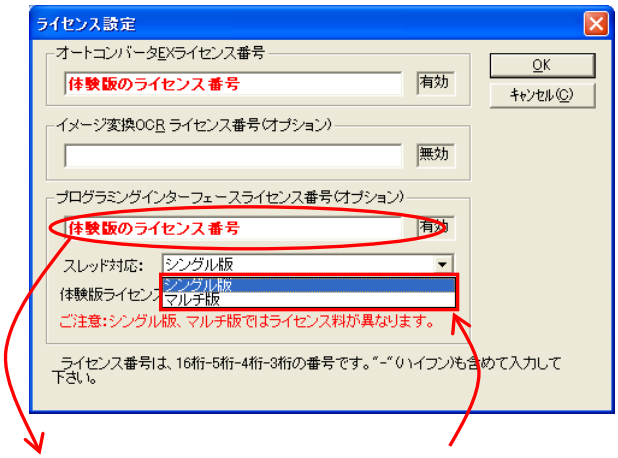
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(8)この画面が表示されます。それぞれにライセンスシートに記載のライセンス番号を入力してください。
オートコンバータ EX ライセンス番号に正しい番号を入力すると、入力フィールド右の「無効」表示部分が「有効」になり、「OK」ボタンがクリックできるようになります。
※EX を使用してイメージ変換 OCR･プログラムインターフェースを使用しない場合、オートコンバータ EX ライセンス番号だけにライセンス番号を入力してください。



(プログラムインターフェースを使用する場合、「8-1」、「8-2」、「8-3」の該当する項をご参照ください。
体験版・シングル版・マルチ版のライセンス番号のそれぞれで画面の表示・操作が若干異なります。)

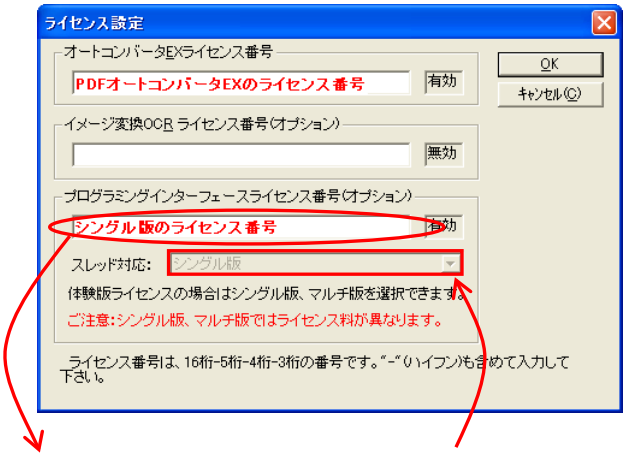
8-1　体験版のライセンス番号を入力する場合



体験版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスからシングル版・マルチ版を選択できます。
但し、マルチ版は「1. シングル版とマルチ版について(重要)」に記載されている制限があります。
購入後に期待していた性能を発揮出来ない等のご迷惑をかけないために、制限をご理解頂いて当社にメールを送信して頂いた方以外は、マルチ版を選択しないでください。

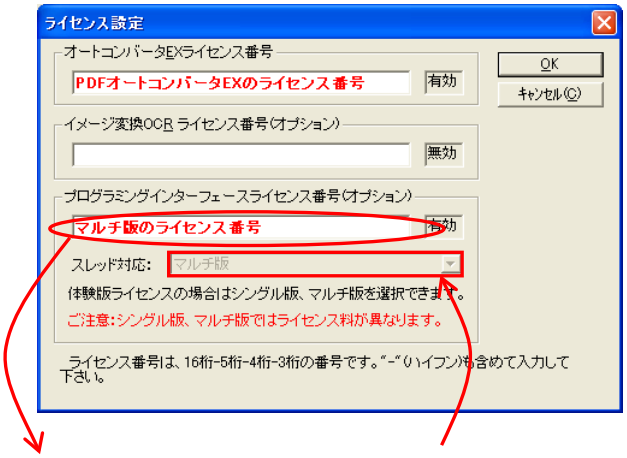
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

8-2　シングル版の正規ライセンス番号を入力した場合



シングル版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスが選択できなくなります。
リストボックスはグレーダウンしていますが、グレーの文字でシングル版と表示されます。

8-3　マルチ版の正規ライセンス番号を入力した場合



マルチ版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスが選択できなくなります。
リストボックスはグレーダウンしていますが、グレーの文字でマルチ版と表示されます。

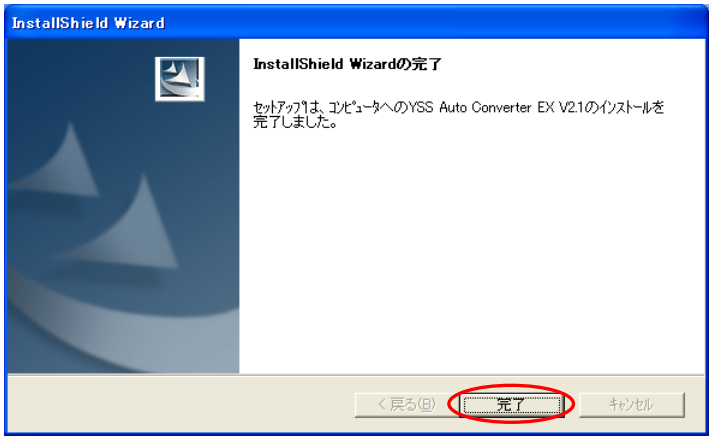
注 意

見積依頼の際にはシングル版･マルチ版、どちらのお見積りが必要かを必ずお知らせください。

(9)設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(10)この画面が表示されます。
「完了」ボタンをクリックすれば、インストールは完了です。

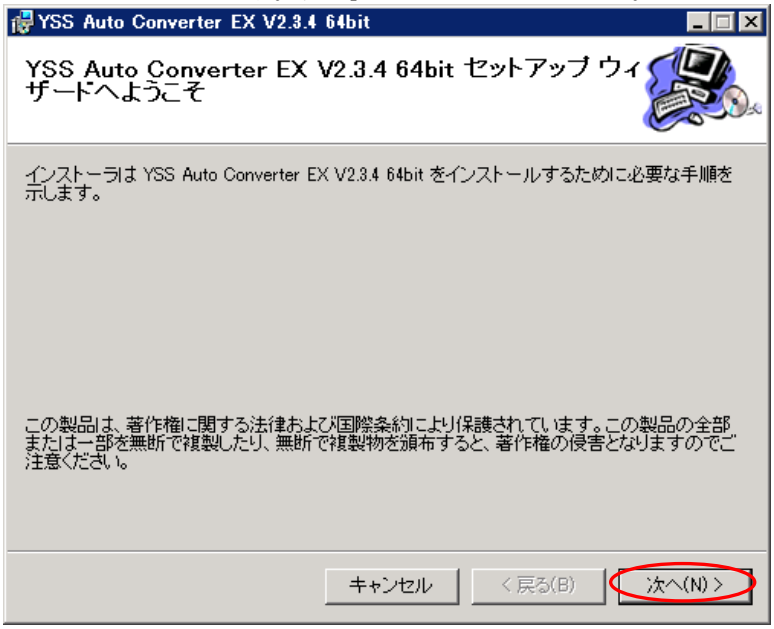


4.2.2　　64bit 版の場合

Windows Server 2008 R2 に PDF オートコンバータ EX　Ver2.X.X(yautoex64.234.msi)をインストールした例でご説明します。　　(X はバージョン番号を表しております。)

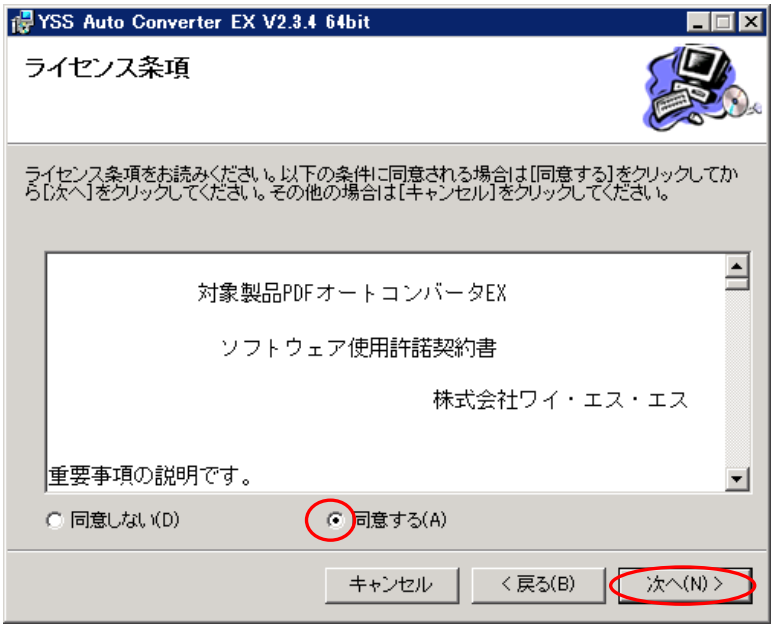
PDF オートコンバータ EX の実行モジュールを(yautoex64.XXX.msi:XXX はバージョン番号)をマシン上に保存してください。

(1)yautoex64.2XX.msi をダブルクリックしてください。
この画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(2)この画面が表示されます。ソフトウェア使用許諾契約書をお読み頂き、丸で囲まれた「同意する」にチェックを入れて頂き、「次へ」ボタンをクリックしてください。

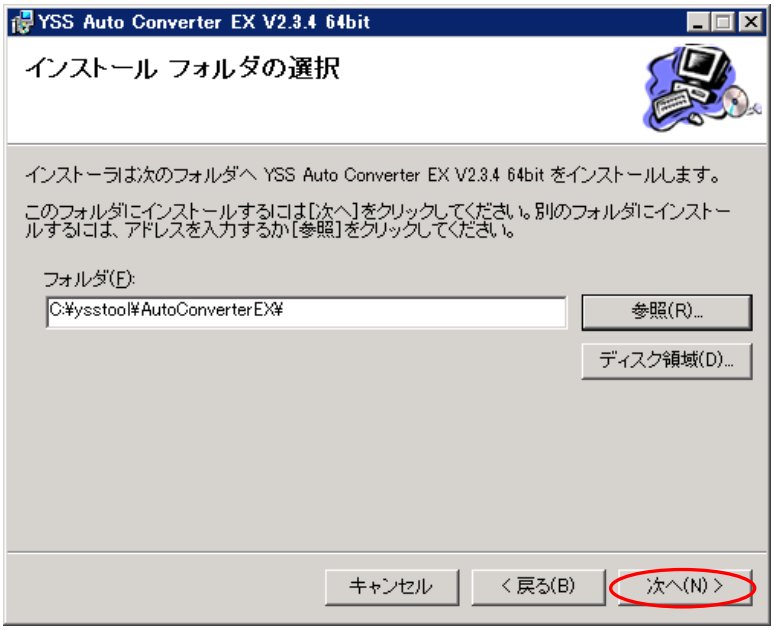


(3)この画面が表示されます。

インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

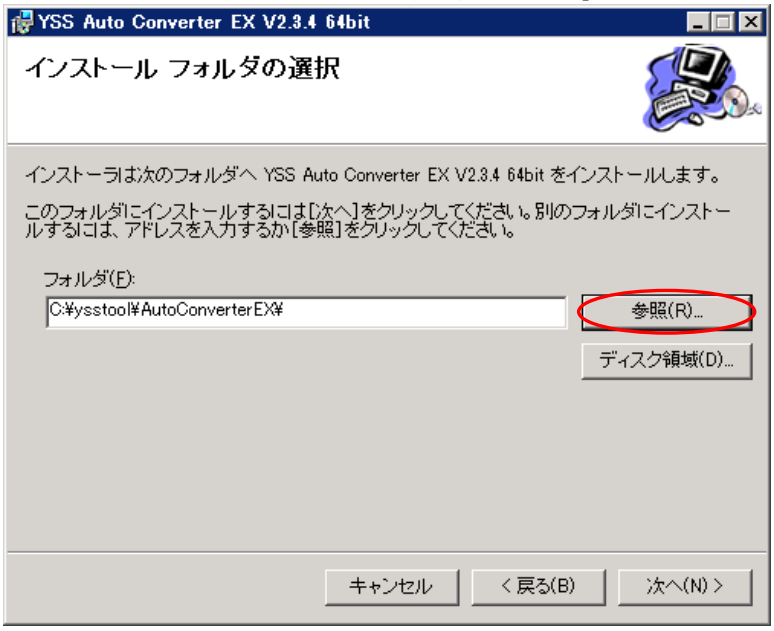
クリックすると(4)の画面が表示されます。

(インストール先のフォルダを変更する場合、「3-1」をご参照ください。)



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

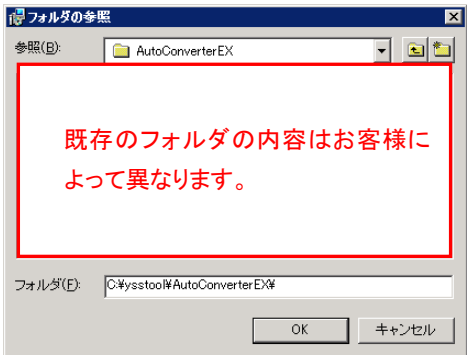
3-1　インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてください。



3-2　この画面が表示されます。

インストール先を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

クリックすると(4)の画面が表示されます。

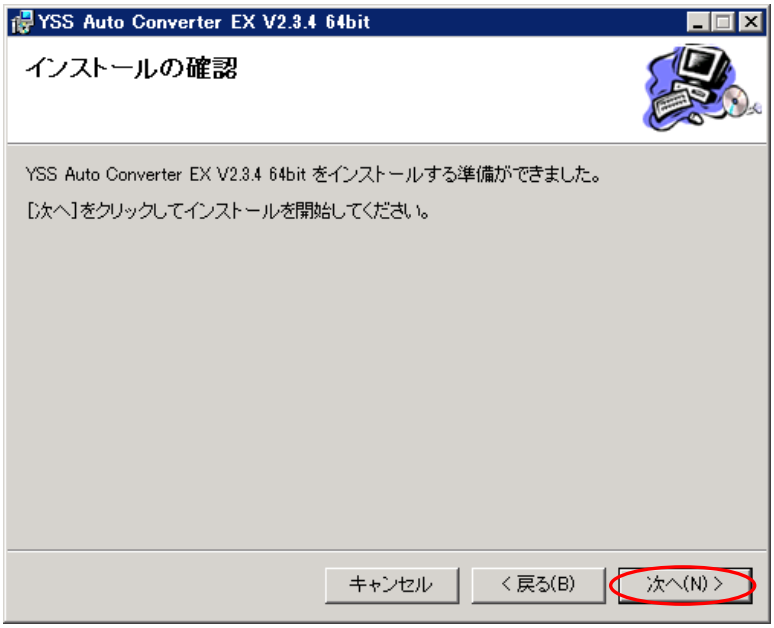


注 意

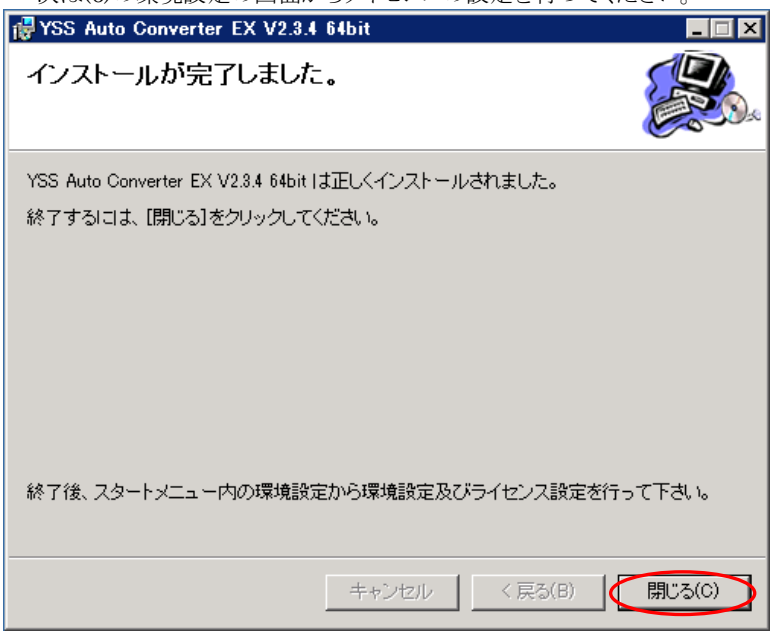
Windows Server 2008 / 2012 / 7 / 8 などはセキュリティが強化されているため、Program Files 以下にインストールしないようにしてください。他のフォルダにインストールするようにしてください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(4)この画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。
　インストールが開始されます。

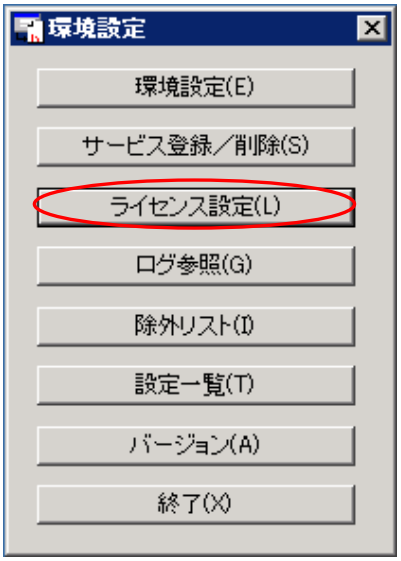


(5)この画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすればインストールは完了です。
　次は(6)の環境設定の画面からライセンスの設定を行ってください。

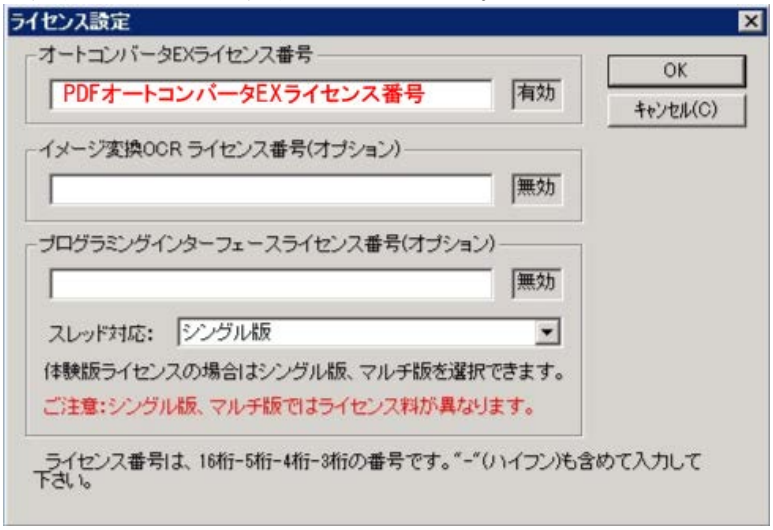


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(6)インストールが完了するとデスクトップにこの画面が表示されます。
「ライセンス設定」ボタンをクリックしてください。



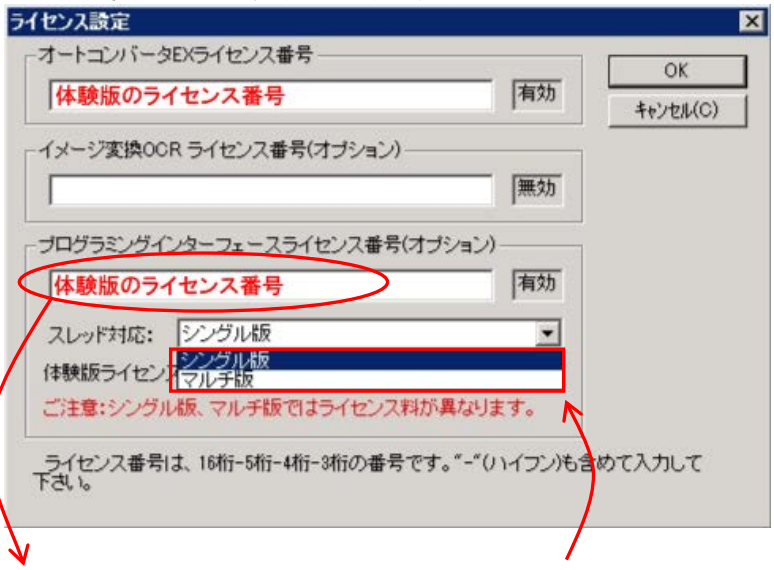
(7)この画面が表示されます。それぞれにライセンスシートに記載のライセンス番号を入力してください。
オートコンバータ EX ライセンス番号に正しい番号を入力すると、入力フィールド右の「無効」表示部分が「有効」になり、「OK」ボタンがクリックできるようになります。
※EX を使用してイメージ変換 OCR・プログラムインターフェースを使用しない場合、オートコンバータ EX ライセンス番号だけにライセンス番号を入力してください。



(プログラムインターフェースを使用する場合、「7-1」、「7-2」、「7-3」の該当する項をご参照ください。
体験版・シングル版・マルチ版のライセンス番号のそれぞれで画面の表示・操作が若干異なります。)

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7-1　体験版のライセンス番号を入力する場合

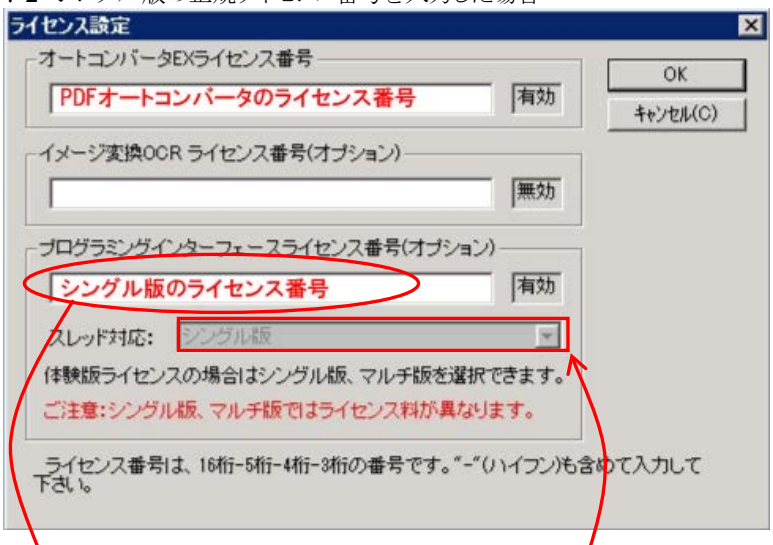


体験版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスからシングル版･マルチ版を選択できます。

但し、マルチ版は「1. シングル版とマルチ版について（重要）」に記載されている制限があります。

購入後に期待していた性能を発揮出来ない等のご迷惑をかけないために、制限をご理解頂いて当社にメールを送信して頂いた方以外は、マルチ版を選択しないでください。

7-2　シングル版の正規ライセンス番号を入力した場合

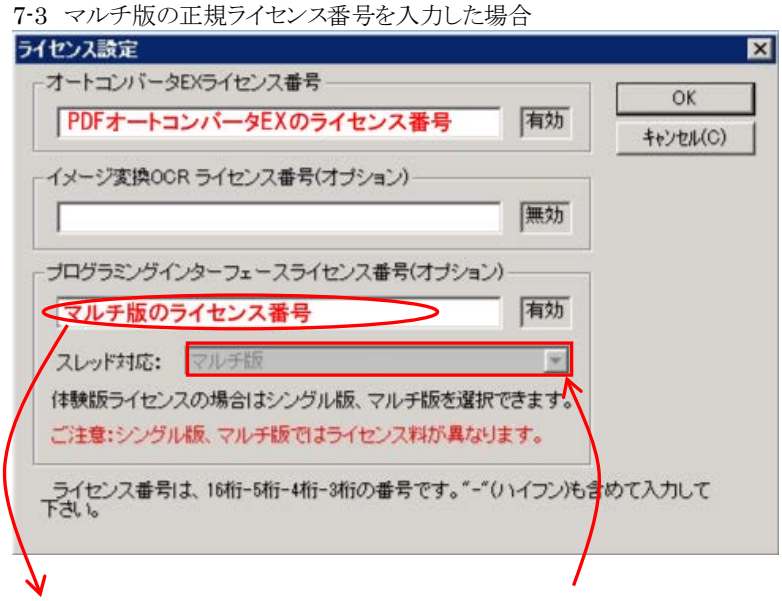


シングル版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスが選択できなくなります。

リストボックスはグレーダウンしていますが、グレーの文字でシングル版と表示されます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7-3　マルチ版の正規ライセンス番号を入力した場合



マルチ版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスが選択できなくなります。
リストボックスはグレーダウンしていますが、グレーの文字でマルチ版と表示されます。

注 意

見積依頼の際にはシングル版･マルチ版、どちらのお見積りが必要かを必ずお知らせください。

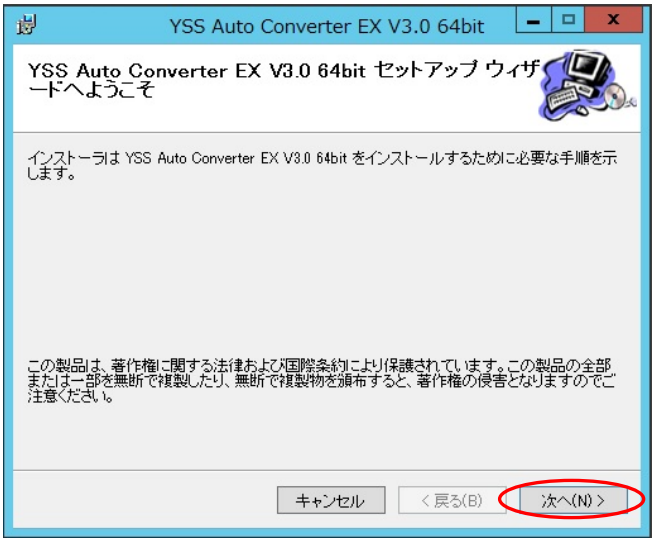
(8)設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。
ライセンスの設定は以上で完了です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

4.2.3　Windows 8/Windows Server 2012 の場合

Windows 8/Windows Server 2012 に PDF オートコンバータ EX Ver3.X.X（yautoex64.3.0.0.msi）をインストールした例でご説明します。　（X はバージョン番号を表しております。）
PDF オートコンバータ EX の実行モジュールを（yautoex64.XXX.msi：XXX はバージョン番号）をマシン上に保存してください。

(1)yautoex64.3XX.msi をダブルクリックしてください。
　この画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



(2)この画面が表示されます。ソフトウェア使用許諾契約書をお読み頂き、丸で囲まれた「同意する」にチェックを入れて頂き、「次へ」ボタンをクリックしてください。

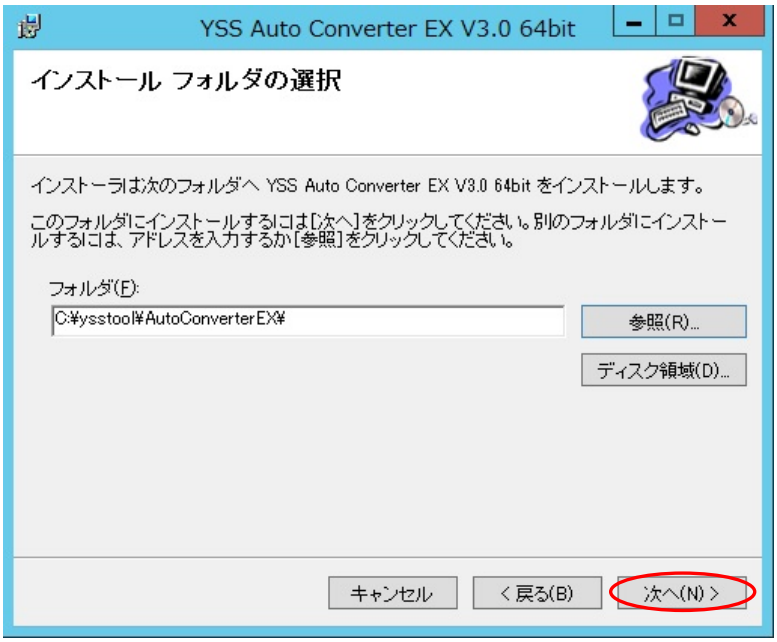
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(3)この画面が表示されます。

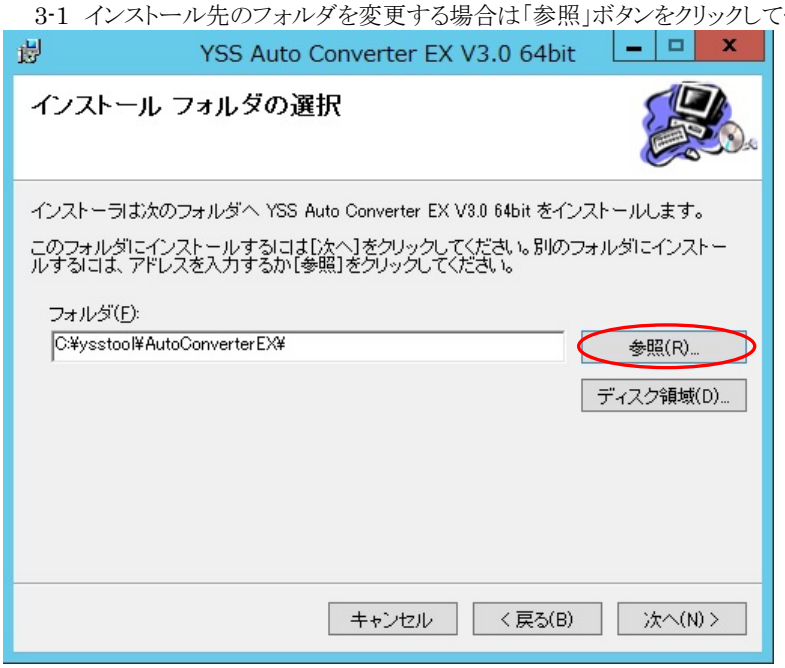
インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

クリックすると(4)の画面が表示されます。

(インストール先のフォルダを変更する場合、「3-1」をご参照ください。)



3-1　インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてください。

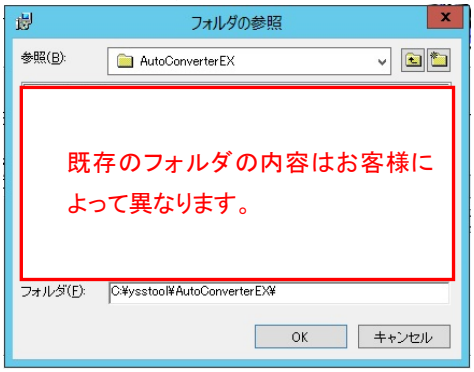


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

3-2　この画面が表示されます。

インストール先を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

クリックすると(4)の画面が表示されます。

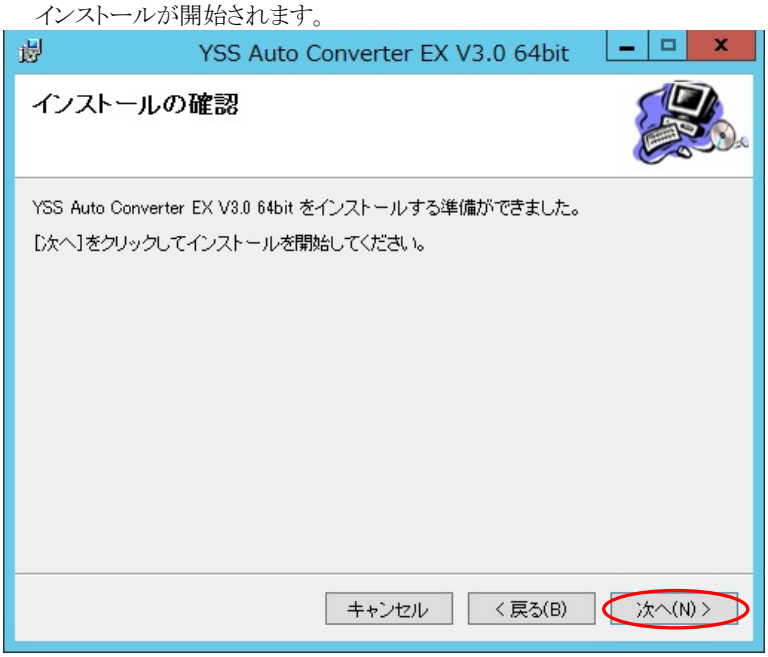


注 意

Windows Server 2008 / 2012 / 7 / 8 などはセキュリティが強化されているため、Program Files 以下にインストールしないようにしてください。他のフォルダにインストールするようにしてください。

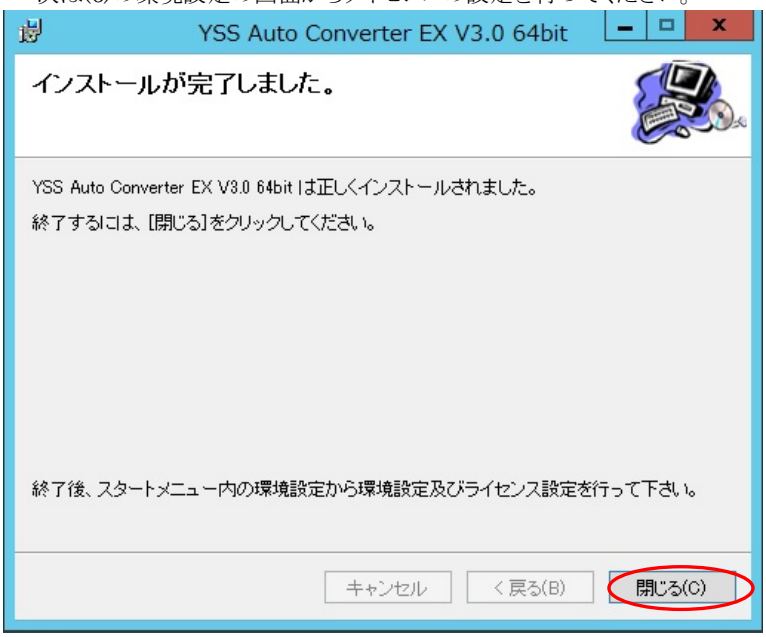
(4)この画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

インストールが開始されます。

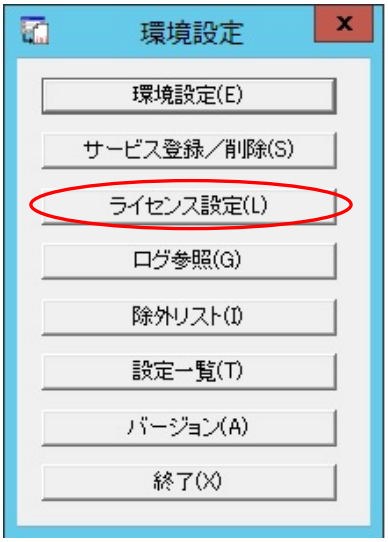


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(5)この画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすればインストールは完了です。
次は(6)の環境設定の画面からライセンスの設定を行ってください。

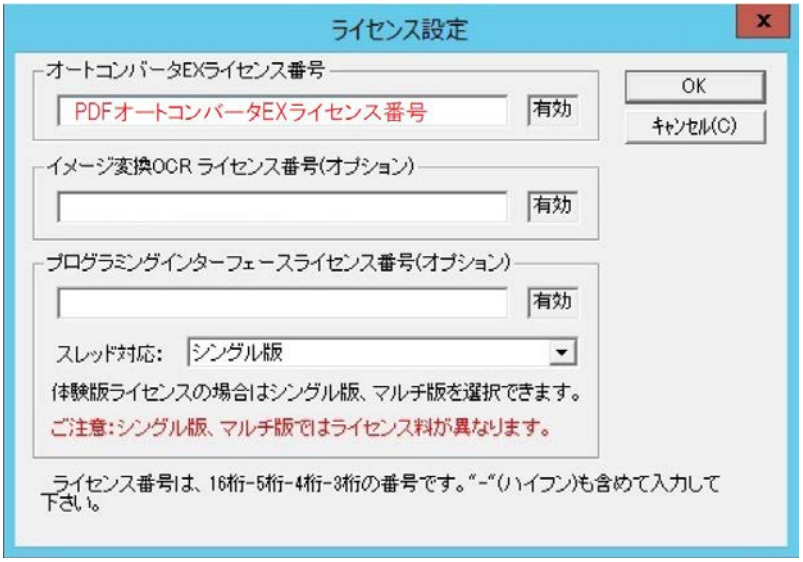


(6)インストールが完了するとデスクトップにこの画面が表示されます。
「ライセンス設定」ボタンをクリックしてください。



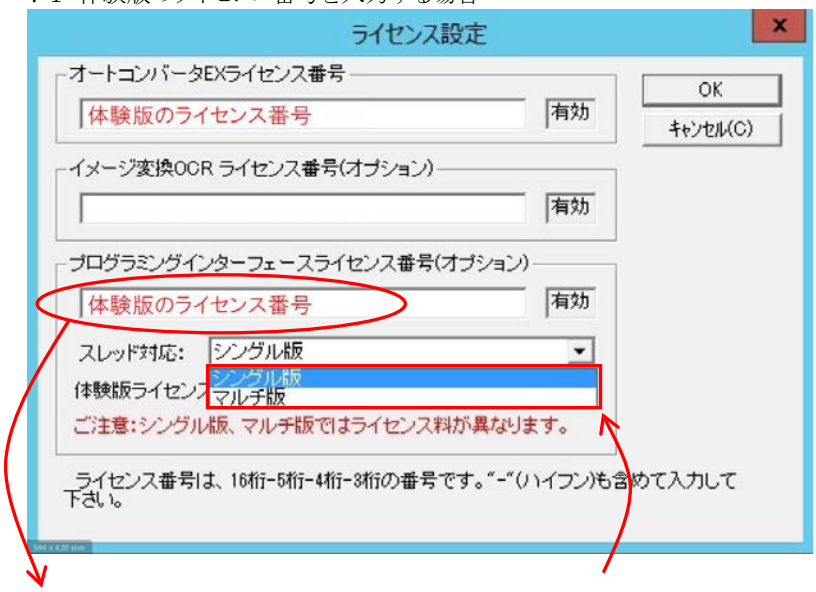
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(7)この画面が表示されます。それぞれにライセンスシートに記載のライセンス番号を入力してください。
オートコンバータ EX ライセンス番号に正しい番号を入力すると、入力フィールド右の「無効」表示部分が「有効」になり、「OK」ボタンがクリックできるようになります。
※イメージ変換 OCR・プログラムインターフェースは使用できません。オートコンバータ EX ライセンス番号だけにライセンス番号を入力してください。



(プログラムインターフェースを使用する場合、「7-1」、「7-2」、「7-3」の該当する項をご参照ください。
体験版・シングル版・マルチ版のライセンス番号のそれぞれで画面の表示・操作が若干異なります。)

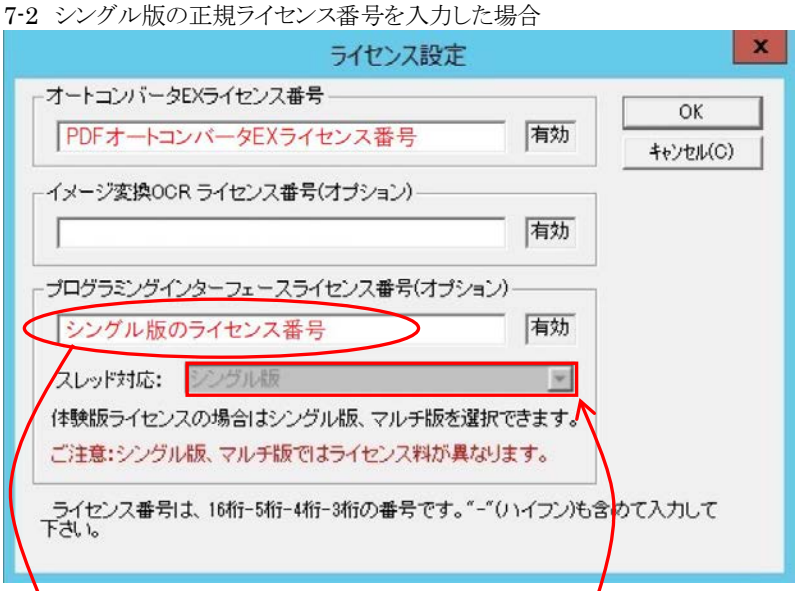
7-1　体験版のライセンス番号を入力する場合



体験版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスからシングル版・マルチ版を選択できます。
但し、マルチ版は「1. シングル版とマルチ版について(重要)」に記載されている制限があります。
購入後に期待していた性能を発揮出来ない等のご迷惑をかけないために、制限をご理解頂いて当社にメールを送信して頂いた方以外は、マルチ版を選択しないでください。

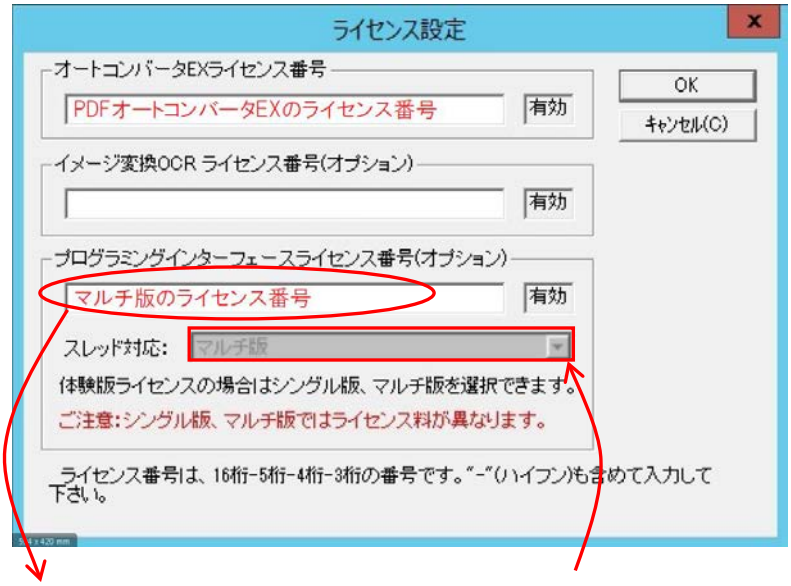
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7-2　シングル版の正規ライセンス番号を入力した場合



シングル版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスが選択できなくなります。
リストボックスはグレーダウンしていますが、グレーの文字でシングル版と表示されます。

7-3　マルチ版の正規ライセンス番号を入力した場合



マルチ版のライセンス番号を入力すると、スレッド対応のリストボックスが選択できなくなります。
リストボックスはグレーダウンしていますが、グレーの文字でマルチ版と表示されます。

注 意

見積依頼の際にはシングル版･マルチ版、どちらのお見積りが必要かを必ずお知らせください。

(8)設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。
　ライセンスの設定は以上で完了です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

5【重要】Windows Server 2008 / 2012 / 7 / 8 における必須の設定

Windows Server 2008 / 2012 / 7 / 8 においてセキュリティが強化されています。このため以下の設定が必要になります。

5.1　発生する問題

MS-Office ファイルを PDF 変換する際に、「611」というエラーになるケースがあります。

5.2　発生条件

上記の OS の環境において以下の条件の両方に該当する場合に変換が出来ません。
条件 1　Excel・Word の PDF 変換である。
条件 2　プログラムのキックがサービス起動で行われ、変換処理が画面に表示されずに行われる場合。
以下のような場合が該当します。
① PDF オートコンバータ EX のサービスによるフォルダ監視変換
② プログラムインターフェース(Java/C)を利用して、サービスから呼び出される場合、
具体的には Web サーバ/AP サーバ(Tomcat/WebSphere/IIS 等)から呼び出されるような場合

条件 1 と条件 2 の両方が一致した際に、Excel を変換すると 611 のエラーになります。
両方の条件が無い場合の 611 エラーは別の原因(Office のパッチが最新でない等)になりますので、ご注意ください。

また、この現象に合致する場合、すべての Excel・Word ファイルが「611 エラー」になります。あるファイルだけエラーになる場合は、他に原因がありますので、お問い合わせください。

5.3　必要な設定1(32bit で 32bit アプリを PDF 変換する場合)

OS が 32bit 環境で Office を 32bit で使用する場合、以下の設定が必要です。

32bit 環境下で Office 2010 / 2013 32 bit 版を動作させる場合
C:¥Windows¥System32¥config¥systemprofile¥Desktop
フォルダを新規作成してください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

5.4　必要な設定 2（64bit で 32bit アプリを PDF 変換する場合）

OS が 64bit 環境で Office を 32bit で使用する場合、以下の設定が必要です。

64bit 環境下で Office 2010 / 2013 32bit 版を動作させる場合
　C:¥Windows¥SysWOW64¥config¥systemprofile¥Desktop
フォルダを新規作成してください。

5.5　必要な設定 3（64bit で 64bit アプリを PDF 変換する場合）

OS が 64bit 環境で Office を 64bit で使用する場合、以下の設定が必要です。

64bit 環境下で Office 2010 / 2013 64bit 版を動作させる場合
　C:¥Windows¥System32¥config¥systemprofile¥Desktop
フォルダを新規作成してください。

5.6　上記（5.3 または 5.4、5.5）を設定しても、「611」というエラーになる場合

5.6.1　Excel だけエラーになる場合

5.3 または 5.4、5.5 を設定しても Excel だけがエラーになる場合、以下を確認してください。

AP サーバ（Tomcat 等）の起動ユーザまたはサービスの起動ユーザで、マシンにログインしてください。
Excel は一度もログインしたことが無いユーザはプリンタドライバを使用することが出来ません。このため、
AP サーバ（Tomcat 等）の起動ユーザまたはサービスの起動ユーザで一度ログインをすることで、
問題が解消することがあります。

5.6.2　それでも問題が解消しない場合

5.3 や 5.4、5.5 や 5.6.1 をすべて試しても、問題が解決しない場合、以下のいずれかを検討ください。

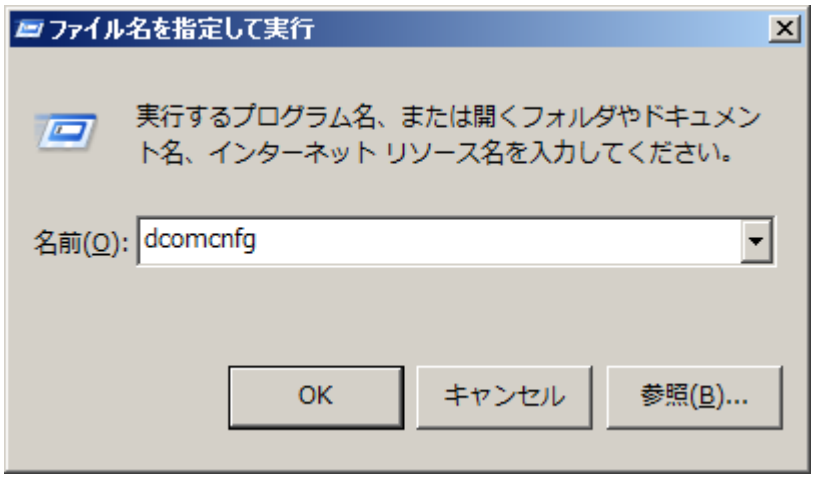
■次のページ以降で説明されている DCOM の設定を試してみる。
■YSS のサポートページに問い合わせをして頂く。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

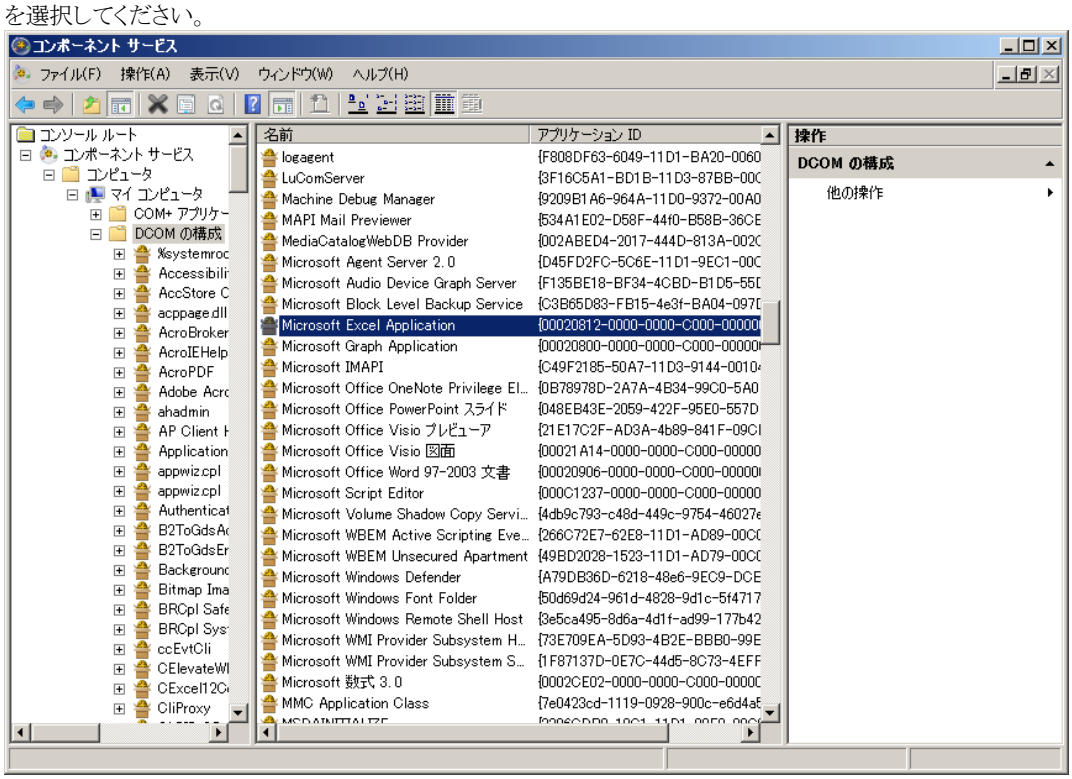
5.6.3　フォルダを作成しても解決しない場合の回避方法

注意
この記載は、前のページの設定をしても問題の解決しないお客様限定です。それ以外の方は設定しないでください。

スタートメニューから「検索の開始」または「ファイル名を指定して実行」から、dcomcnfg を入力して OK を押してください。
以下は Excel の場合の回避方法です。Word/Powerpoint も同様の設定をお願いいたします。

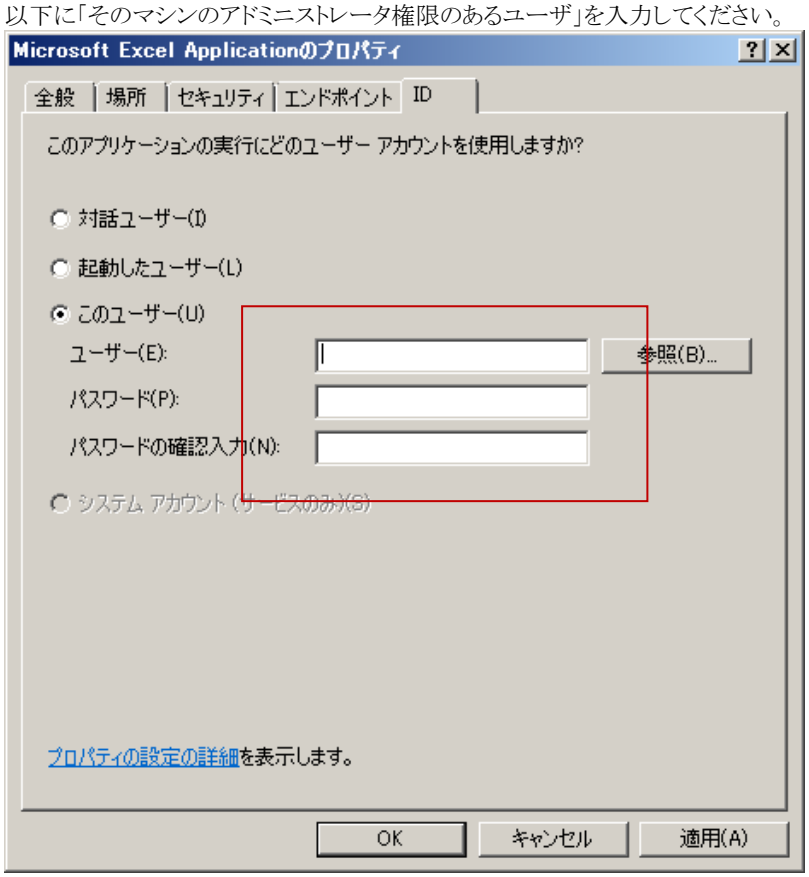


コンソール ルート → コンポーネントサービス →コンピュータ → マイコンピュータ → DCOM の構成 → MicrosoftExcelApplication → プロパティ
を選択してください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

以下に「そのマシンのアドミニストレータ権限のあるユーザ」を入力してください。



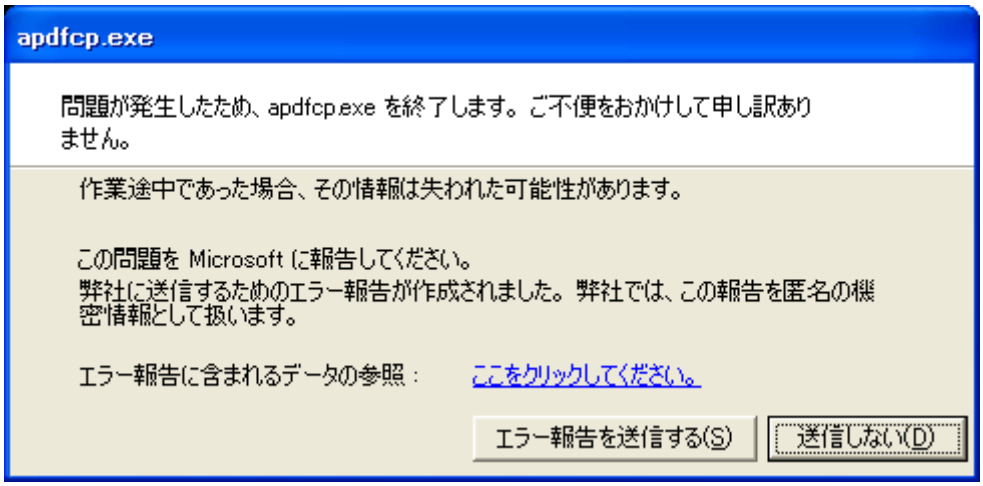
上記設定をすることにより、そのサーバで Excel を起動する際には、必ず上記設定ユーザとして起動されるようになります。
同じサーバにて PDF オートコンバータ EX 以外のアプリやシステムで Excel を操作するマクロ等を動かす場合には問題が起きる可能性があります。基本的には別サーバで処理してください。
また、システム管理者に上記の設定をしても良いか確認をお願いします。

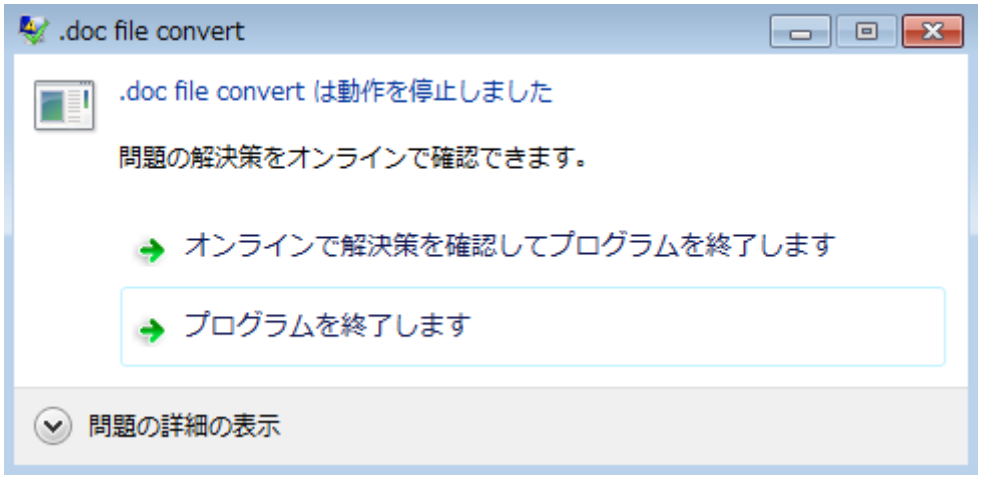
上記の設定でもうまく動作しない場合や、問題点があるようであれば、当社までお問い合わせください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

6 共通で設定が必須の事項

OS の設定等で、設定したほうが円滑に処理できる項目があります。
タイムアウト等のエラーが発生した場合、まれに以下のようなダイアログが表示されることがあります。
このダイアログはその後の円滑な変換の障害になるケースがあるので、出ないように以下の設定をしてください。





Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

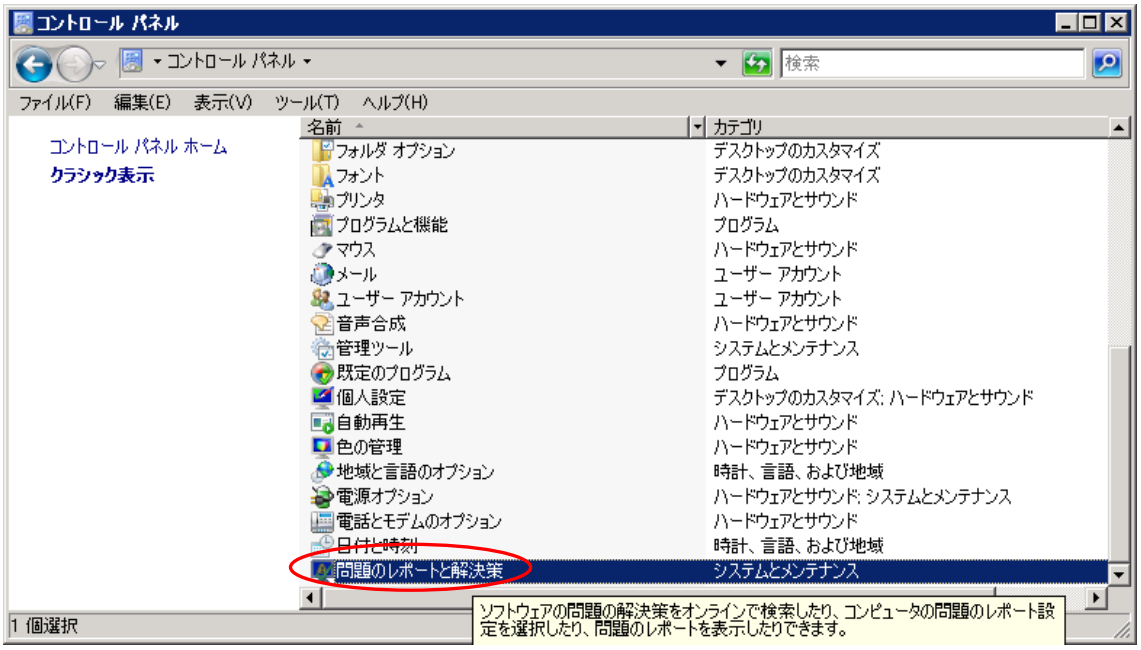
6.1　エラー時のダイアログ抑止（ 7 / 8 / Server 2008 / 2012 の場合）

6.1.1　Windows Server 2008 / 2012 のエラー報告ダイアログを無効にする方法 1

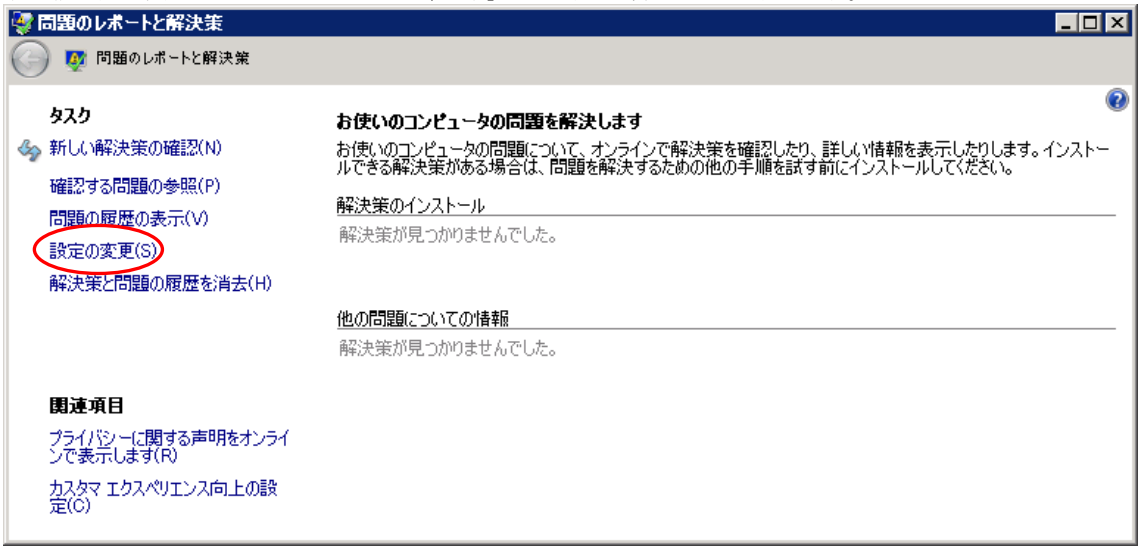
Windows XP 以降、アプリケーションを利用している際にエラーが発生すると、[Windows エラー報告]ダイアログが表示される場合があります。これは何らかの理由により、致命的なエラーが発生したときに表示されるもので、通常はアプリケーションを強制終了させるしかありません。それを回避するため、[Windows エラー報告]ダイアログを表示させなくする方法を以下ご説明いたします。

以下の画面で行う方法は、OS のバージョンによって画面が大きく異なります。OS に応じた設定方法がわからない場合には、「6.1.2　Windows Server 2008 / 2012 のエラー報告ダイアログを無効にする方法 2」の方法で変更してください。

スタート→コントロールパネルを選択してください。クラシック表示を押して表示を切り替えると以下の画面になります。（既にクラシック表示になっている場合は不要です。）



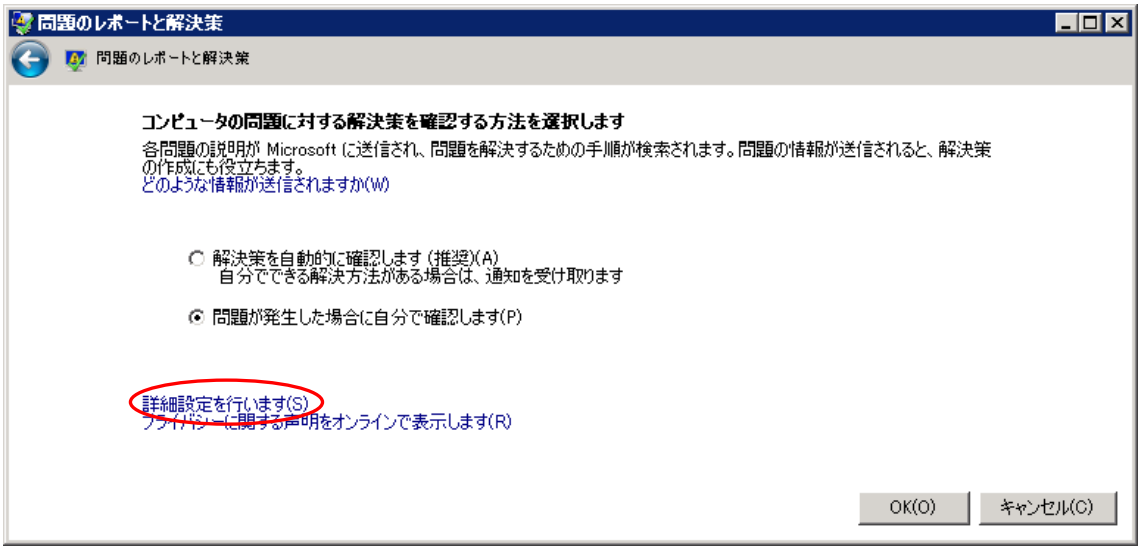
名前欄の丸で囲まれた「問題のレポートと解決策」を選択すると、次の画面が開きます。



丸で囲まれた「設定の変更」を押してください。

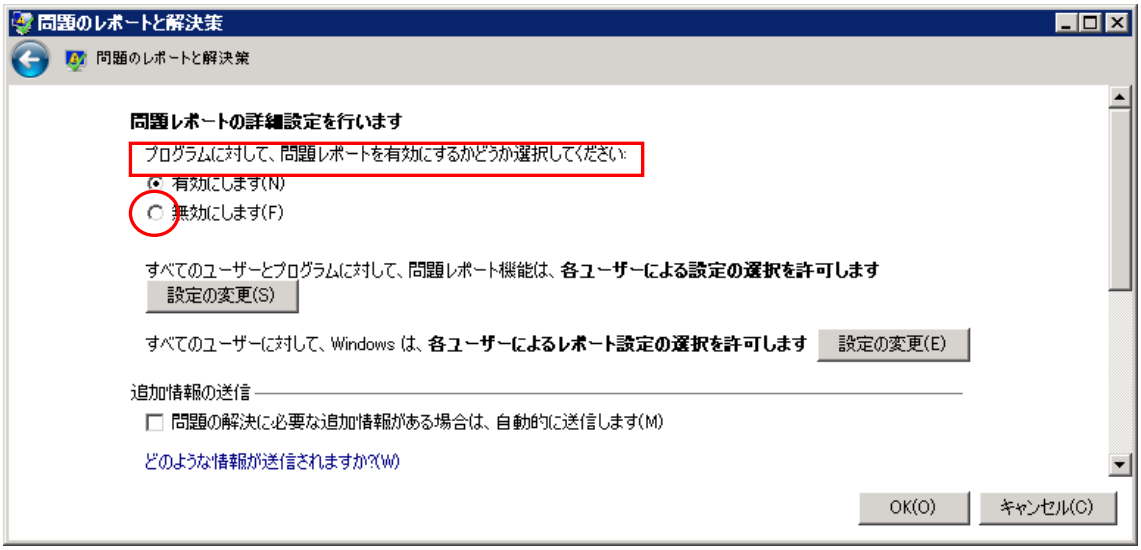
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

以下の画面が開きますので、丸で囲まれた「詳細設定を行います(S)」を押してください。



問題レポートの詳細設定を行う画面が開きます。

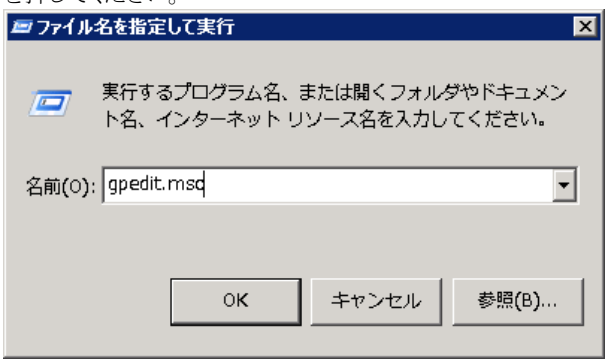
四角で囲まれた「プログラムに対して、問題レポートを有効にするかどうか選択してください」の欄の「無効にします(F)」にチェックを入れてください。設定終了後、「OK」 ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じます。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

6.1.2　Windows Server 2008 / 2012 のエラー報告ダイアログを無効にする方法 2

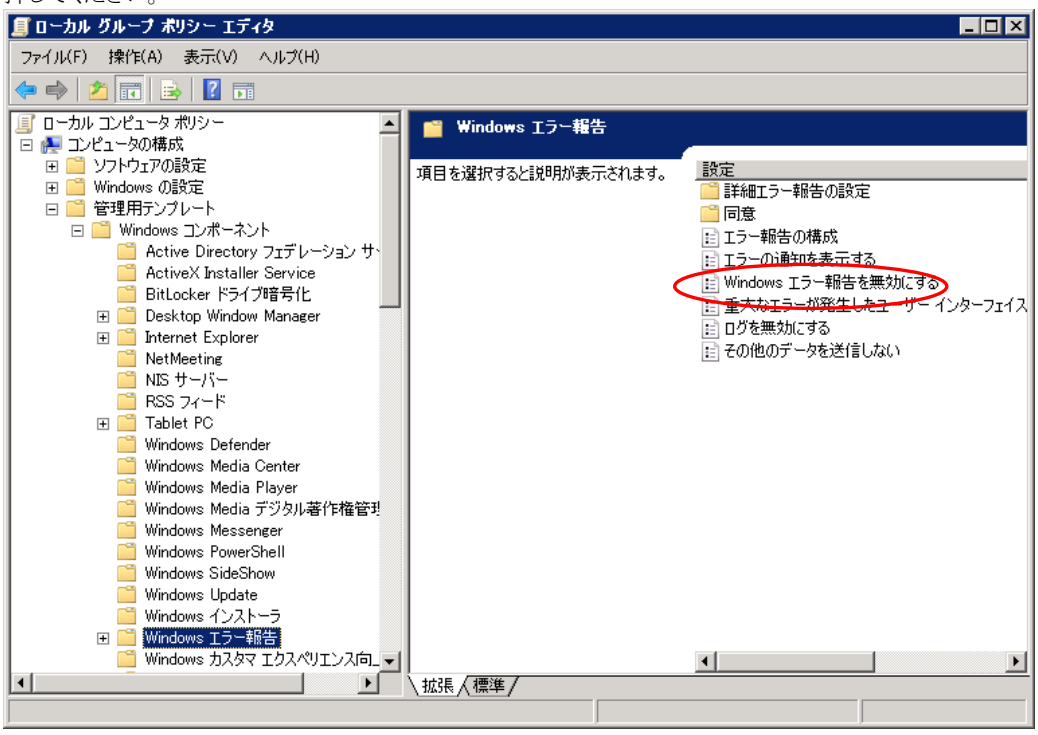
スタート→ファイル名を指定して実行を選択してください。以下の画面が出ますので、 gpedit.msc と入力して「OK」を押してください。



※変更を許可しますかといったダイアログが出る場合がありますが、「OK」を押してください。

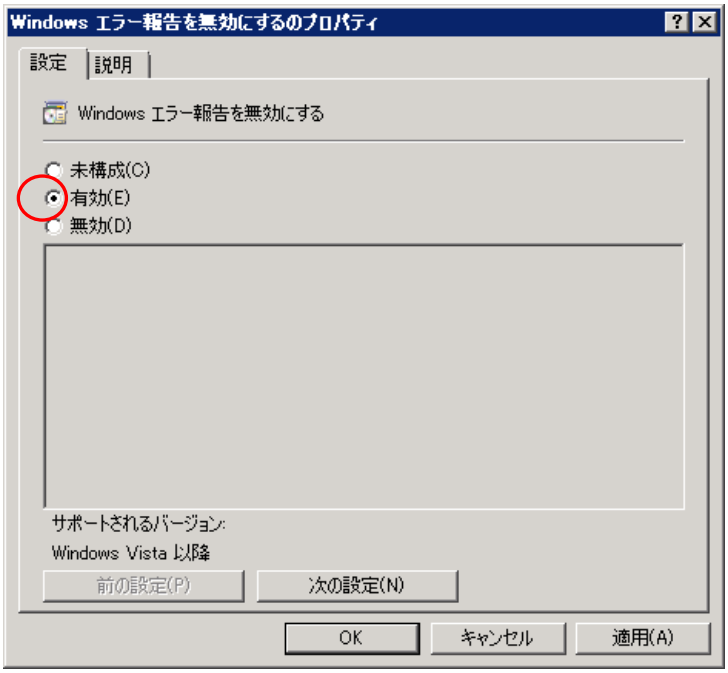
ローカルグループポリシーエディタが起動されますので、以下の手順を実行してください。

ローカルコンピュータポリシー → コンピュータの構成 → 管理用テンプレート → Windows コンポーネント → Windows エラー報告 を選択すると以下の画面になります。丸で囲まれた「Windows エラー報告を無効にする」を押してください。

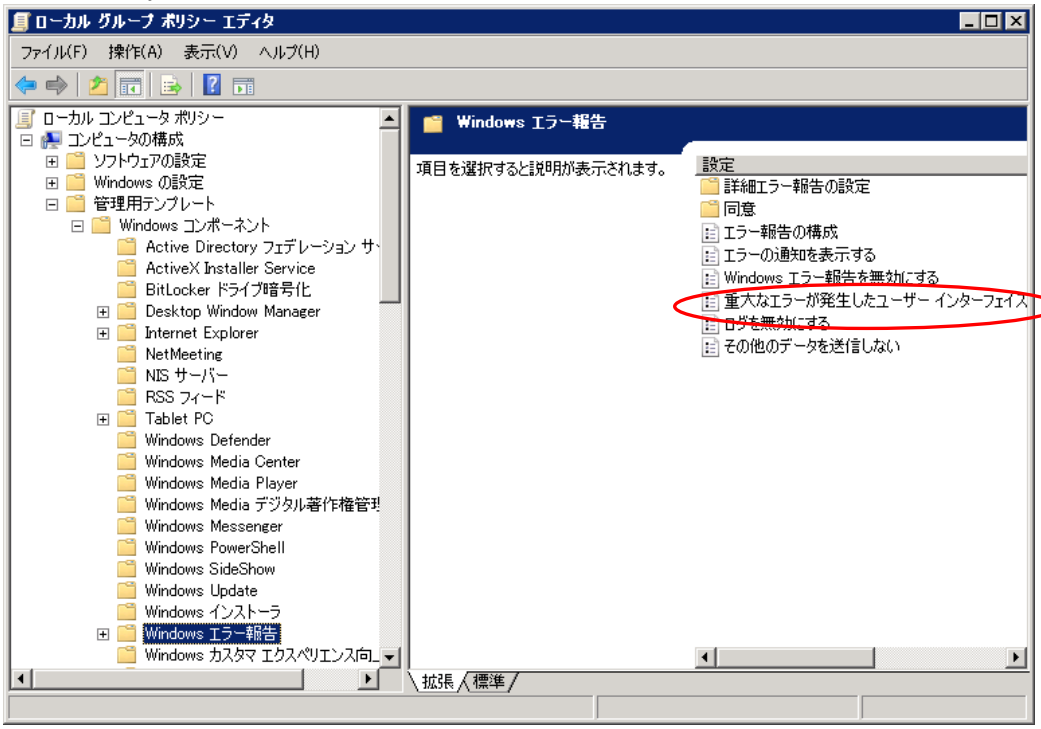


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

以下の画面になりますので、「有効(E)」にチェックを入れてください。設定終了後、「OK」 ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じます。

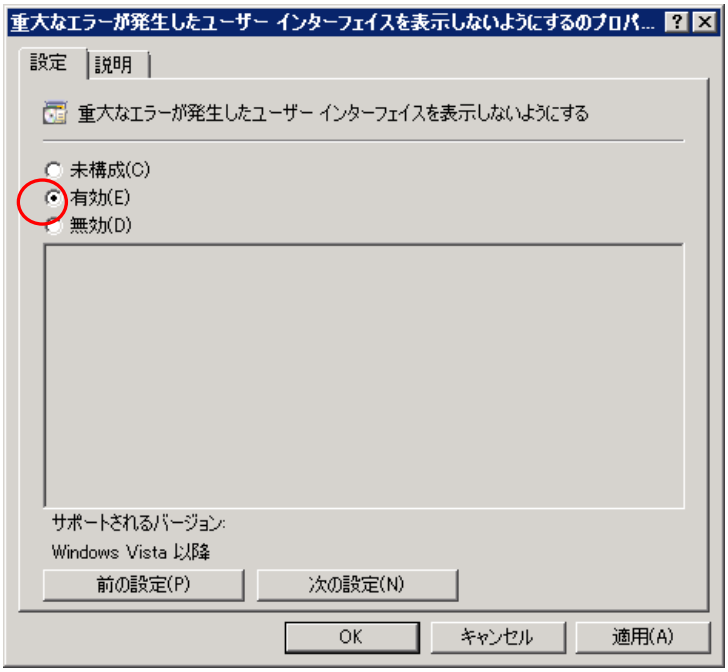


続いて以下の設定を行ってください。「重大なエラーが発生したユーザーインターフェイスを表示しないようにする」を押してください。

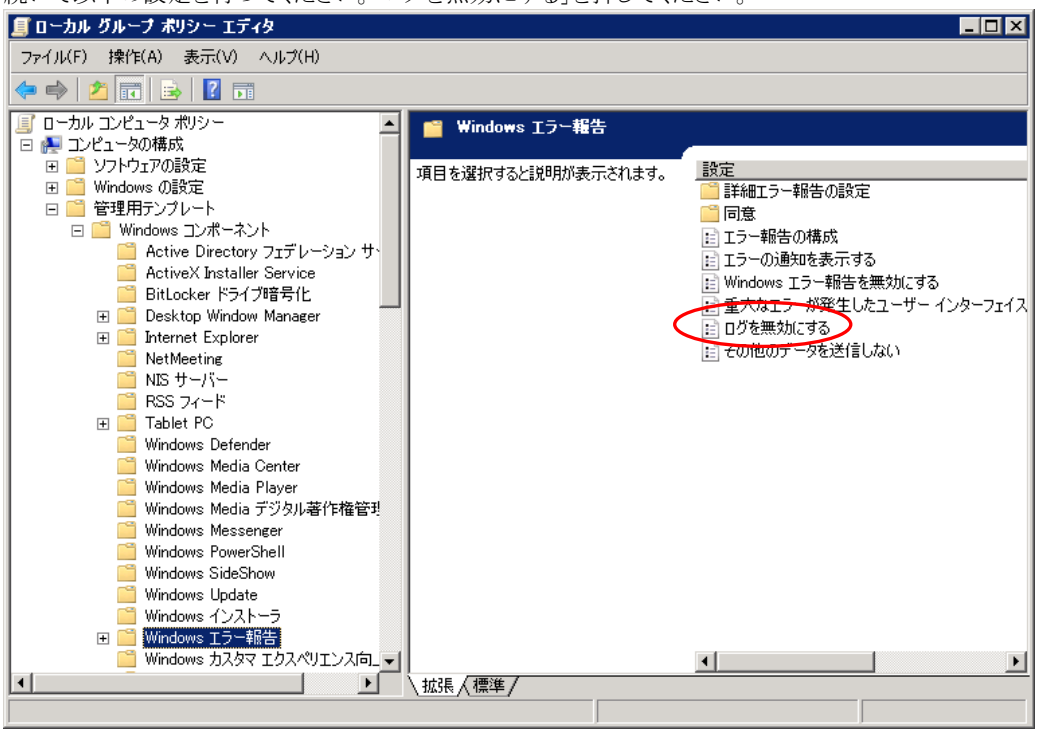


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

以下の画面になりますので「有効(E)」にチェックを入れてください。設定終了後、「OK」 ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じます。

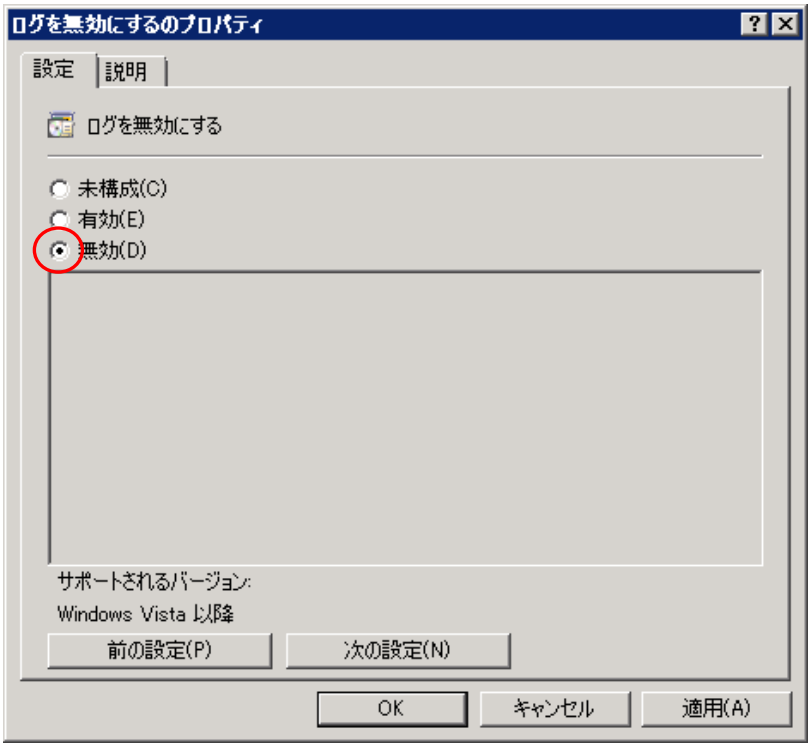


続いて以下の設定を行ってください。「ログを無効にする」を押してください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

以下の画面になりますので「無効(D)」にチェックを入れてください。設定終了後、「OK」 ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じます。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7 アプリごとの変換に必要な設定（必須）

アプリケーションの PDF 変換時に必要な設定があります。

7.1 Excel･Word の用紙設定

以下のように印刷されることがあります。

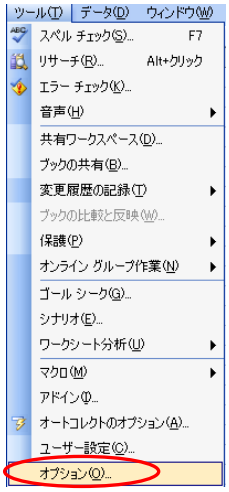
- Office の用紙サイズが A4 でプリンタのデフォルトがレターの場合、レターで印刷される。
- Office の用紙サイズがレターでプリンタのデフォルトが A4 の場合、A4 で印刷される。

7.1.1 Office 2003 の場合

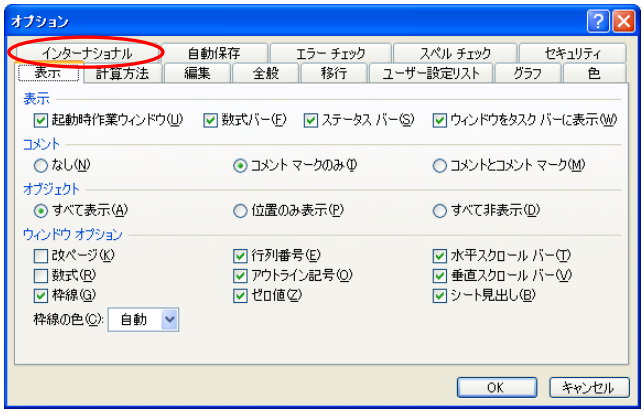
7.1.1.1 Excel の設定方法

上記の現象を回避するには Excel のオプションの「基本の用紙サイズ（A4/レター）に合わせて自動調整する」という機能を OFF にする必要があります。
例として、Office 2003 Excel の設定方法を説明いたします。

(1)Excel のツールバー→ツール→オプションを選択してください。

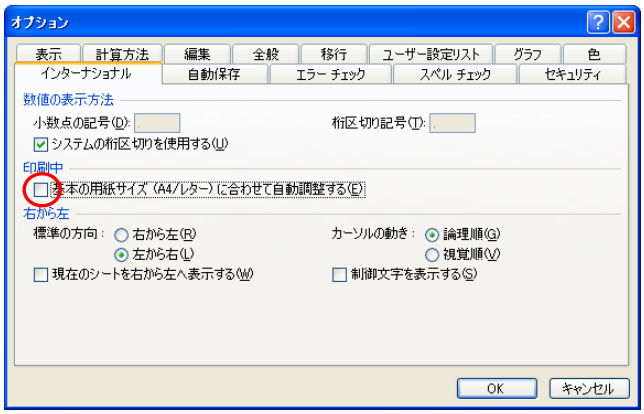


(2)オプション画面が表示されます。画面上部のタブからインターナショナルを選択してください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(3)インターナショナルの画面が表示されます。
印刷中の項目にある「基本の用紙サイズ(A4 / レター)に合わせて自動調整する」のチェックを外してください。
(デフォルトの状態ではチェックが付いています。)
設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。



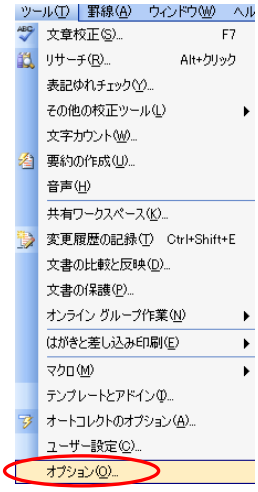
以上で、設定は完了です。

※このオプションが ON で A4/レターの場合、プリンタのデフォルトの用紙サイズで印刷されます。
(コンバータ以外のプリンタでも同じです。)
正確に変換されたい場合、変換するユーザ名にてログインして、上記設定を OFF にしてください。
レターサイズが A4 になっても構わないということであれば、PDF コンバータの用紙設定を A4 に設定してください。
※Excel において A4/レター以外の組み合わせは全て Office の用紙サイズで印刷されます。

7.1.1.2　　Word の設定方法

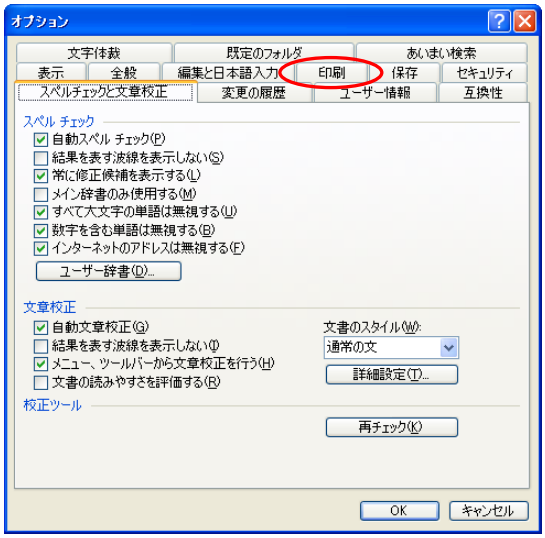
この現象を回避するには Word のオプションの「基本の用紙サイズ(A4/レター)に合わせて自動調整する」という機能を OFF にする必要があります。
例として、Office 2003 Word の設定方法を説明いたします。

(1)Word のツールバー→ツール→オプションを選択してください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

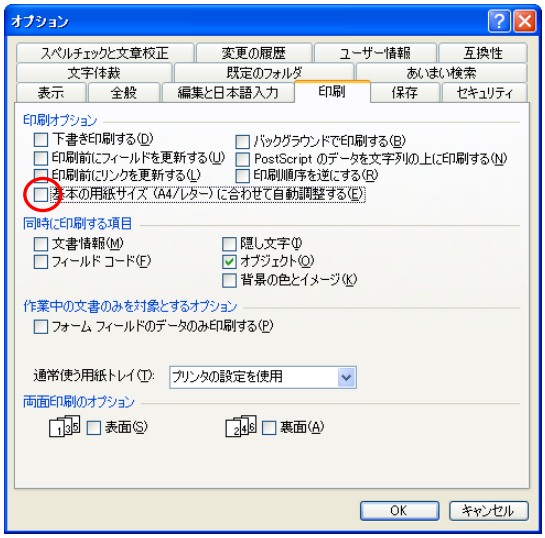
(2)オプション画面が表示されます。画面上部のタブから印刷を選択してください。



(3)印刷の画面が表示されます。

印刷オプションの項目にある「基本の用紙サイズ(A4 / レター)に合わせて自動調整する」のチェックを外してください。(デフォルトの状態ではチェックが付いています。)

設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。



以上で、設定は完了です。

※このオプションが ON で A4 / レターの場合、プリンタのデフォルトの用紙サイズで印刷されます。
(コンバータ以外のプリンタでも同じです。)
正確に変換されたい場合、変換するユーザ名にてログインして、上記設定を OFF にしてください。
レターサイズが A4 になっても構わないということであれば、PDF コンバータの用紙設定を A4 に設定してください。

※Word において A4 / レター以外の組み合わせは全て Office の用紙サイズで印刷されます。

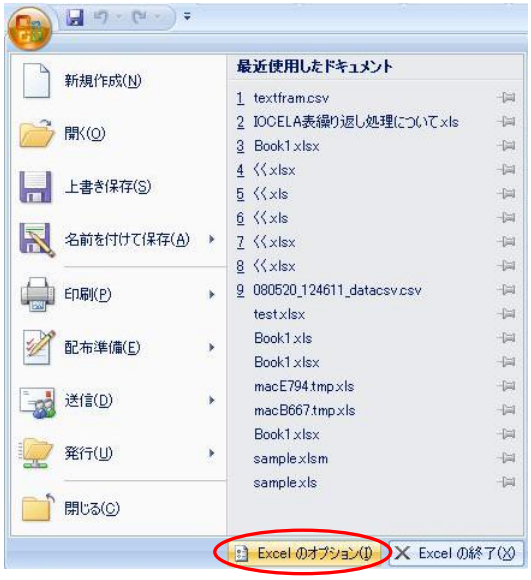
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.1.2　Office 2007 の場合

7.1.2.1　Excel の設定方法

この現象を回避するには Excel のオプションの「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という機能を OFF にする必要があります。
例として、Office2007 Excel の設定方法を説明いたします。

(1)Excelを開き、Office ボタン→Excel のオプションを選択してください。



(2)オプション画面が表示されます。「詳細設定」-「全般」に移動し、「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」のチェックを外してください。(デフォルトの状態ではチェックが付いています。)
設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

以上で、設定は完了です。

※このオプションが ON で A4/レターの場合、プリンタのデフォルトの用紙サイズで印刷されます。
（コンバータ以外のプリンタでも同じです。）
正確に変換されたい場合、変換するユーザ名にてログインして、上記設定を OFF にしてください。
レターサイズが A4 になっても構わないということであれば、PDF コンバータの用紙設定を A4 に設定してください。
※Excel において A4/レター以外の組み合わせは全て Office の用紙サイズで印刷されます。

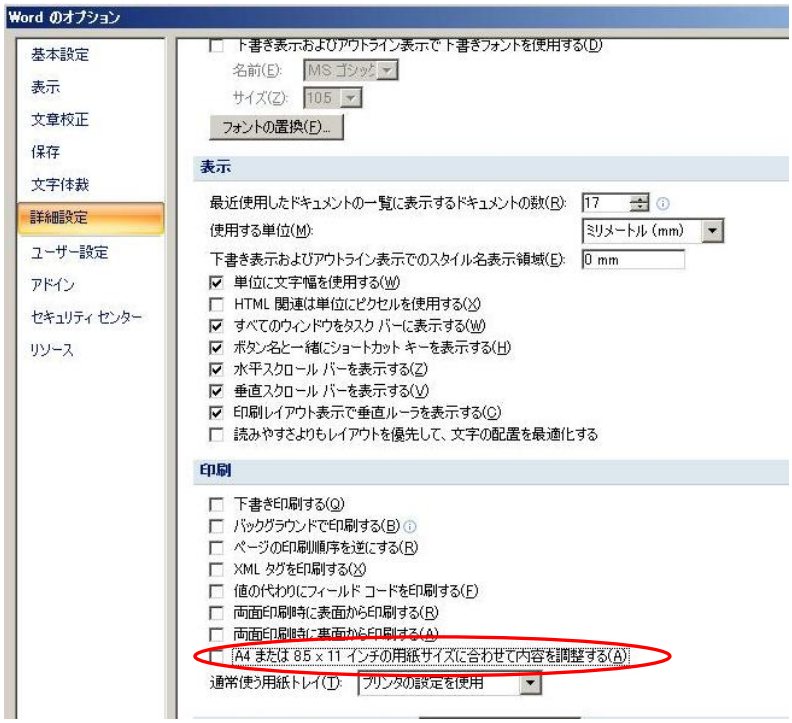
7.1.2.2　　Word の設定方法

この現象を回避するには Word のオプションの「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という機能を OFF にする必要があります。
例として、Office2007 Word の設定方法を説明いたします。

(1)Word を開き、Office ボタン→Word のオプションを選択してください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(2)オプション画面が表示されます。「詳細設定」-「全般」に移動し、「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」のチェックを外してください。(デフォルトの状態ではチェックが付いています。)
設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。



以上で、設定は完了です。
※このオプションが ON で A4/レターの場合、プリンタのデフォルトの用紙サイズで印刷されます。
(コンバータ以外のプリンタでも同じです。)
正確に変換されたい場合、変換するユーザ名にてログインして、上記設定を OFF にしてください。
レターサイズが A4 になっても構わないということであれば、PDF コンバータの用紙設定を A4 に設定してください。
※Word において A4/レター以外の組み合わせは全て Office の用紙サイズで印刷されます。

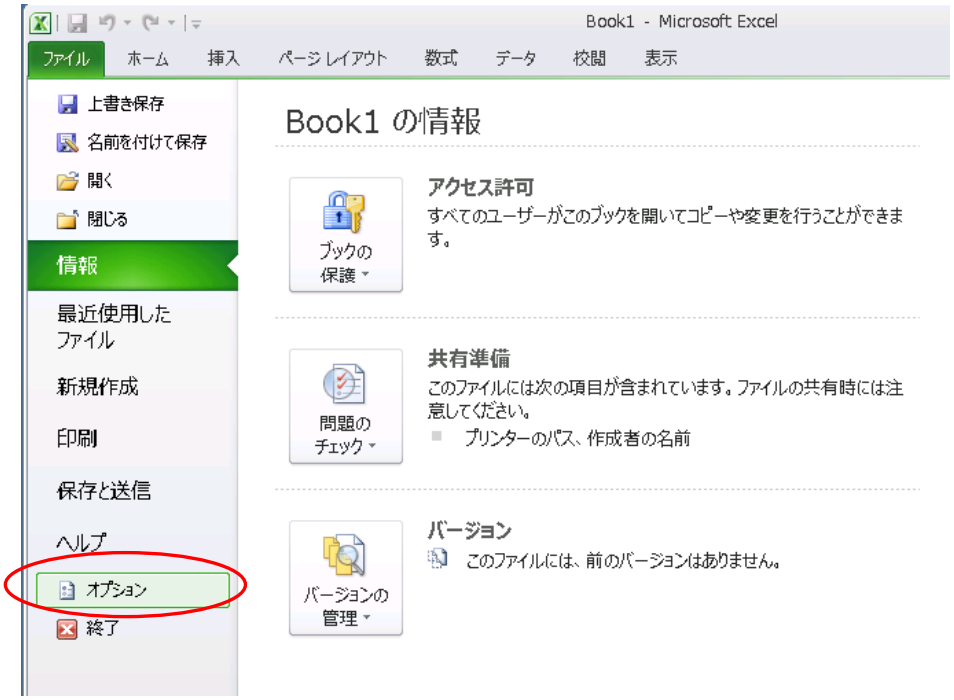
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.1.3　Office 2010 / 2013 の場合

7.1.3.1　Excel の設定方法

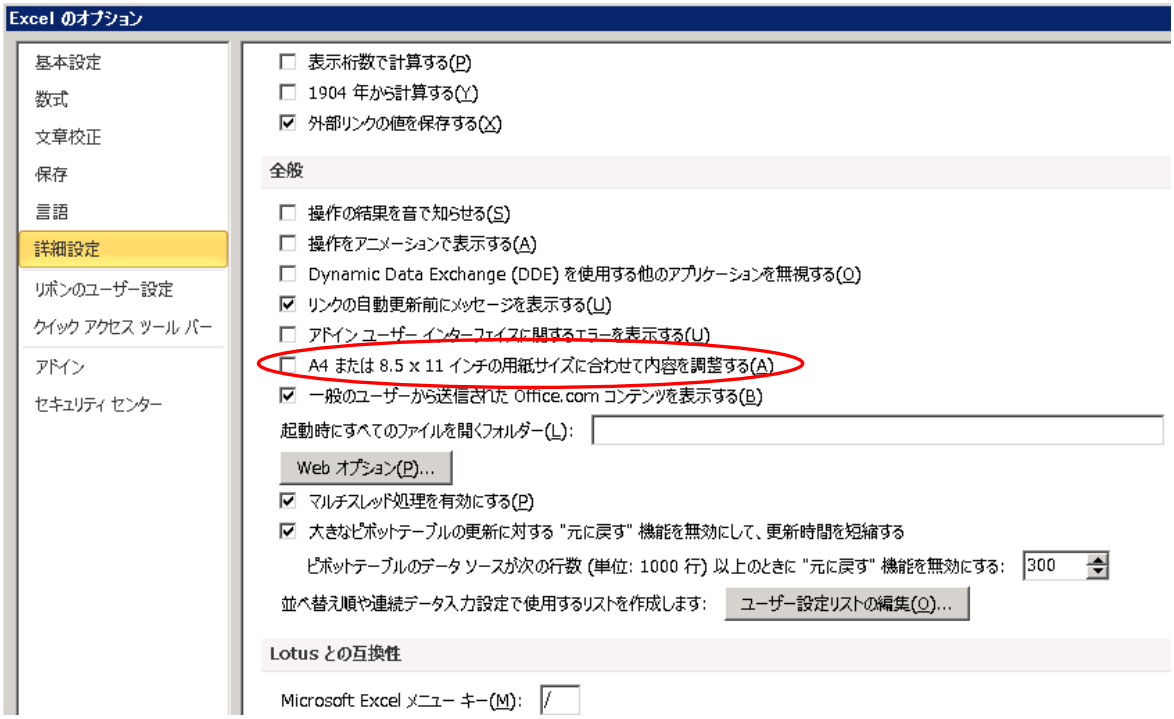
この現象を回避するには Excel のオプションの「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という機能を OFF にする必要があります。
例として、Office 2010Excel の設定方法を説明いたします。

(1)Excel を開き、Excel のツールバー→ファイル→オプションを選択してください。



(2)オプション画面が表示されます。「詳細設定」ー「全般」に移動し、「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」のチェックを外してください。(デフォルトの状態ではチェックが付いています。)
設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.



以上で設定は完了です。

※このオプションが ON で A4/レターの場合、プリンタのデフォルトの用紙サイズで印刷されます。
(コンバータ以外のプリンタでも同じです。)
正確に変換されたい場合、変換するユーザ名にてログインして、上記設定を OFF にしてください。
レターサイズが A4 になっても構わないということであれば、PDF コンバータの用紙設定を A4 に設定してください。
※Excel において A4/レター以外の組み合わせは全て Office の用紙サイズで印刷されます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

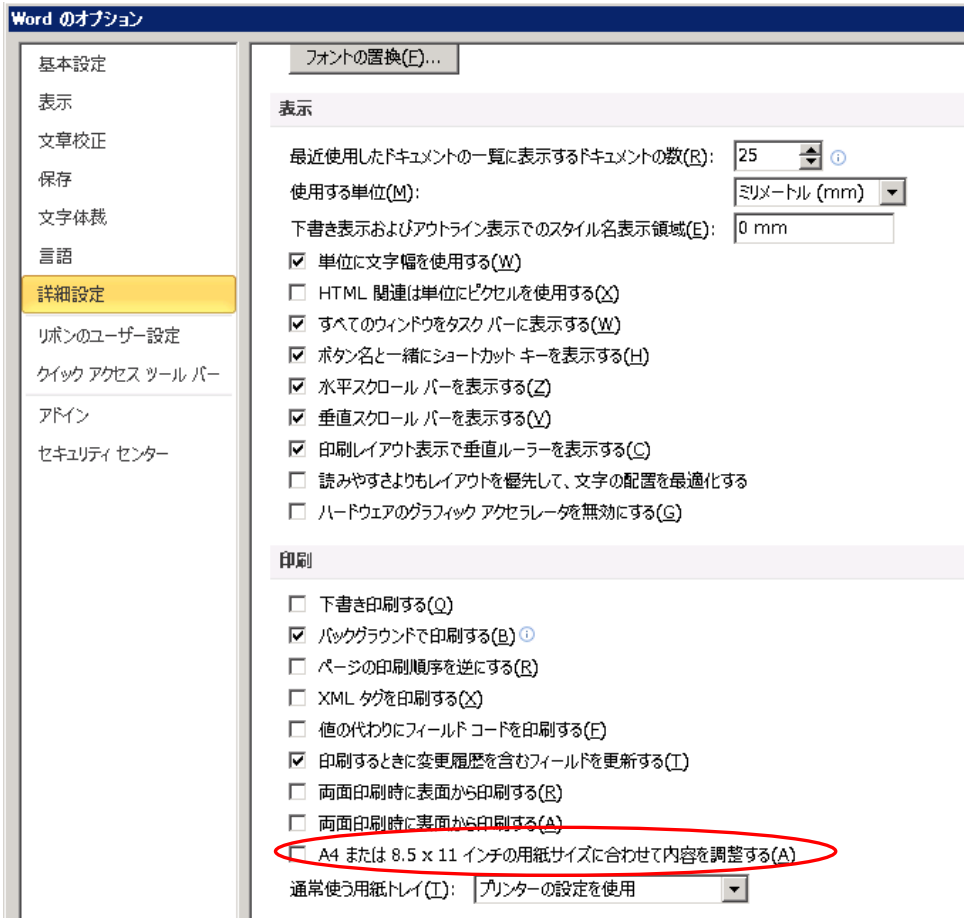
7.1.3.2　　Word の設定方法

この現象を回避するためには Word のオプションの「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という機能を OFF にする必要があります。
例として、Office2010Word の設定方法を説明いたします。

(1)Word を開き、Word のツールバー→ファイル→オプションを選択してください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(2)オプション画面が表示されます。「詳細設定」－「印刷」に移動し、「A4 または 8.5×11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」のチェックを外してください。(デフォルトの状態ではチェックが付いています。)
設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。



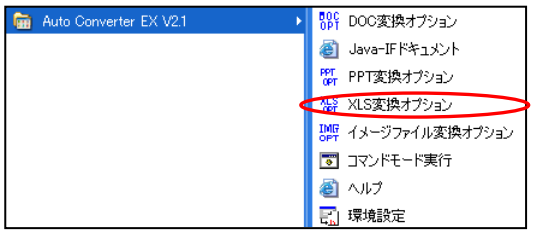
以上で、設定は完了です。
※このオプションが ON で A4 / レターの場合、プリンタのデフォルトの用紙サイズで印刷されます。
(コンバータ以外のプリンタでも同じです。)
正確に変換されたい場合、変換するユーザ名にてログインして、上記設定を OFF にしてください。
レターサイズが A4 になっても構わないということであれば、PDF コンバータの用紙設定を A4 に設定してください。
※Word において A4/レター以外の組み合わせは全て Office の用紙サイズで印刷されます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

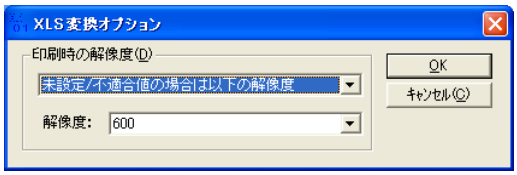
7.2　Excel オプションの設定（XLS 変換オプション）

7.2.1　設定方法

(1)スタート→プログラム→Auto Converter EX Vx.x.x→XLS 変換オプションを選択してください。



(2)デフォルト設定は以下のようになっています。



- 未設定/不適合の場合は以下の解像度
- 解像度:600

- 基本的に「未設定/不適合の場合は以下の解像度」の設定のままで、変換することをお勧めします。
  解像度の設定は「600」または「300」をお勧めします。600 でうまく変換できないケースが頻発する場合、「300」に変更してみてください。

基本的変更は不要ですが、お客様の環境によっては、以下のいずれかの設定に変更することが可能です。

7.2.2　設定を変更する場合（通常の場合、以下の設定は不要です）

1.「何もしない」を選択

Office2000 以降で作成されたファイルには、解像度設定が存在します。このため解像度設定を特に行わなくても変換に問題がありません。「未設定/不適合の場合は以下の解像度」より少し変換スピードが改善します。
注意　Office97 で作成されたファイルを再保存したファイルや、Office97 のファイルからシートごとコピーや移動して作成されたファイルは、Office97 以前の属性を引き継ぐため解像度設定されません。この機能は Excel 等をシステムから出力する場合で、Excel の印刷設定の解像度が必ずある場合のみ有効です。通常で使用する場合は、「何もしない」を選択することはお勧めしません。

2.「常に以下の解像度」を選択　　解像度 600 指定

非常に特殊な Excel が投げ込まれる可能性があり、安定性を非常に重視したい場合にお勧めです。ファイル変換スピードは低下します。すべてのファイルを指定された dpi で変換するようになります。「未設定/不適合の場合は以下の解像度」では問題が出る場合にのみ検討ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.3　Excel / PowerPoint　2007 / 2010 / 2013 限定の設定

「PPT には A3･B4 といった用紙サイズが基本的にありません。このため、これらの用紙サイズを使用する場合、PPT ファイル変換のオプション画面にて変換する用紙サイズを指定する必要があります。インストール時には標準設定になっています。特に問題のない設定になっているはずですが、運用上問題がある場合のみ以下を確認ください。

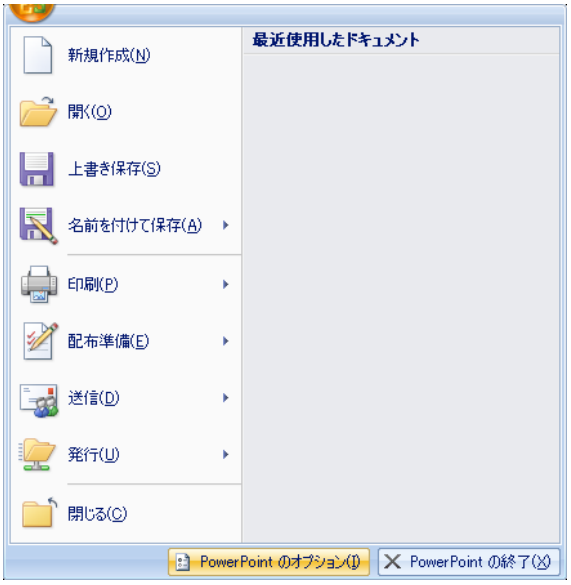
7.3.1　PowerPoint の印刷効果の設定（この設定は PPT の PDF 変換で Office 2007 / 2010 / 2013 の場合必須です）

以下のように印刷されることがあります。

- Office 2003 で出力されていた影が Office2007 / 2010 / 2013 で出力されない。

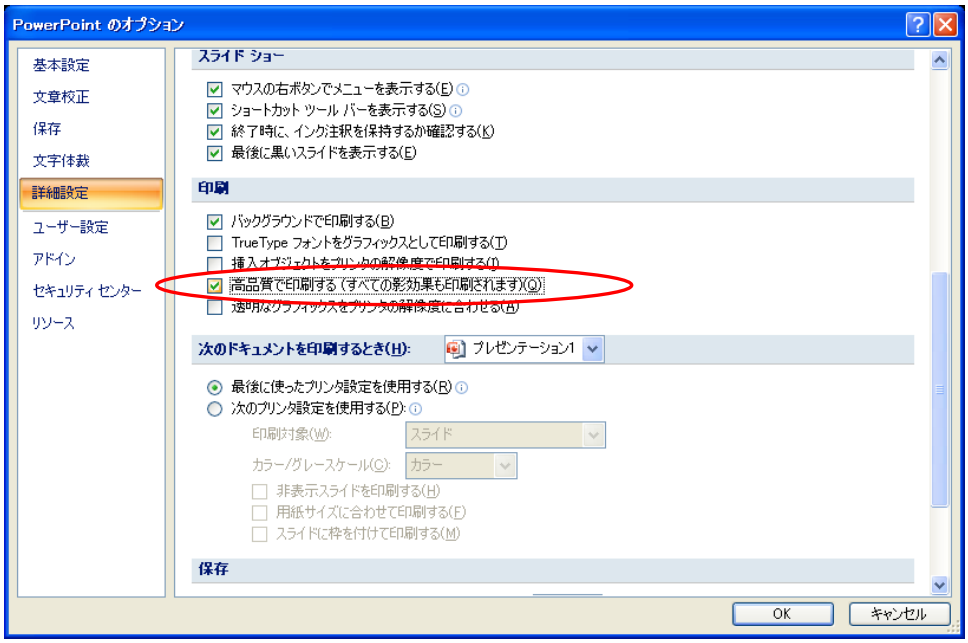
この現象を回避するには PowerPoint のオプションの「高品質で印刷する(すべて影効果も印刷されます」という機能を ON にする必要があります。
例として、設定方法を説明いたします。

(1) PowerPoint を開き、Office ボタン→PowerPoint のオプションを選択してください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(2)オプション画面が表示されます。「詳細設定」-「印刷」に移動し、「高品質で印刷する(すべて影効果も印刷されます」にチェックをいれてください。(デフォルトの状態ではチェックが外れています。)
設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。

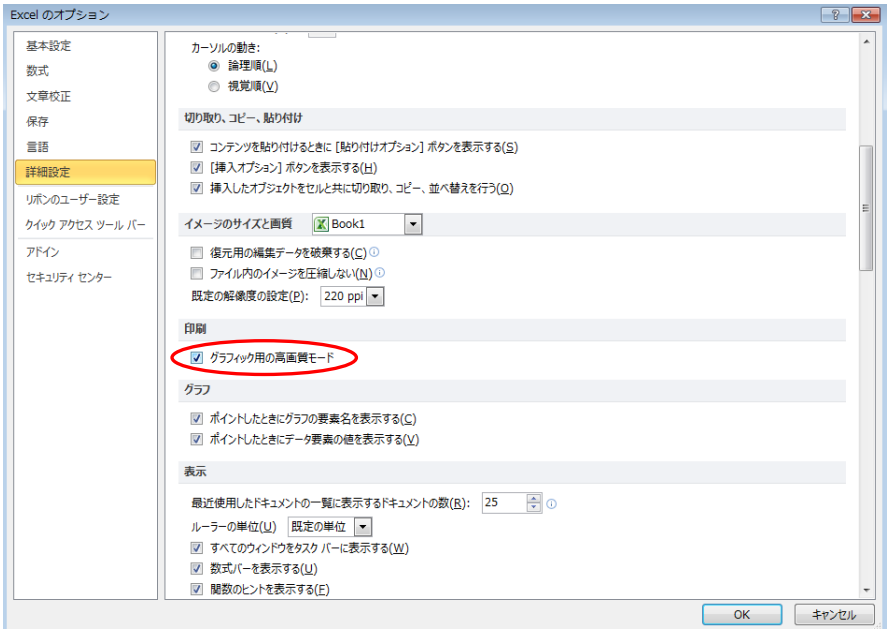


以上で、設定は完了です。

7.3.2　Excel の印刷効果の設定(この設定は Excel の PDF 変換で Office 2007 / 2010 / 2013 の場合必須です)

(1) Excel を開き、Office ボタン(ファイル)→Excel のオプションを選択してください。

(2)オプション画面が表示されます。「詳細設定」-「印刷」に移動し、「グラフィック用の高画質モード」にチェックをいれてください。(デフォルトの状態ではチェックが外れています。)



設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。

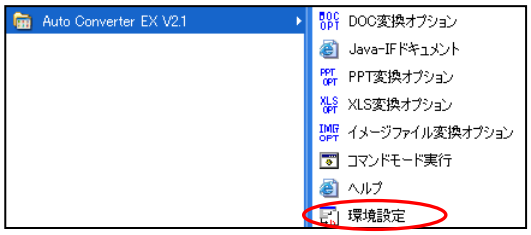
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

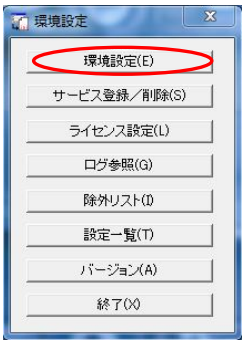
7.4　PowerPoint 2013 を変換する場合の必須の設定

7.4.1　　設定方法

(1)スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX V.3.x.x→環境設定を選択してください。

環境設定画面が開きます。環境設定画面の「環境設定」ボタンをクリックしてください。

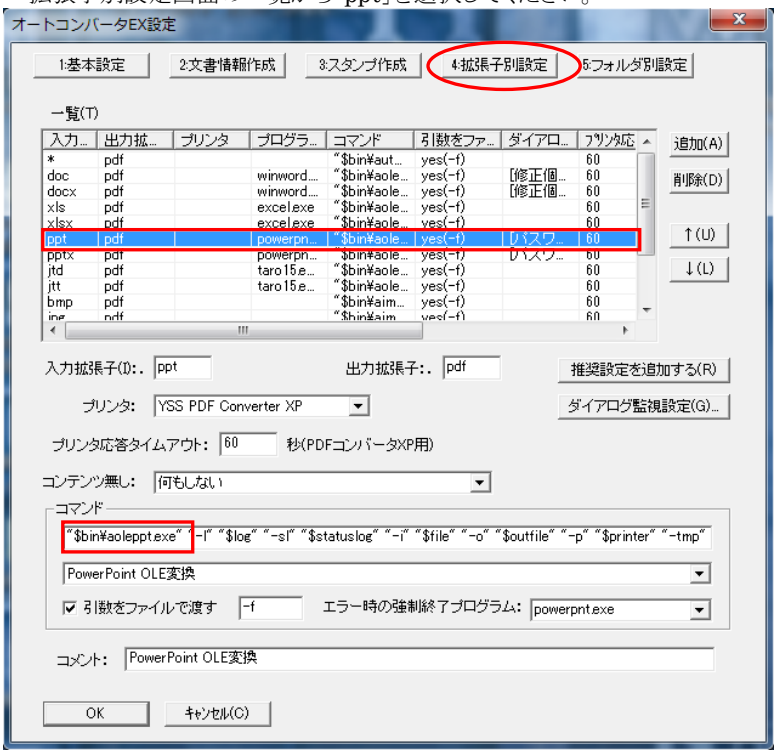




(2)オートコンバータ EX 設定画面が開きます。

画面上部にある拡張子別設定タブを選択してください。

拡張子別設定画面の一覧から「ppt」を選択してください。



(3) 上記画面「コマンド」欄の先頭部分（赤い四角で囲まれた部分）を下記の通り書き換えてください。

aoleppt.exe　⇒　aoleppt2.exe

※「pptx」も同様の設定をしてください。

設定終了後、「OK」 ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じます。

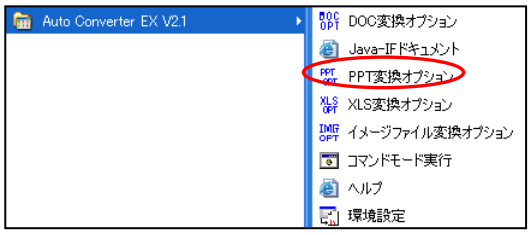
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.5　PowerPoint 2010 / 2013 限定の必須設定

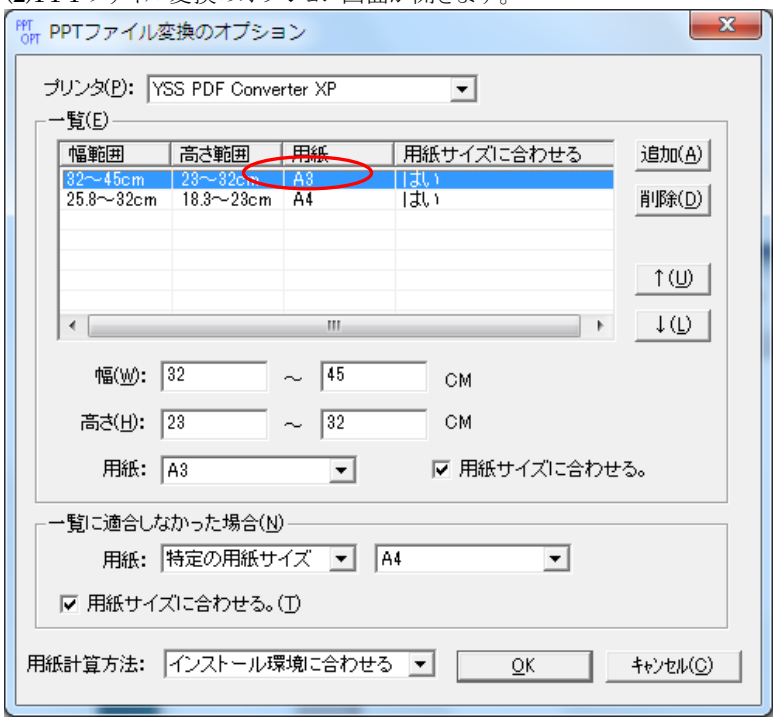
この設定は PowerPoint を Office 2010 / 2013 で変換する際は必須です

Office 2010 / 2013 で A3 サイズの PowerPoint の印刷をすると原因不明のエラーになる事があります。
この問題を回避するため、Office 2010 / 2013 では PowerPoint 変換オプションで以下の設定をお願いします。

(1) スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX Vx.x.x→PPT 変換オプションを選択してください。

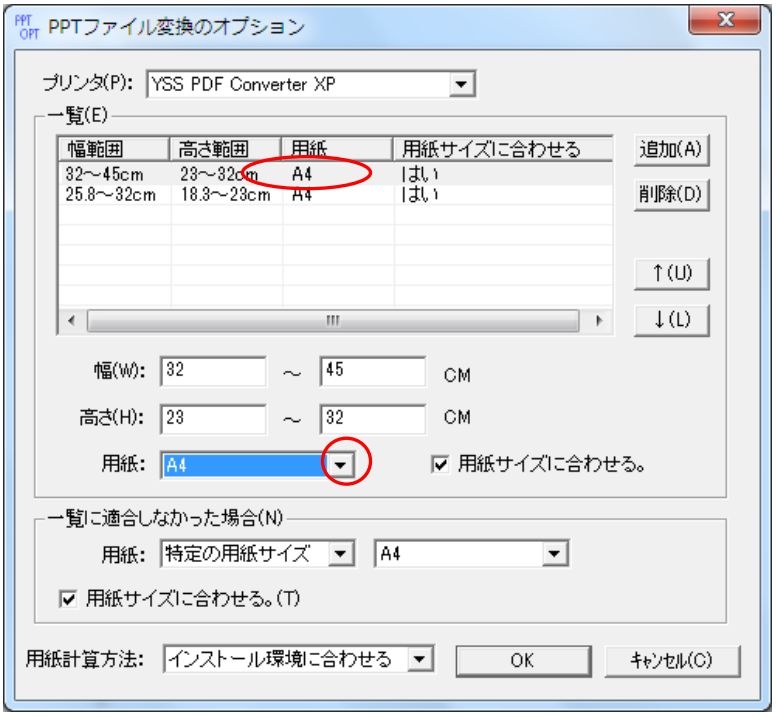


(2)PPT ファイル変換のオプション画面が開きます。



上記がデフォルトの状態です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.



「一覧」「用紙」 の部分の赤い丸で囲まれた逆三角形の部分をクリックし、コマンド欄のコンボボックスを開いて「A3」 から 「A4」 を選択してください。

設定終了後、「OK」 ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.6　Office　2007 / 2010 / 2013 をご使用する場合の注意点

Office 2010 の新機能として、Office に互換性の無いファイルにエラーを出す機能があります。Office を使わずに作成したファイル(Java POI やその他 Microsoft 以外のソフト)で出る確率が高いようですが、Office 2007 以前で作成したファイルでも出ることがあります。
これに該当するファイルを Office 2010 で開くと以下のようなエラーが出ます。

PDF オートコンバータ EX で PDF 変換をした際に、以下のエラーになります。

611　変換モジュールがエラーを返しました。
804　ファイルオープンエラー

Office OLE 機能から返されたエラー
　　このファイルから問題が検出されました。コンピュータを保護するため、ファイルは開かれません。

推奨回避方法

この問題の発生の原因はファイルにあることが多いです(環境や設定にも依存します)。問題が出ているのが、このファイルだけであれば、該当のファイルを Office 2010 / 2013 で開いて、保存しなおしてください。
もし、システムから大量に出力されている場合、システム側でエラーの出ないファイルにできないか確認ください。

ファイルを修正する等上記の回避方法をとることが現実的でなく、PDF オートコンバータ EX による変換を行わざるをえない場合があります。

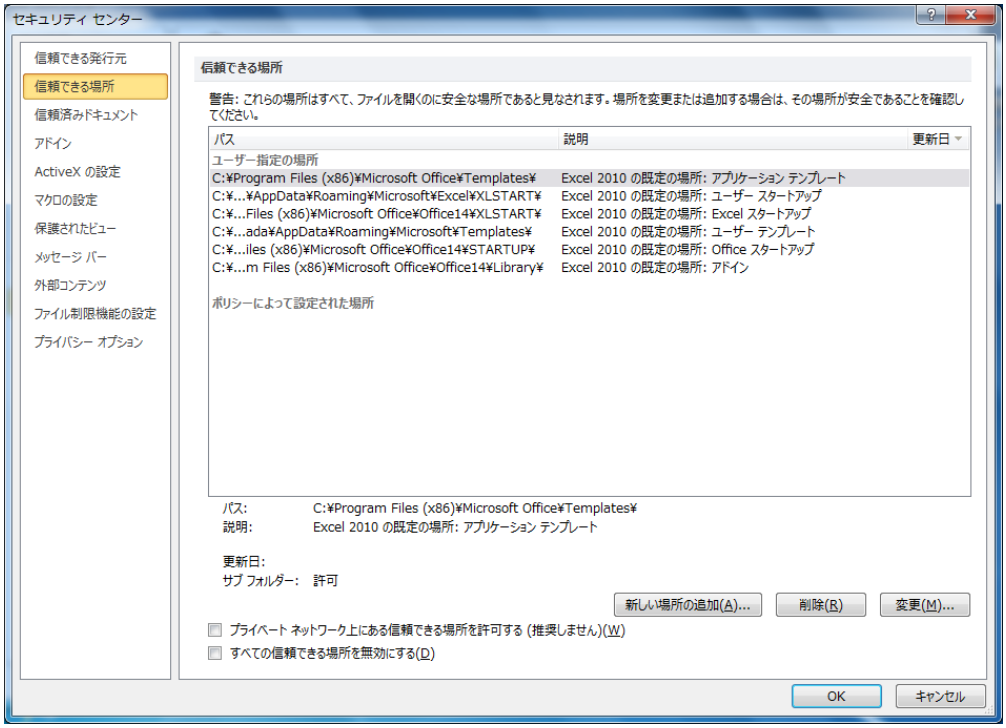
- 過去に大量に問題ファイルを作成してしまっている、
- システム側で修正ができない、
- どのようなファイルが送られてくるかわからない

このような場合、以下の設定を行うことで、PDF オートコンバータ EX による PDF 変換できるようになります。但し、該当ファイルは Microsoft Office では破損ファイルとみなされているものですから、あくまで現時点での回避方法となります。今後のサービスパックや次期 Office では読めなくなる、つまり変換できなくなるリスクがあります。
また、以下に説明する内容は、セキュリティを低下させる側面があります。このような設定をされるかどうかは、あくまで御社の判断でお願いいたします。

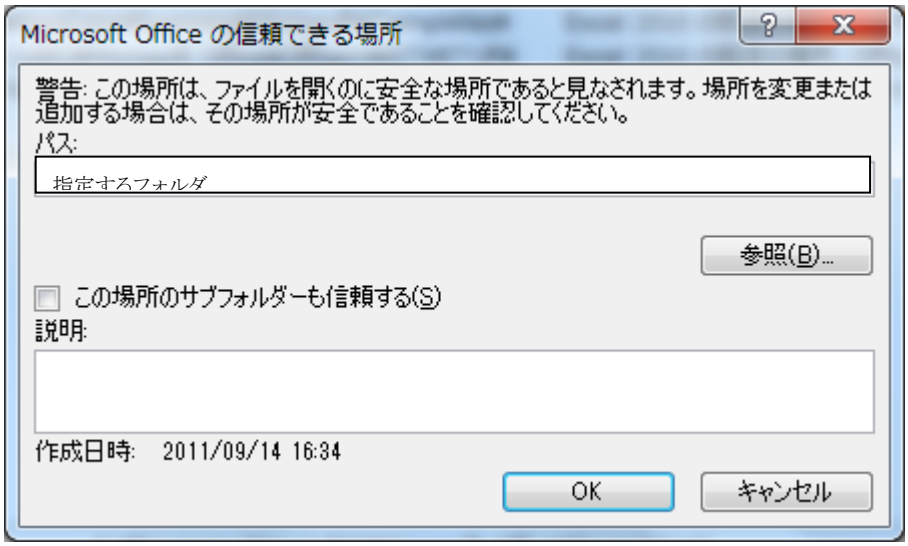
具体的には、サーバ上の該当の Office のアプリケーションを開いて、変換元のファイルが存在するフォルダを信頼できる場所に登録することによって変換が可能になります。

Office アプリケーションで「ファイル　→　オプション　→　セキュリティセンター　→　セキュリティセンターの設定　→　信頼できる場所」と選択して行くことによって、次の画面が開きます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.



ここで、「新しい場所追加」を選択し、変換元のフォルダを追加します。フォルダ変換の場合は、指定した監視フォルダ全体を指定し、コマンド/Java/C 等で変換する場合、変換されるファイルが置かれているフォルダすべてを指定します。

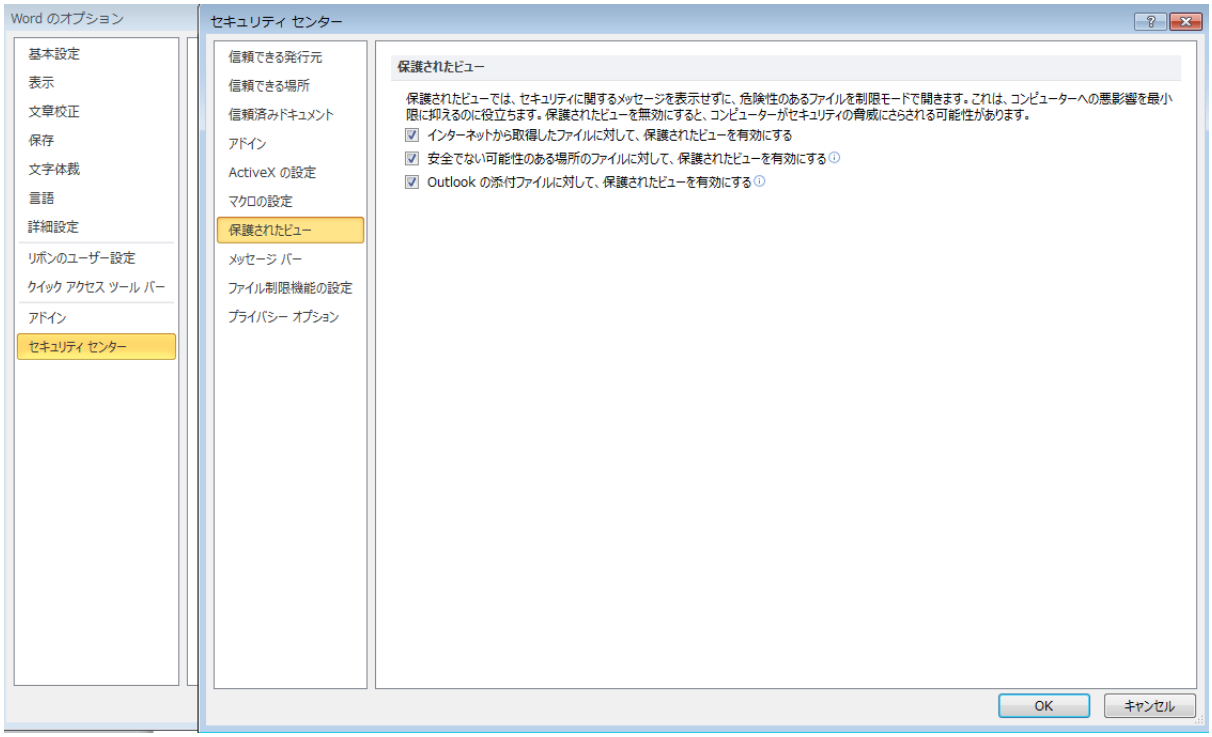


特定のフォルダ配下に変換対象ファイルがある場合はトップフォルダを指定し「この場所のサブフォルダーも信頼する」をチェックします。

ネットワーク先などのファイルは、保護されたビューなどのチェックを外す等の対応をとる必要がある可能性があります。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

上記の他に、以下の設定でチェックを外して回避する余地もあります。



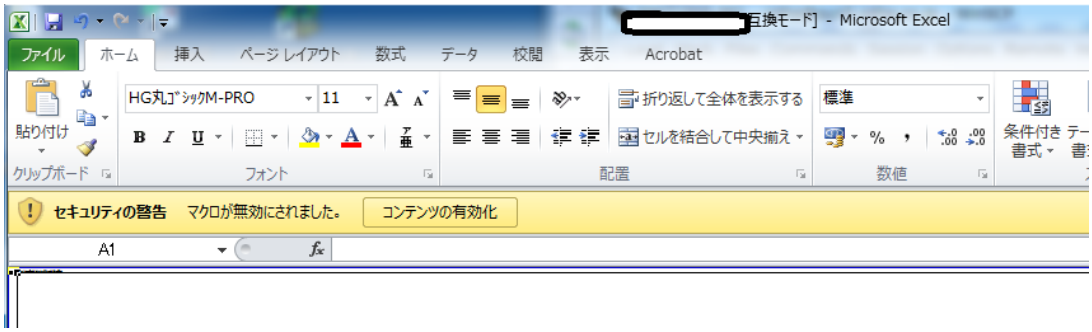
変換対象のアプリケーションすべてに設定することが必要です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.7　Office 2007 / 2010 / 2013 で使用する場合に必須の設定

7.7.1　発生する問題

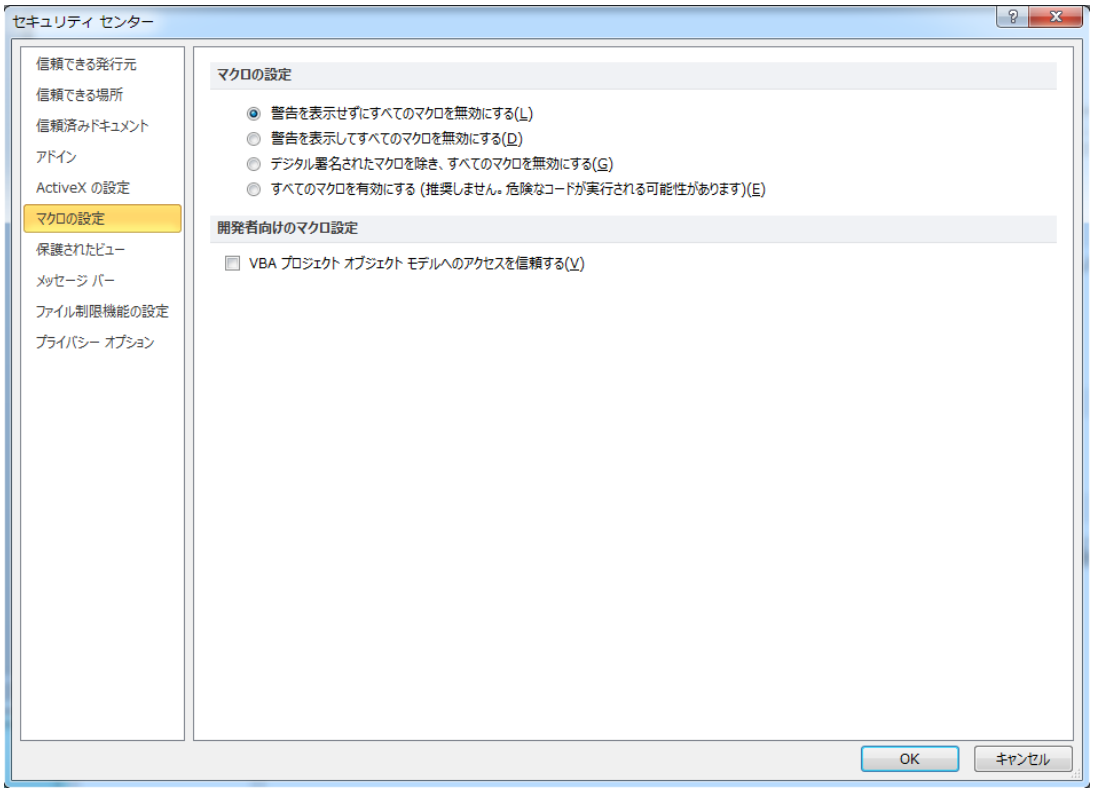
マクロの入っていないファイルでも、以下のような警告が出て、変換が停止するケースがあります。



7.7.2　処理を停止しない為に行うべき設定

以下を行ってください。

PDF 変換と同じ権限者でログインして、Word を起動してください。
ファイル→オプション→セキュリティセンター→マクロの設定
を選ぶと以下の画面が表示されます。



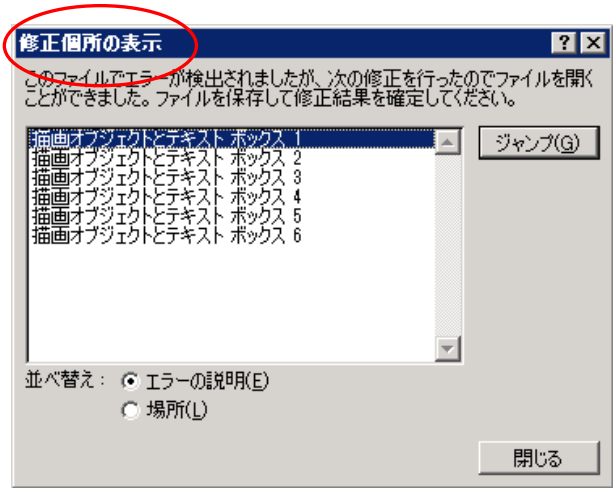
上記のように、「警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする」を選択してください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.8　Office 2007 / 2010 / 2013 で Word を使用する場合に必須の設定

7.8.1　発生する問題

64bitOS の環境(Office 2007 / 2010 / 2013 64bit)で、Office XP や Office 2003 で作られた Word ファイル(オブジェクトが規定サイズからはみ出しで作成されたファイル)を変換するとエラーの下記の様な「修正箇所の表示」という内容のエラー説明のダイアログが出て、自動変換がストップします。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.8.2　処理を停止しない為に行うべき設定

Office 2007 / 2010 / 2013 で、破損した文書を修正して開く際に表示する[修正箇所の表示]のダイアログボックスを非表示にする方法について説明致します。

●注意●
レジストリを編集しますので、細心の注意をはらって処理するようお願い致します。
レジストリを誤って変更すると、深刻な問題が発生することがあります。
万一に備えて編集前にレジストリのバックアップをしておくと、問題が発生した場合にレジストリを復元することができます。

[修正箇所の表示]のダイアログボックスを非表示にするには、以下の手順を実行してレジストリ値を新規に作成して下さい。

1. Word 2007 / 2010 / 2013 を終了します。
2. [スタート]ボタンをクリックします。
3. [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「regedit」と入力して[OK]をクリックします。
4. 管理者のパスワードを要求するダイアログボックスが表示された場合はパスワードを入力して[OK]をクリックし、確認を要求するダイアログボックスが表示された場合は[続行]をクリックします。
5. [レジストリエディタ]画面の左側のツリーを、次のレジストリサブキーまで展開します。

   Word 2013 の場合
   HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Office¥15.0¥Word¥Options

   Word 2010 の場合
   HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Office¥14.0¥Word¥Options

   Word 2007 の場合
   HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Office¥12.0¥Word¥Options

6. [レジストリエディタ]画面の[編集]メニューの[新規]をポイントし、[DWORD(32 ビット)値]をクリックします。
7. [新しい値]に、BulletProofOnCorruption と入力して、Enter キーを押します。
8. BulletProofOnCorruption を右クリックし、[修正]をクリックします。
9. [値のデータ]に「1」と入力して[OK]をクリックします。
10. [レジストリエディタ]画面の[ファイル]メニューの[レジストリエディタの終了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

補足:[修正箇所の表示]ダイアログボックスを表示するには、BulletProofOnCorruption の[値データ]に「0」を入力して下さい

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

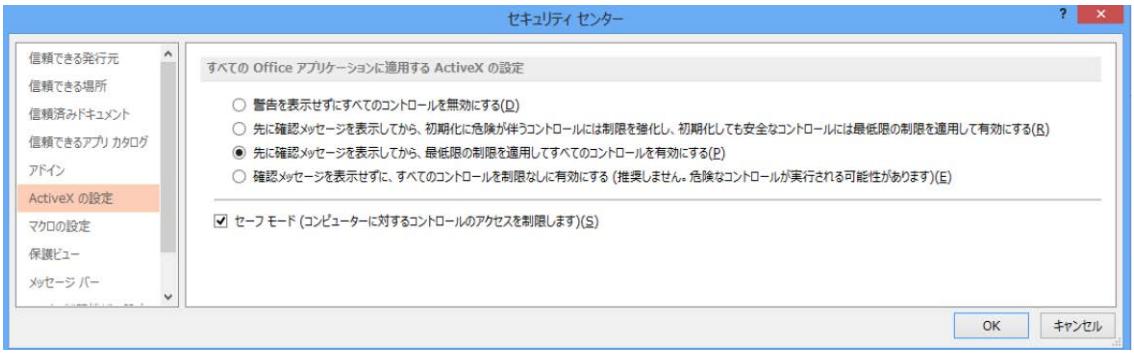
7.9　Office 2013 を使用する場合の注意点

7.9.1　セキュリティセンターの設定

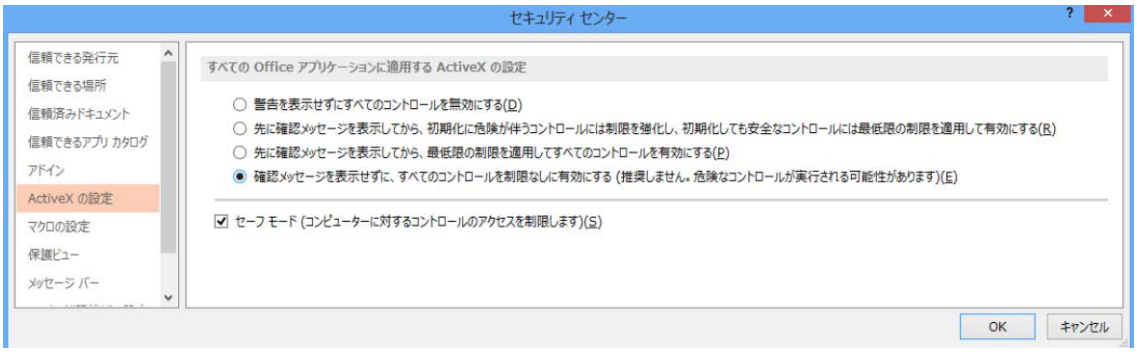
今後のファイル対応を考えると、以下の設定をする必要が出て来ます。

ファイル→オプション→セキュリティセンター→セキュリティセンターの設定
を開いてください。

設定項目 1



↓



上記を設定することで、変換エラーを減らすことが出来ます。社内のセキュリティポリシーを確認の上、設定ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.10　一太郎の設定（一太郎を変換しない場合、以下の設定は不要です）

7.10.1　制限事項

- 変換サーバには、一太郎 2007 もしくは一太郎 2009/2010/2011 をインストールしてください。左記以外のバージョンをインストールした場合の動作は保障できません。一太郎 2008 につきましては、サーバ上での動作に問題があり、不可とさせて頂きます。
- 一太郎にはサーバインストールできないバージョンが存在しますので、必ず購入前にご確認ください。
- 一太郎には、サービス変換/バックグラウンド変換できないファイルが存在します。ファイルを作成する際にオブジェクトを制限するか、またはフロント変換（コマンド等）で対応してください。（一太郎のオブジェクトの中で「挿入」-「オブジェクト枠」にて Microsoft のオブジェクトを貼り付けた場合、貼り付けた部分が PDF に変換されません。）
- OLE を正常に動作させるため、一太郎に最新のパッチをあてた状態で運用してください。
- 一太郎をご利用頂く際には、PDF オートコンバータ EX の拡張子設定画面にて、一太郎の拡張子を登録してください。

7.10.2　PDF オートコンバータ EX の一太郎対応状況につきまして

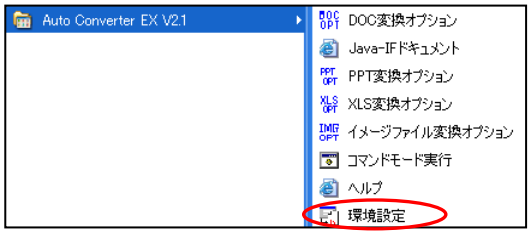
PDF オートコンバータと EX での一太郎ファイルの対応状況です。

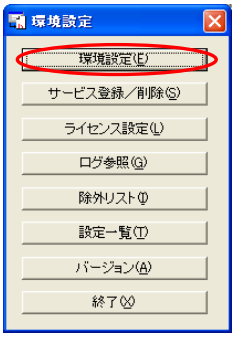
ファイルの状況	EX の状況	備考
普通のファイル	○	
一太郎だけのマルチシート	○	
Office ファイル等の別フォーマットが混ざったマルチシート	△	原則一太郎部分のみ変換。
パスワード付きファイル	×	NG となり次の処理へは進みます。
差込データのあるファイル	×	NG となり次の処理へは進みます。
アウトラインファイル	△	7.6.4 の設定をしないと NG となります。
一太郎外字を含むファイル	△	フォントの埋め込みをしない場合 ATOK と該当の外字入っている環境限定でのみ表示
一太郎のオブジェクトの中で「挿入」-「オブジェクト枠」にて Microsoft のオブジェクトを貼り付けた場合、貼り付けた部分が PDF に変換されません	△	左記の現象は、バックグラウンド変換のみです。 フォワード変換では正常に変換されます。回避方法としては、 1）フォワード変換に変更する。 2）貼り付け方を、「挿入」→「オブジェクト枠」以外にして保存する

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

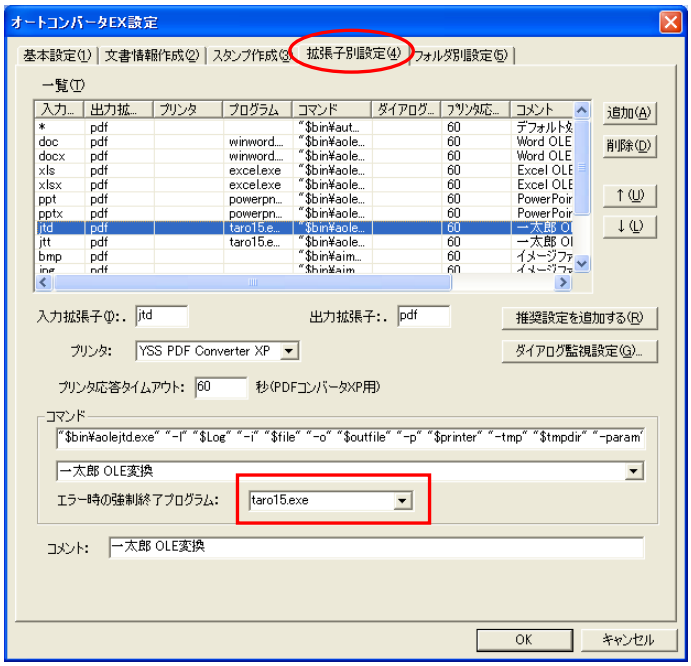
7.10.3　　拡張子別設定の調整

(1)スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX Vx.x.x→環境設定を選択してください。
環境設定画面が開きます。環境設定画面の「環境設定」ボタンをクリックしてください。





(2)オートコンバータ EX 設定画面が開きます。
画面上部にある拡張子別設定タブを選択してください。
拡張子別設定画面の一覧から「jtd」を選択してください。



(3) 上記画面の「エラー時の強制終了プログラム」を、一太郎を起動した際に起動される EXE 名に変更してください。
taroXX.exe の XX の数字の変更になると思います。

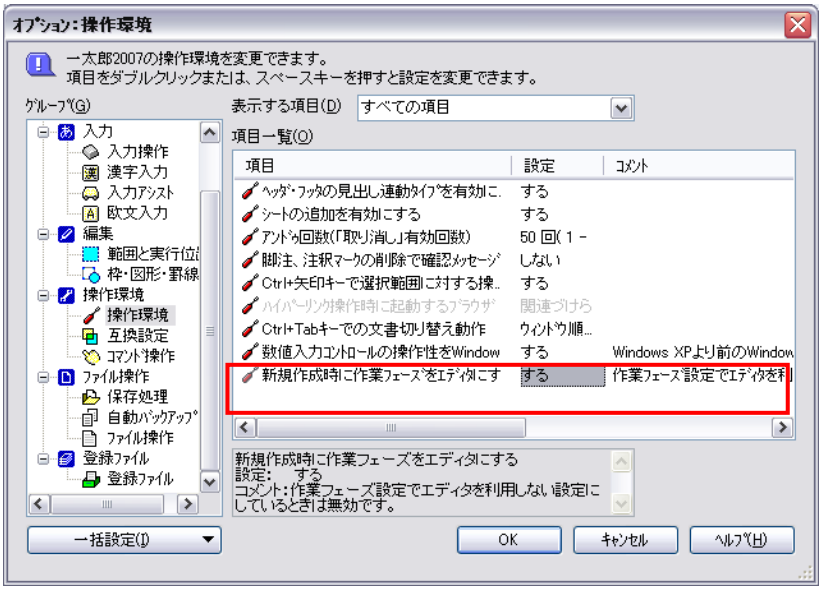
(4) 拡張子「jtt」に対しても、「エラー時の強制終了プログラム」の EXE 名を変更してください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

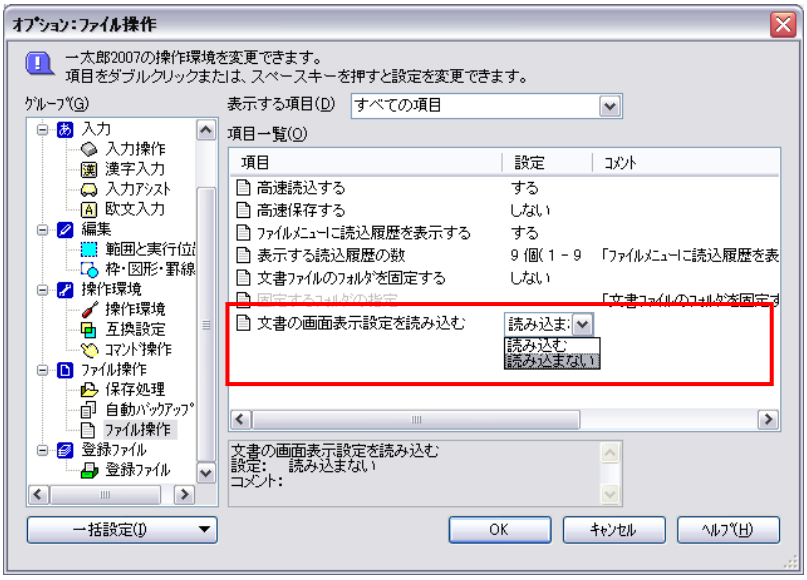
7.10.4　アウトラインファイルの変換の設定

一太郎にはアウトラインという状態のファイルが存在します。このファイルを変換するためには、以下の設定が必須です。
アウトラインファイルは以下の設定をしないと以下のエラーになります。

[611]:変換モジュールがエラーを返しました。
Warn(8):印刷するデータが無い為、シートをスキップしました。[SheetNo:1][提案確認画面では実行できません。]
[701]:変換対象のページがありませんでした。

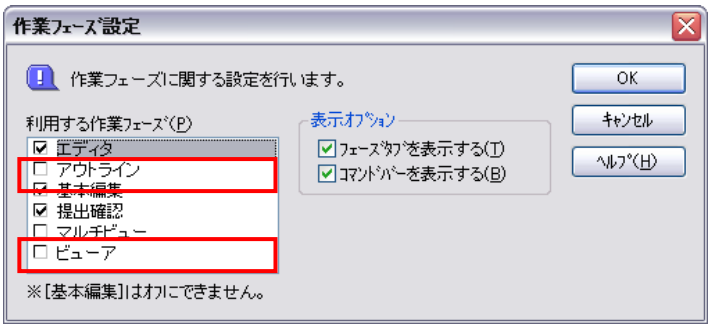


ツール→オプション→オプション→操作環境→操作環境において
「新規作成時に作業フェーズをエディタにする」を「する」に設定する。



ツール→オプション→オプション→ファイル操作→ファイル操作において
「文書の画面表示設定を読み込む」を「読み込まない」に設定する

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.



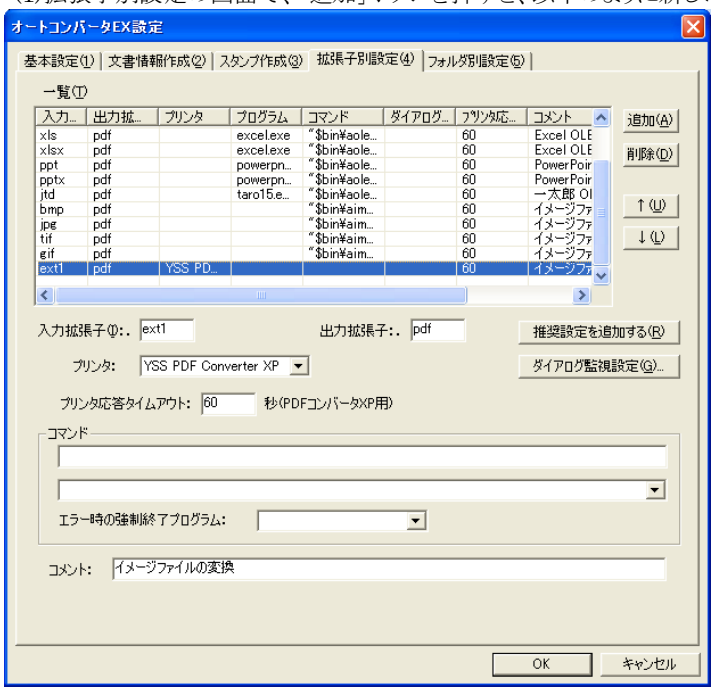
表示→作業フェーズ→作業フェーズ設定にて、
「アウトライン」と「ビューア」を未使用にする

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

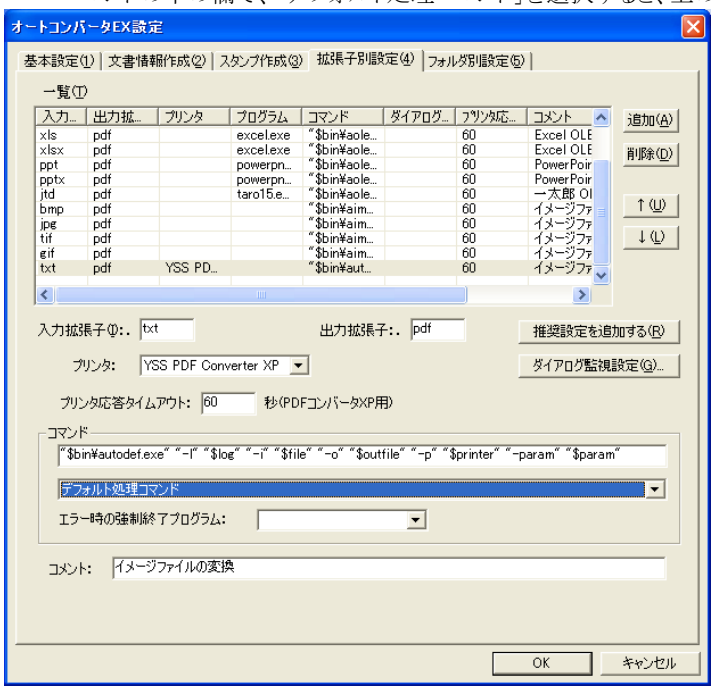
7.11　標準サポート以外のアプリケーションを変換する場合の設定

今回は Text ファイル（変換するアプリケーションは OS 標準のメモ帳）の場合で説明します。
実際には、変換するアプリごとに合わせた「拡張子」と「エラー時の強制終了プログラム」を設定をしてください。

(1)拡張子別設定の画面で、「追加」ボタンを押すと、以下のように新しい拡張子の入力ができるようになります。

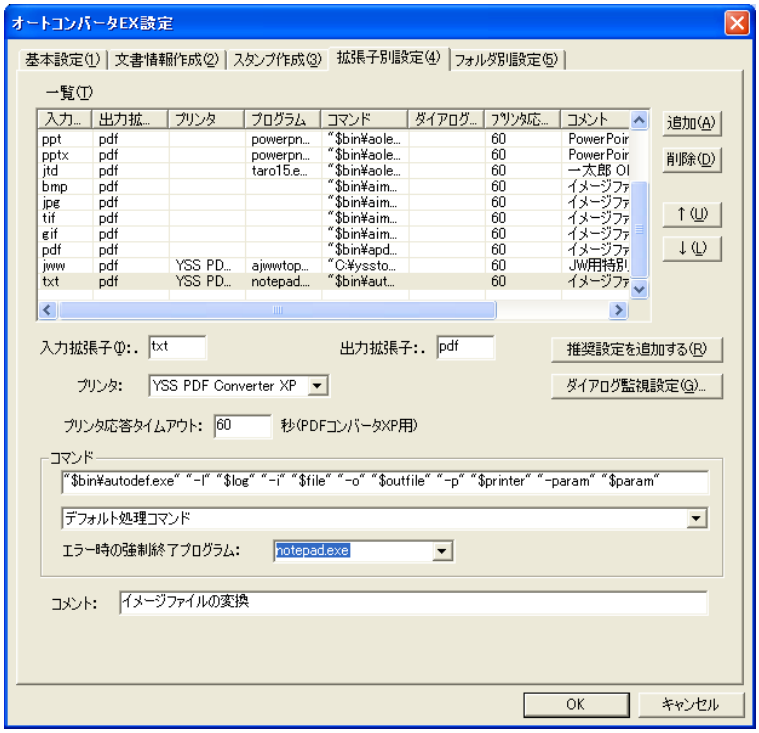


(2) 入力拡張子に「txt」を入れてください。(変換したいアプリケーションに合わせて設定してください)
　　コマンドの下の欄で、「デフォルト処理コマンド」を選択すると、上の欄にコマンドが自動で表示されます。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(3)拡張子「txt」に関連づけられたアプリケーションは、今回の場合は OS 標準の「メモ帳」である前提でお話しします。「メモ帳」を開くと「notepad.exe」が起動します。「エラー時の強制終了プログラム」として「notepad.exe」を設定してください。



コメント欄は変更してもしなくても大丈夫です。これで終了であれば、OK を押してください。
他の拡張子を続けて登録する場合は、追加ボタンを押してください。

テキストファイル 「txt」

DocuWorks「xdw」

その他拡張子別設定にないものは設定をお勧めします。

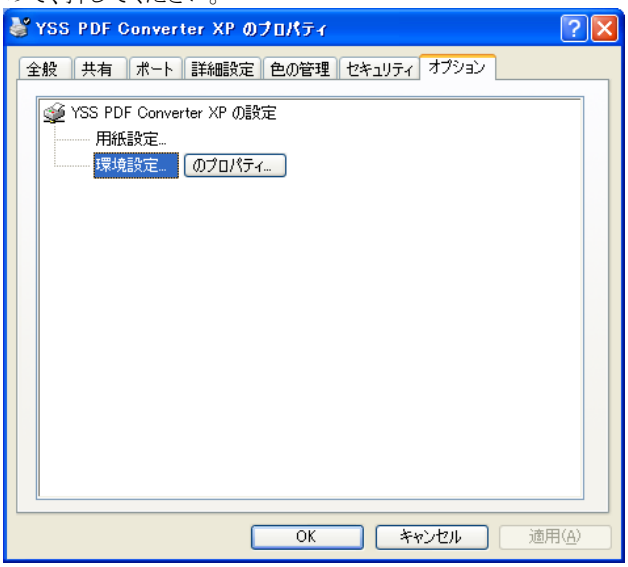
但し、すべてのアプリケーションが PDF 変換できる訳ではありません。ご注意ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

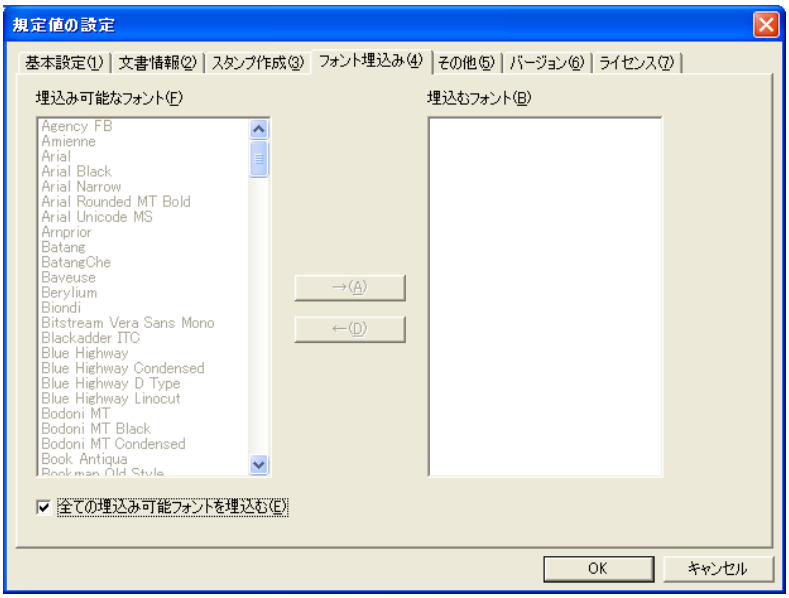
7.12　PDF ファイルのフォント埋め込み

PDF コンバータ側でフォントを埋め込む設定をすることになります。
プリンタと FAX の一覧で「YSS PDF Converter XP」を選択してプロパティを選択してください。

以下の画面のように、右端のオプションタブを選択して、「環境設定」を選択すると「のプロパティ」というボタンが出ますので、押してください。



規定値の設定の画面が出ます。「フォント埋込み(4)」のタブを選択して、左側の埋め込み対象のフォント群から対象フォントをクリックして右矢印「→」を押すと右側にフォント名が移動します。右側に表示されたフォントが埋め込み対象となります。左側のフォント一覧に表示されないフォントは埋め込みが許可されていないフォントとなります。
全部の埋め込み許可フォントを埋め込み処理する場合は、左下の「全ての埋込み可能フォントを埋込む」のチェックをしてください。すると以下のような画面になります。



OK を押してください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.13　PDF 変換した際に網掛け部分が荒く表示される場合の設定

7.13.1　　概要説明

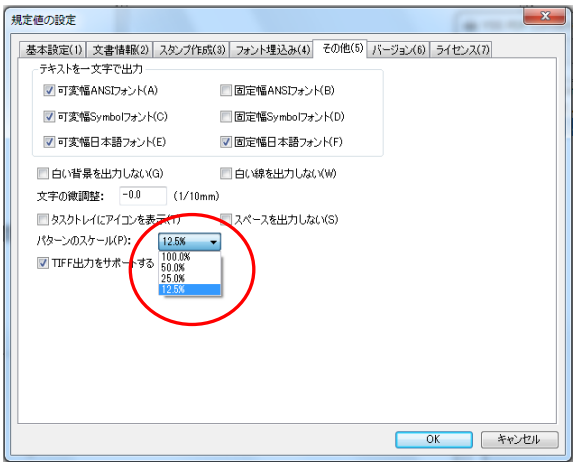
Office からの印刷描画情報が原因で、PDF 変換後に AdobeReader 等の PDF 表示ソフトで表示すると
一部の網掛け部分が乱れて表示され、Office で表示した時と見た目が一致しない現象が確認されております。
当社製品側にて、薄めの格子などの網掛け部分を PDF 変換する際に、荒さの設定が行える様対応致しております。
●重要●
大体の網掛けは Office で表示した際の見た目通りに PDF 変換されます。
一部の網掛けが荒くなる場合にのみ設定を行ってください。
帳票の比較等の要件で PDF の比較を行う場合、原本との見た目が異なりますので本設定はお勧めできません。

7.13.2　　設定方法

PDF コンバータ側でパターンのスケールを設定することになります。
プリンタと FAX の一覧で「YSS PDF Converter XP」を選択して印刷設定を選択してください。

以下の画面のように、オプションタブを選択して、「環境設定」を選択すると「のプロパティ」というボタンが出ますので、押してください。

規定値の設定の画面が出ます。「その他(5)」のタブを選択して、赤い丸で囲まれたパターンのスケール(P)から
下記の倍率を選択します。
：100.0%
：50.0%
：25.0%
：12.5%

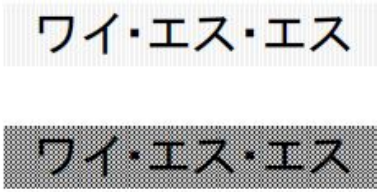


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

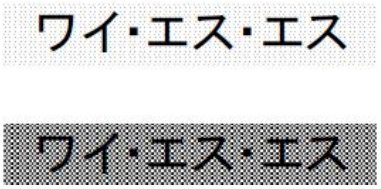
7.13.3　設定による見た目の違い

Office で表示した場合の見た目（Excel ファイルの網掛け）

12.5%で設定し PDF 変換した場合の見た目



25.0%で設定し PDF 変換した場合の見た目



50.0%で設定し PDF 変換した場合の見た目

100.0%で設定し PDF 変換した場合の見た目

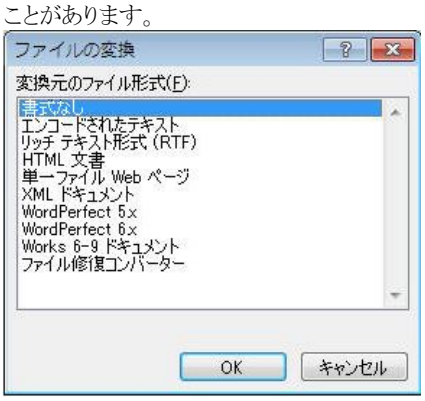
PDF コンバータのデフォルトの設定では 100.0%で設定（Office から渡される印刷描画情報をそのまま反映）致しております。倍率を設定する事により、網掛け部分の荒さを調整可能です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.14　DOC ファイル変換オプションの設定

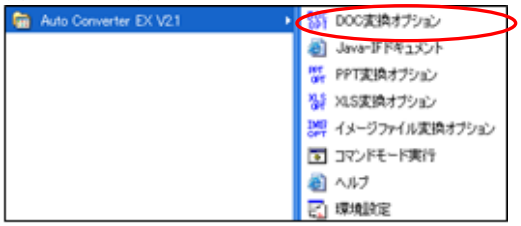
7.14.1　　ファイル変換形式ダイアログ

html ファイルや rtf ファイルなど、Word 形式以外のファイルを開こうとすると「ファイルの変換」ダイアログが表示されることがあります。



このダイアログを出したくない場合は下記の通り操作いたします。

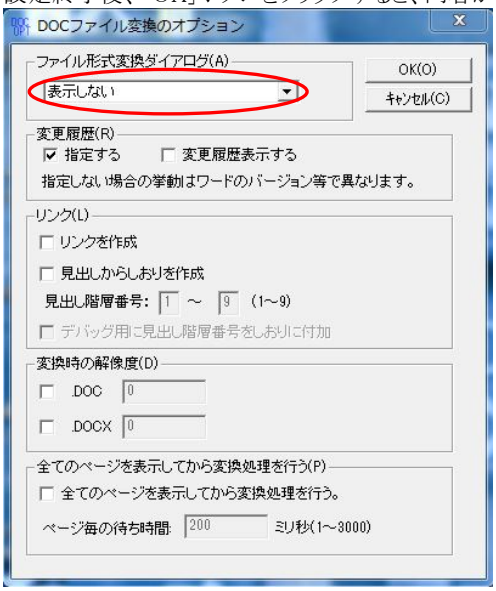
(1)スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX VX.X.X→DOC 変換オプションを選択してください。



(2)DOC 変換のオプション画面が開きます。

ファイル形式ダイアログから「表示しない」を選択してください。

設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。



「アプリケーションの設定を使用する」を選択すると Office の設定を反映します。Office の設定は下記の通り設定してください。

ファイル　→　オプション　→　詳細設定を選択してください。

[全般]タグの「文書を開く時にファイル形式の変換を確認する」のチェックをご確認ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

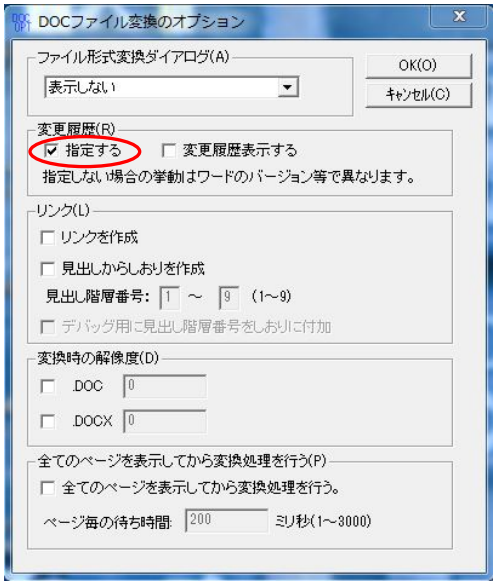
7.14.2　変更履歴

PDF に変換する際、Word の変更履歴を反映させ変換する機能です。

DOC ファイル変換オプションの「変更履歴」で設定が可能です。

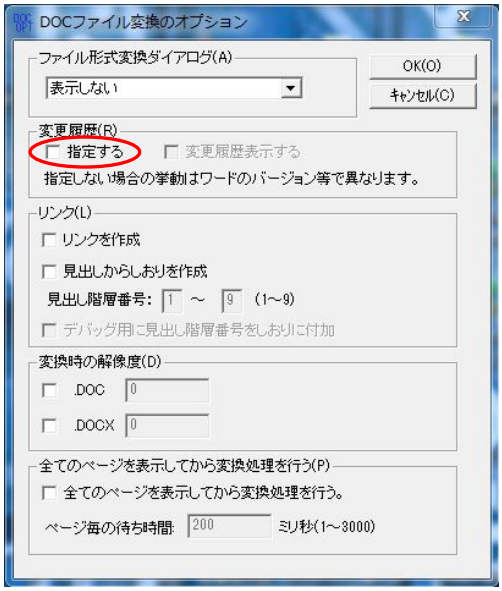
(1) 変更履歴を表示しない場合（デフォルト設定）

変更履歴 → 指定する チェックボックスにチェックを入れ OK ボタンを押下してください。



(2) 変更履歴を表示する場合

変更履歴 → 指定する チェックボックスのチェックを外して OK ボタンを押下してください。



7.14.3　Word しおり反映オプション（有償）

※本オプションの説明は「8.有償オプションの設定」にてご説明しておりますのでそちらをご確認ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.14.4　変換時の解像度

7.14.4.1　画像が挿入された「.docx」が PDF 変換後にファイルサイズが大きくなる場合の設定

Office から渡される印刷描画情報が原因で、PDF 変換後に画像が挿入された「.docx」のファイルサイズが大きくなるという現象が確認されております。

当社製品側にて、画像部分の解像度の設定を行い、ファイルサイズの増加を抑えられる様対応致しております。

●重要●

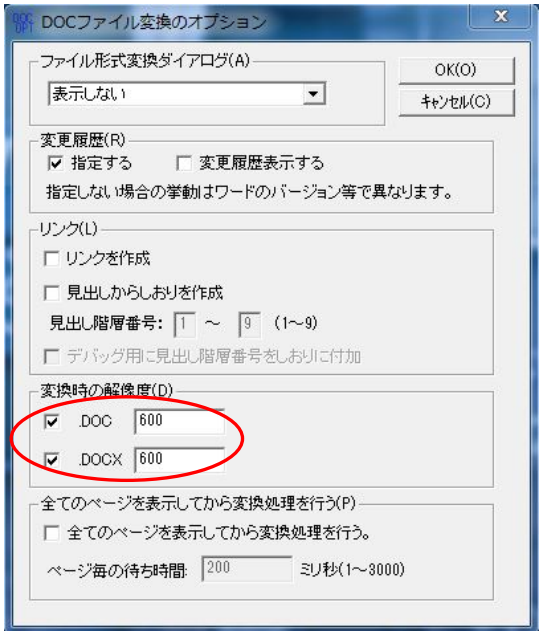
当社プリンタドライバのデフォルトの解像度は 1200dpi で設定されております。

単純に「.docx」のファイルを「.doc」に保存しなおさないでください。「.docx」のファイルを「.doc」に保存しなおしても「.docx」の属性が消えないという Office の仕様になっておりますので、「.docx」のファイルで最初に作成して「.doc」に保存しなおさない様にお願いします。

画像が挿入された「.docx」ファイルが PDF 変換後にファイルサイズが大きくなる場合にのみ設定を行ってください。

7.14.4.2　設定方法

[変換時の解像度]　.DOC .DOCX　チェックボックスにチェックを入れ変換時の解像度を「600dpi」に設定してください。



※これ以上解像度を下げて PDF 変換することは、PDF を PC の画面で表示することには適応しておりますが、
紙に印刷するときに許容できる印刷出力が得られない可能性があります。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.14.5　全てのページを表示してから変換処理を行う

7.14.5.1　概要説明

極稀に Word の余白設定等が影響し、複数ページの「.doc」ファイルの変換時に最終ページのみ全体がページ外にずれるという現象が確認されております。

当社製品側で PDF 変換時にページ全体を枠外にずれない様に表示してから PDF 変換を行う様対応しております。

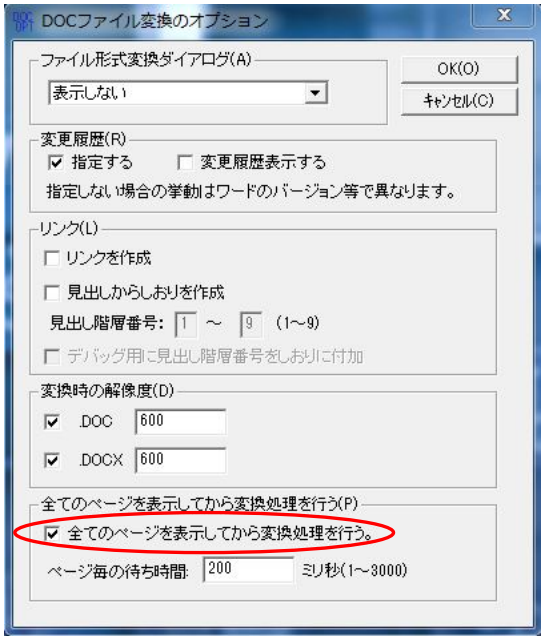
●重要●

本設定は特殊な環境により発生する現象に対応する為の設定です、その為基本的に変更しないことが前提です。

7.14.5.2　設定方法

[全てのページを表示してから変換処理を行う] チェックボックスにチェックを入れてください。

ページ毎の待ち時間はデフォルト[200]のままにしてください。

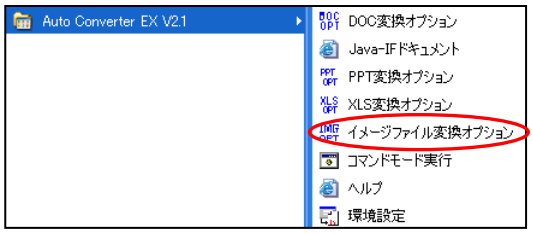


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

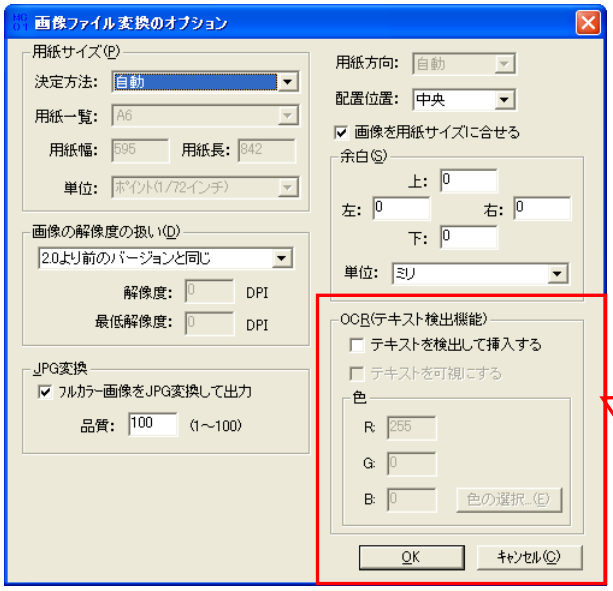
7.15　イメージ変換オプションの設定

7.15.1　　使用方法

(1)スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX VX.X.X→イメージ変換オプションを選択してください。



(2)画像ファイル変換のオプション画面が開きます。
　設定終了後、「OK」ボタンをクリックすると、内容が登録され画面は閉じられます。



OCR オプションにつきまして、現在使用不可になっております。
現在、別製品にてご提供しておりますので、詳細は営業（eigyo@iothe.co.jp）までお問合せください。

次のページで各項目の説明の一覧表があります。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

項目	説明
用紙サイズ(決定方法) 自動: 用紙一覧から選択: 用紙サイズを指定: 画像サイズから決定:	用紙サイズの決定方法を選択します。 画像の大きさや解像度から、収まる大きさの用紙を自動的に選択し変換します。 下の用紙一覧から用紙を選択します。イメージはこの大きさの用紙サイズに変換されます。 下の用紙幅、用紙長に用紙のサイズ、及び単位を入力して用紙を指定します。イメージはこの大きさの用紙サイズに変換されます。 画像の大きさや解像度に合わせて、用紙サイズを決定します。
画像の解像度の扱い 2.0 より前のバージョンと同じ: 以下の DPI で処理する: 画像ファイルの解像度を 使用する:	用紙サイズを決定する為に使用する解像度値の扱いを選択・指定します。 TIFF の場合のみファイル解像度が使用されます。 画像ファイルの解像度に依存せずに、『解像度』の項に入力された解像度を使用します。 <注意>変換マシンのメモリ性能にて高解像度に設定しても変換できない可能性があります。 画像ファイル内の解像度を使用して用紙サイズを決定します。画像ファイルから取得できない場合は『取得できない場合』の項に入力された解像度を使用します。また、画像ファイル内の解像度が『最低解像度』より低い解像度の場合は『最低解像度』の項に入力された解像度を使用して用紙サイズを決定します。
JPG 変換 フルカラー画像を JPG 変換して出力: 品質:	BMP 等で、形式がフルカラー画像の物を JPG に変換して出力します。 フルカラー画像を JPG 変換して出力する場合、チェックします。 カラー画像の品質 1(低画質)～100(高画質)の値を指定できます。 これによりファイルサイズを減少できる場合があります。
用紙方向　自動: 縦: 横:	画像の大きさ(縦横のバランス)に合わせて決定されます。 常に縦に変換されます。 常に横に変換されます。
配置位置	用紙中の配置する位置を指定します。
画像を用紙サイズに合わせる	チェックすると画像は用紙サイズの大きさに拡大、縮小されます。
余白	上下左右の余白量を単位と合わせて指定します。
「OK」ボタン	表示されている内容を設定ファイルに保存して、終了します。
「キャンセル」ボタン	設定ファイルに保存せずに、終了します。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

7.16　Excel の総ページ数の設定につきまして

PDF オートコンバータ EX は Excel の変換安定性を向上させる処理を加えております。その影響のため、Excel ファイルの総ページ数の機能が動作しないようになっています。

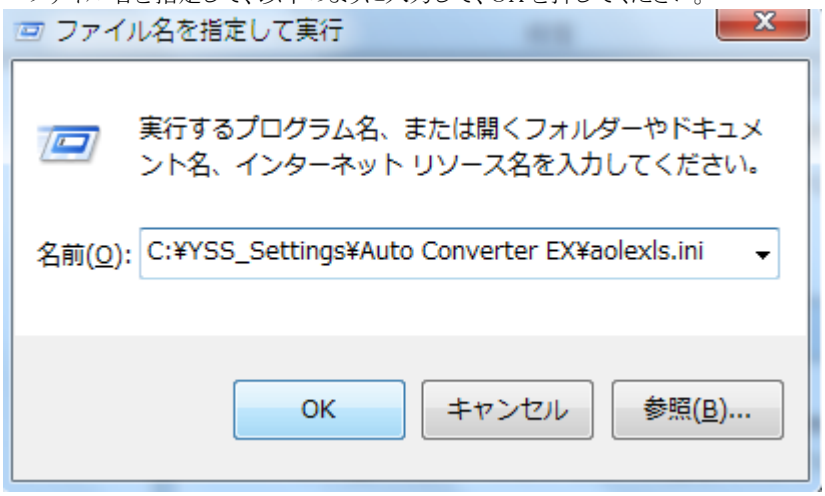
この問題を解決することは可能ですが、総ページ数のある Excel ファイルの PDF 変換にかかる時間が 2 倍になってしまいます。このため、この機能はニーズのあるお客様だけ設定をする機能になっております。
総ページ数を使う、あるいは、ユーザから総ページ数対応を依頼された場合には、以下の設定をお願いします。

7.16.1　　設定方法

C:¥YSS_Settings¥Auto Converter EX¥aolexls.ini　　を以下の手順で変更してください。

注意 1　YSS_Settings フォルダは見えないフォルダになっています。
　エクスプローラでは見つからないので、「ファイル名を指定して実行」で上記のファイル名を指定してください。

　ファイル名を指定して、以下のように入力して、OK を押してください。



テキストツール（ノートパッド等）で以下が表示されます。以下の指示通り 1 か所だけ変更ください。

V=300	ここは変更不要。数字はインストールしたバージョンによって異なります。
dpiop=1	ここは変更不要（値が 1 で無くても問題ありません）
dpi=600	ここは変更不要（値が 600 で無くても問題ありません）
allpage=1	ここを変更してください。（0＝通常処理　→　1＝今回の特別対応）
cnvinvisible=0	ここは変更不要（値が 0 で無くても問題ありません）
cleandata=0	ここは変更不要（値が 0 で無くても問題ありません）
ignorepserr=0	ここは変更不要（値が 0 で無くても問題ありません）

テキストツールによって見え方は変わりますのでご注意ください。

注意 2　YSS_Settings フォルダはシステムドライブ（OS がインストールされているドライブ）に作成されます。
C ドライブ以外に OS をインストールする場合、それに合わせてドライブの指定を変更ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

8 有償オプションの設定

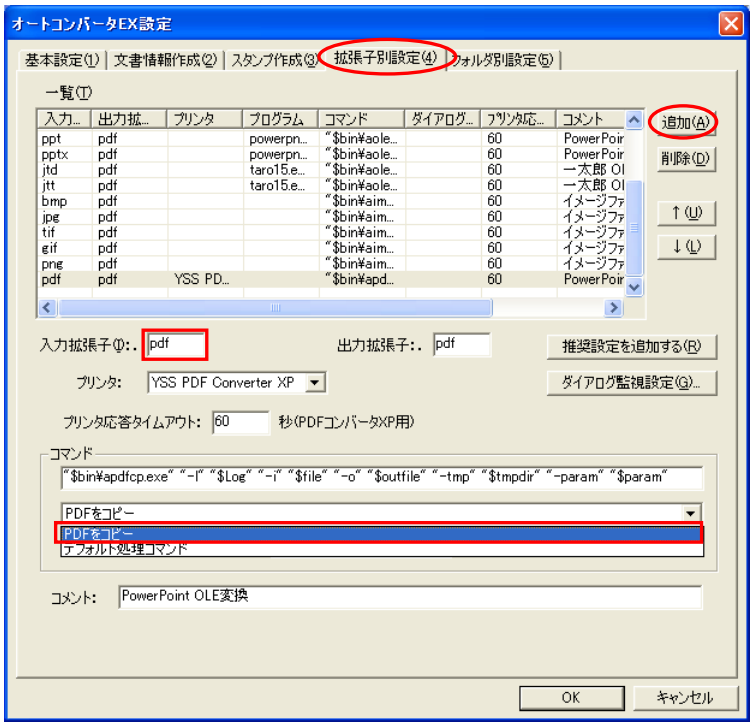
8.1　セキュリティ変更/ファイルチェックオプション（別途有償）

PDF オートコンバータ EX に PDF ファイルをインプットすることができるようにするオプションがあります。
この機能を使用することにより、以下の機能を実現できます。
①PDF ファイルのセキュリティを変更できます。（RC40/128 対応）
②PDF ファイルが PDF オートコンバータ EX に投げ込まれた場合、そのままスルーできます。
③YSS の他の PDF 加工製品（PDF メイクアップ）が処理できる PDF ファイルかチェックができます。

但し、上記オプションは有償ですので、価格は営業（eigyo@iothe.co.jp）までお問合せください。
操作方法は以下の通りです。

8.1.1　共通設定1

スタート→プログラム→Auto Converter EX VX.X.X→環境設定
環境設定ボタンを押して、拡張子別設定タブを選択
①「入力拡張子」に「PDF」を入力して追加ボタンを押す。
②「入力拡張子」に「PDF」が選択されていることを確認したうえで、コマンドラインの下のコンボボックスから
以下のように、「PDF をコピー」を選択

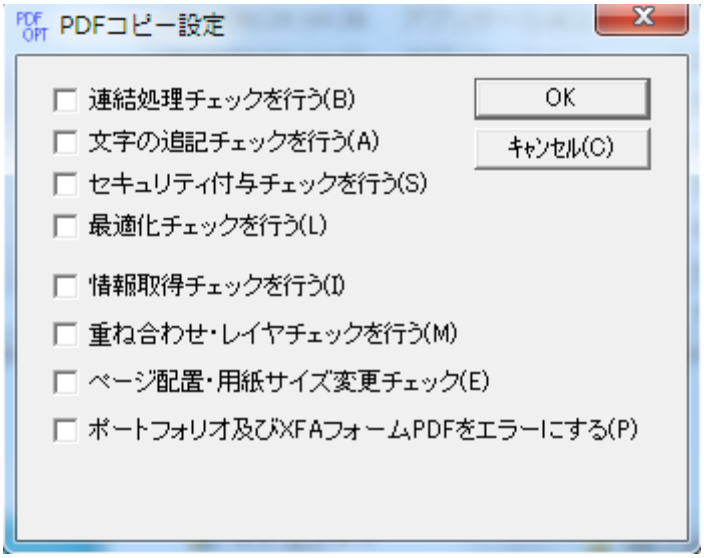


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

8.1.2　　共通設定 2

以下の EXE を起動してください。
[PDF オートコンバータ EX のインストールフォルダ]¥bin¥apdfcps.exe

apdfcps.exe を起動すると以下の画面が表示されます。



共通設定 「連結処理のチェックを行う(B)」をチェックしてください。

事前チェックを行いたいお客様は、事前チェックをしたい機能だけチェックしてください。すべてをチェックしてしまうと、相応に時間がかかりますので、不要なものはチェックしないでください。

8.1.3　　PDF のセキュリティ変更の場合

PDF ファイルのセキュリティ変更をしたい場合、以下の操作をお願いします。

ファイル名を指定して実行で、
C:¥yss_settings¥Auto Converter EX¥apdfcp.ini
を以下のように指定してください。

※ C:¥yss_settings¥Auto Converter EX¥ のフォルダは保護されたオペレーティングシステムフォルダ（見えないフォルダ）になっています。このため、通常エクスプローラなどからは探しても見つからず、指定できません。

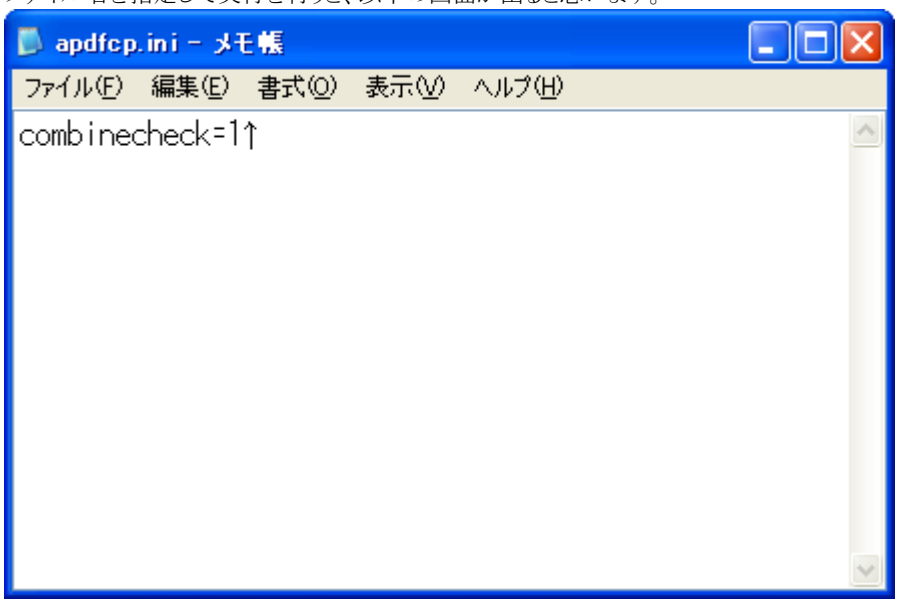
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

※ yss_settings というフォルダは PDF オートコンバータ EX を稼動させる WindowsOS をインストールしたドライブ(ボリューム)に作成されます。必ずしも C ドライブにフォルダがあるとは限りませんので、ご注意ください。

※ ファイルが見つからないというエラーが出る場合、EXE を起動して「OK」を押す処理がもれているか、入力が間違っているか、OS のインストールが別のドライブである可能性が高いです。

8.1.4　apdfcp.ini の内容の変更

ファイル名を指定して実行を行うと、以下の画面が出ると思います。



※ このファイルは UNIX 改行コードです。編集時はメモ帳以外(UNIX 改行をサポート)で行ったほうが便利ですが、但し、メモ帳で作成・保存しても正しく動作します。今回は分かり易く説明するため、メモ帳で説明します。

以下の設定を行って頂きます。

combinecheck=1

foldersetting=1

設定できる項目は以下の通りです。基本的に上記を設定ください。

combinecheck ..... 模擬的に連結処理を行い PDF をチェックできます。

0： 何もしない

1： 連結チェックを行う。(デフォルト)

foldersetting ..... フォルダの設定を出力ファイルに反映します。

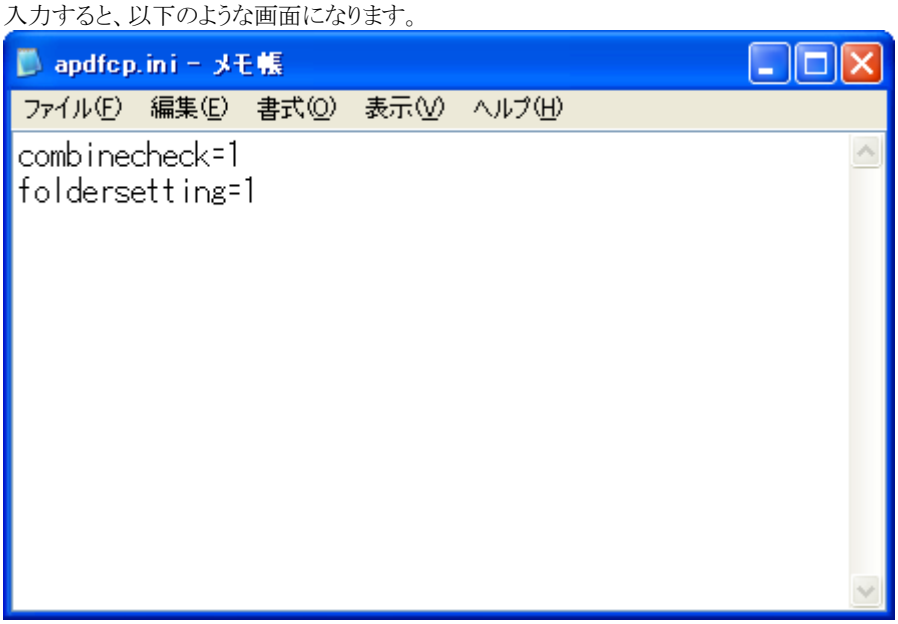
(セキュリティ、文書情報、スタンプ、最適化)

0： 反映しない(デフォルト)

1： 反映する。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

入力すると、以下のような画面になります。



上記の状態でファイルを上書き保存してください。

※ファイルチェックオプションにつきましては、購入後のトラブルを避けるために、設定条件やパフォーマンスに対する影響等を当社営業よりご説明させて頂いてから購入頂くことをお願いいたしております。
当社に問い合わせのないお客様には販売できませんのでご注意ください。

8.1.5　コマンド/Java/C での PDF セキュリティ変更

Excel や Word を PDF 変換するのと同様に、入力ファイルに PDF ファイルを指定して、出力ファイルを PDF と設定＋プログラム内でセキュリティ設定を指定することにより、PDF ファイルにセキュリティを付けることができるようになります。

通常の PDF 変換の場合

.doc/.xls → .pdf

であるのが、

セキュリティオプションの場合

.pdf → .pdf(セキュリティ付)

となるということです。

① JavaAPI からの変換　→　HTML マニュアルをご確認ください。
② C の DLL からの変換　→　HTML マニュアルをご確認ください。
③ マンドを呼び出して変換　→　HTML マニュアルをご確認ください。

詳細な設定につきましては、スタートメニュー→Auto Converter EX Vx.x.x のヘルプを開きご確認ください。
PDF セキュリティオプションの特別な記載はありませんが、入力ファイルを PDF に読みかえれば稼動するようになっています。

8.1.6　フォルダ監視での PDF セキュリティ変更

Excel や Word を PDF 変換する際のフォルダ設定がそのまま PDF ファイルにも適応されるようになります。
フォルダ監視設定でセキュリティ設定をフォルダにすれば、それ以外に特に設定は不要です。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

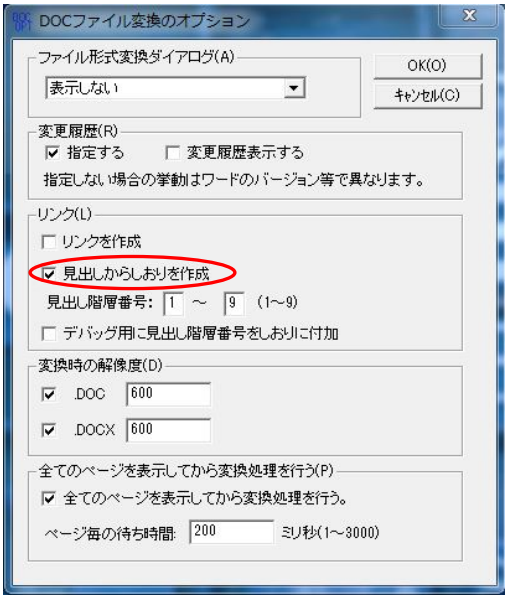
8.2　Word しおり反映オプション（別途有償）

PDF オートコンバータ EX に Word のしおりを PDF に反映することができるオプションがあります。
●重要●
このオプションは、Microsoft Office Word のみに適用されます

この機能を使用することにより、以下の機能を実現できます。
・PDF に変換する際に Word で設定されたしおりが維持されます。

但し、上記オプションは有償ですので、詳細は営業（eigyo@iothe.co.jp）までお問合せください。
操作方法は以下の通りです。

スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX VX.X.X→DOC 変換オプションを選択してください。
リンク→見出しからしおりを作成　チェックボックスにチェックを入れて OK ボタンを押下してください。
ドキュメントの構成に合わせて見出しの階層番号を設定してください。



※リンク機能は現在使用不可となっております。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

9 どのように PDF を作成するのか

9.1　重要　PDF 作成方法によって各マニュアルを参照ください。

PDF オートコンバータ EX は 6 種類の変換方法があります。
以下の分類に応じて、必要なマニュアルを確認ください。

① JavaAPI からの変換　→　HTML マニュアルをご確認ください。
② C の DLL からの変換　→　HTML マニュアルをご確認ください。
③ コマンドを呼び出して変換　→　HTML マニュアルをご確認ください。
④ サービス監視の IN→OUT 自動変換　→　本マニュアルをご確認ください。
⑤ バッチサービス IN→OUT 自動変換　→　HTML マニュアル及び本マニュアルをご確認ください。
⑥ 特定の OEM 製品で動作　→　以降の対応は不要です。OEM 製品マニュアルを参照。

HTML マニュアルは PDF オートコンバータ EX をインストールして、プログラム一覧→YSS PDFAutoConverterEX →ヘルプを選択すると参照できます。

9.1.1　JavaAPI からの変換と C の DLL からの変換を使う場合

9.1.1.1　注意事項 1

以下の表に従い、環境変数を設定して下さい。

PATH	PDF オートコンバータ EX をインストールしたディレクトリ直下の bin フォルダを追加
CLASSPATH	PDF オートコンバータ EX をインストールしたディレクトリ直下の java フォルダを追加

環境変数は、システム環境変数（SYSTEM ユーザ権限の環境変数）に追加設定して下さい。ユーザ環境変数（特定のログインユーザ権限の環境変数）に対して設定しても設定が有効にならない場合があります。
環境変数の設定は、Windows の環境変数設定画面で行います。[システムのプロパティ]ダイアログを開いて、設定をして下さい。

9.1.1.2　注意事項 2

①JavaAPI からの変換と②C の DLL からの変換を使う場合で、かつ、当社 PDF メイクアップも同時に使用する場合は、以下の 2 点にご注意ください。

(1)Java や C から呼び出す場合、HTML マニュアルに従って PATH を設定してください。その際に PDF メイクアップも同一マシンで動作させる場合、必ず PDF メイクアップ→PDF オートコンバータ EX の順番で PATH を設定してください。
【設定例】
C:¥Program Files¥YSS¥PDF Makeup V2.1¥bin;C:¥Program Files¥YSS¥YSS Auto Converter EX V2.0¥bin;
（上記のインストール先はデフォルトの設定の場合の例です。インストール先を別途設定された場合は、その設定先を必ず指定ください。
(2)PDF オートコンバータ EXVer2.X を使用する場合、PDF メイクアップのバージョンも Ver2.X 以上でお願いします。

注 意

コマンド/Java/C での変換の方は次ページ以降のサービス変換の項目を設定する必要はありません。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

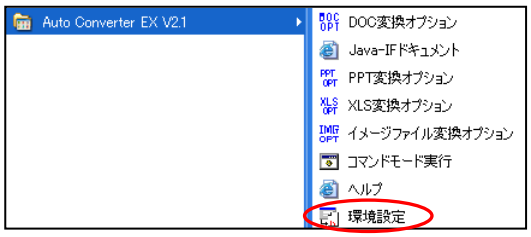
9.2　サービス変換

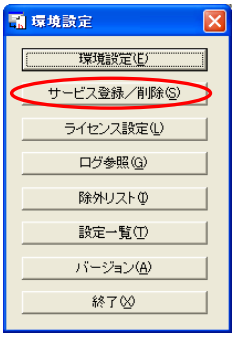
サービス登録を行うことにより、in に入ったファイルが自動で out に変換出力されるようになります。
この機能は in フォルダ･out フォルダ変換で常時変換をされる場合、設定してください。
コマンドモード変換、コマンド / Java / C で変換を行われる場合は設定不要です。

※Windows Server 2008 以降につきましては、セキュリティの強化の関係上、フォルダ間のファイルの移動が制限される場合があります。詳しくは 9.2.2 注意事項をご参照願います。

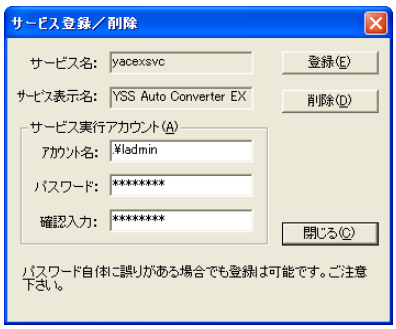
9.2.1　サービスの登録

(1)スタート→すべてのプログラム→Auto Converter EX VX.X.X→環境設定を選択してください。
環境設定画面が開きます。環境設定画面が開いたら、「サービス登録/削除」をクリックしてください。



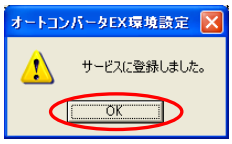


(2)この画面が表示されますので、このマシン自体にアドミニストレータ権限のある「アカウント名」、「パスワード」を入力して、登録をクリックしてください。

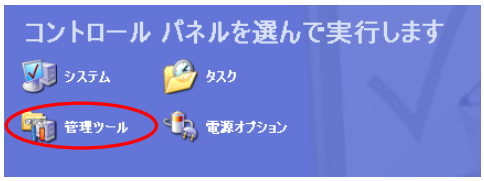


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(3)この画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

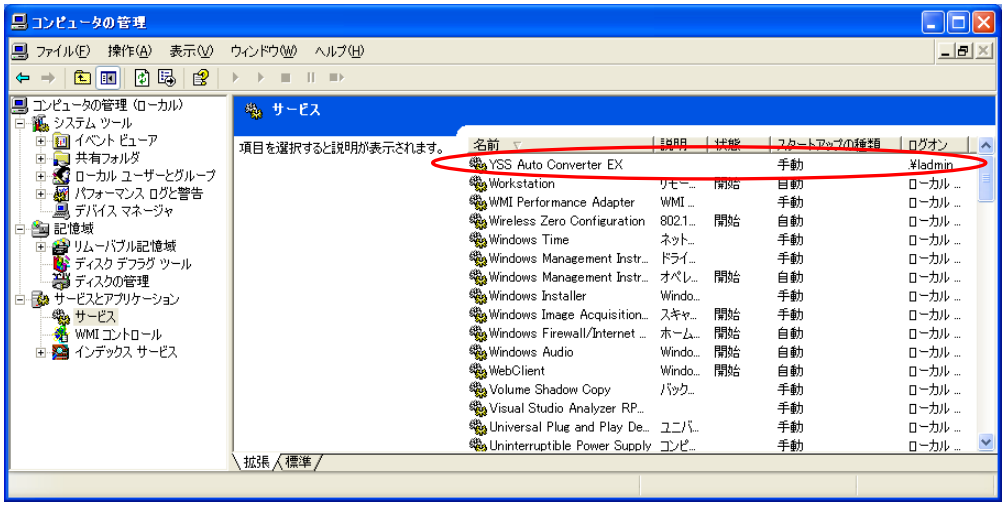


(4)次にコントロールパネルのパフォーマンスとメンテナンスから、「管理ツール」をダブルクリックしてください。



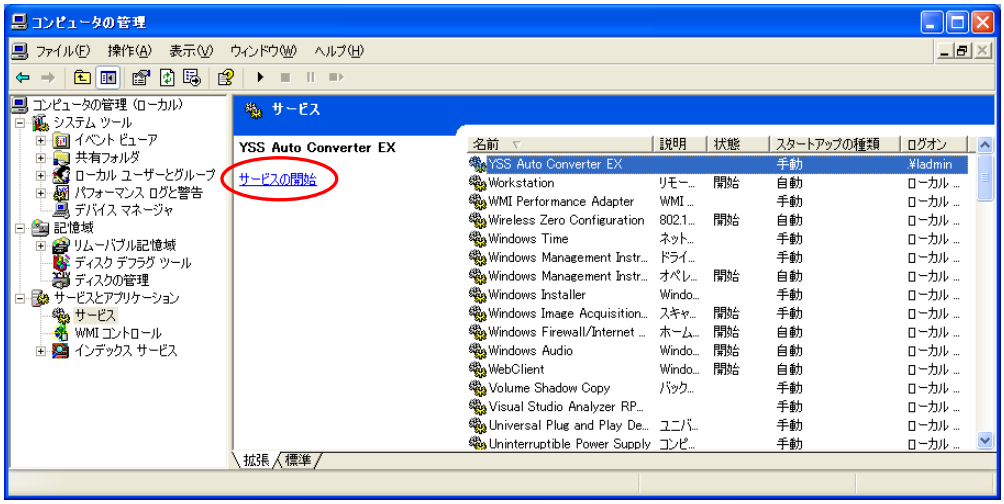
(5)管理ツールから、「サービス」をダブルクリックしてください。

(6)(2)でのサービス登録が成功していれば、「YSS Auto Converter EX」というサービスが登録されています。



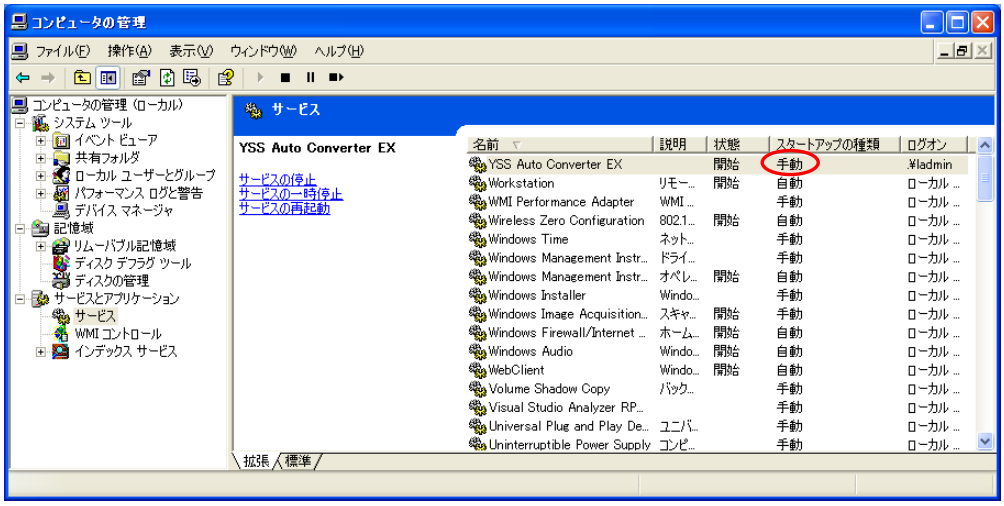
Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(7)「YSS Auto Converter EX」を選択すると表示される「サービスの開始」をダブルクリックしてください。

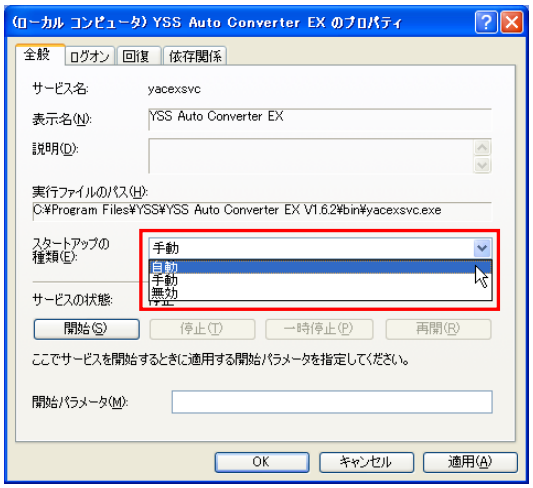


(8)サービスが開始されると、この画面が表示されます。

サーバを再起動しても常時 PDF 変換を行う際には、スタートアップの種類を「自動」に変更する必要があります。

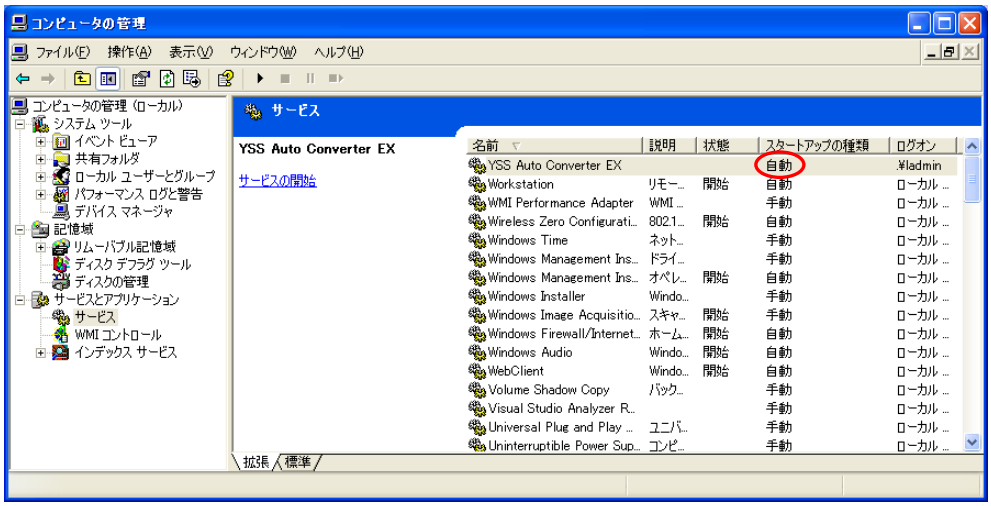


(9)サービスの「YSS Auto Converter EX」の欄をダブルクリックして表示されるプロパティのスタートアップの種類を「手動」から「自動」に選択を変更してください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(10)手動から自動へ選択を変更するとこの画面のようになります。



(11)最後に動作確認をいたします。

「in」フォルダに Office 等のファイルを入れて、PDF 変換ができるかどうかご確認ください。

詳細な設定につきましては、スタートメニュー→Auto Converter EX VX.X.X のヘルプを開きご確認ください。

9.2.2　　注意事項

サービスの登録後、環境設定で変更を行うと、以下のようなダイアログが表示されます。

サービスを停止して、サービスを再起動してください。

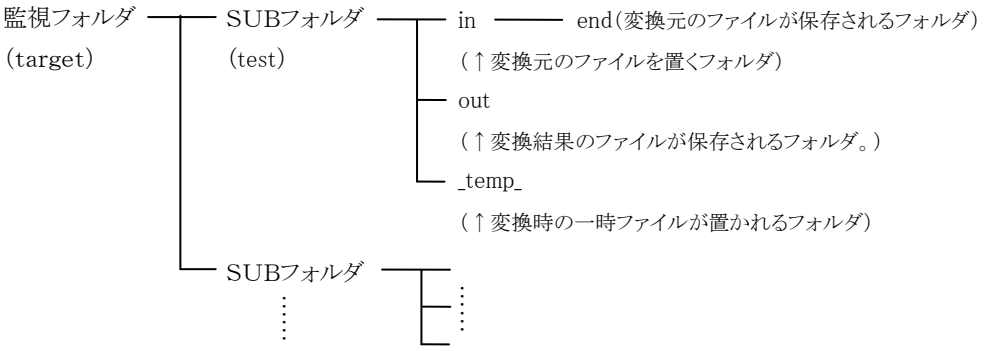
※DOC 変換オプションなどのオプション機能の設定の変更では上記のダイアログは表示されません。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

9.3　フォルダについて

サービスを利用した自動変換は環境設定で指定した監視フォルダの2階層下にある in フォルダの中にあるファイルを自動で変換します。

9.3.1　　フォルダの構成（デフォルト環境の場合）



- 監視フォルダについて
  監視フォルダは環境設定でフォルダの指定を変更することができます。
  詳細な設定につきましては、スタートメニュー→Auto Converter EX VX.X.X のヘルプを開きご確認ください。

- SUB フォルダについて
  in、end、out フォルダを格納します。フォルダ名は自由に設定できます。

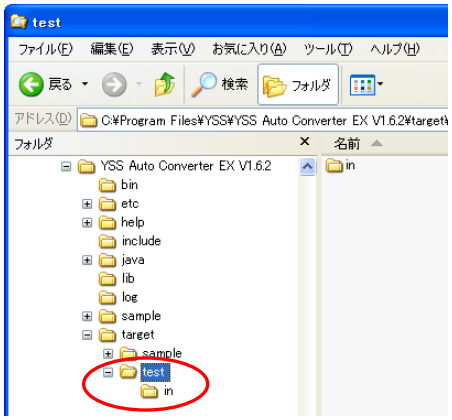
- end フォルダについて
  in フォルダから end フォルダに移動された変換元ファイルは正常に変換された場合は「OK」、変換できなかった場合は「NG / ERR」が変換ファイル名に付加されたファイル名で出力されます。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

9.3.2　　フォルダの作成

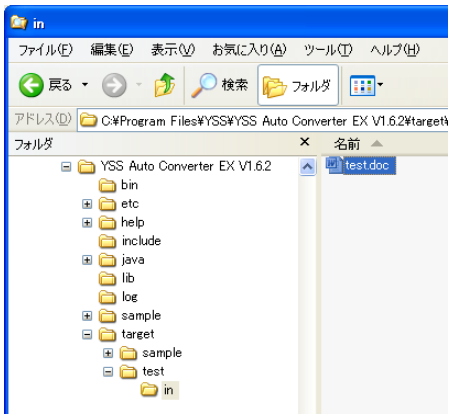
ここではインストール時に用意されている target（監視フォルダ）の下に「test¥in」を作成した例で説明します。
変換するファイルは「text.doc」とします。

(1)target フォルダの下に任意の SUB フォルダを作成し、その作成した SUB フォルダの中に in フォルダを作成してください。（target フォルダの直下に in フォルダを作成しても自動で変換されません。必ず SUB フォルダの中に in フォルダを作成してください。）



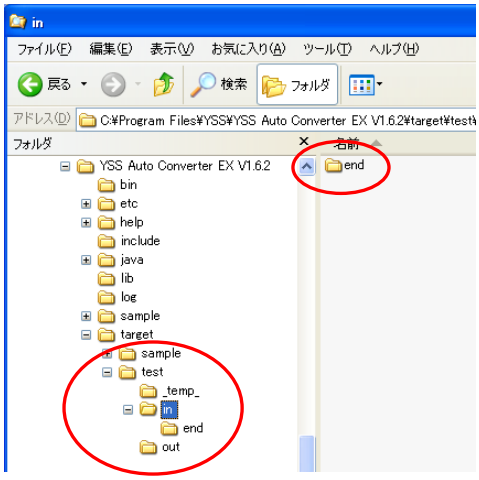
(2)in フォルダに text.doc を置いてください。
ファイルが自動で変換され、test フォルダの下に変換結果が保存される out フォルダ、一時フォルダの_temp_フォルダが自動的に作成されます。また、in フォルダの下に end フォルダが作成され、変換元のファイルが移動されます。

test¥in に text.doc を置いた状態



→

自動変換され、ぞれぞれのフォルダが作成された状態



- 自動で作成されるファイルは SUB フォルダの下にない時だけ作成されます。
  それぞれのフォルダが既存の場合には、そのまま該当するフォルダに結果や変換元のファイルが保存されていきます。
- 変換元のファイルを保存しない「入力ファイル削除」の設定でも end フォルダは作成されます。
  詳細な設定につきましては、スタートメニュー→Auto Converter EX VX.X.X のヘルプを開きご確認ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

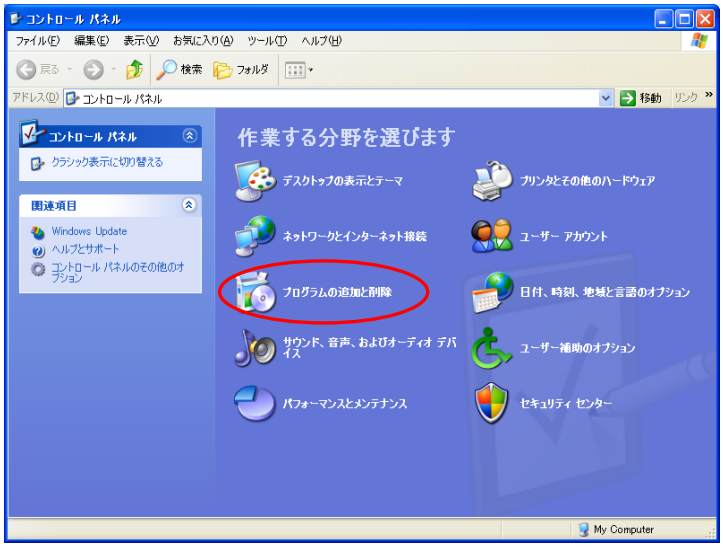
10　アンインストールの方法

PDF オートコンバータ EX のバージョンアップ等の際には、先ずアンインストールが必要となります。
下記の手順に従って PDF オートコンバータ EX をアンインストールしてください。

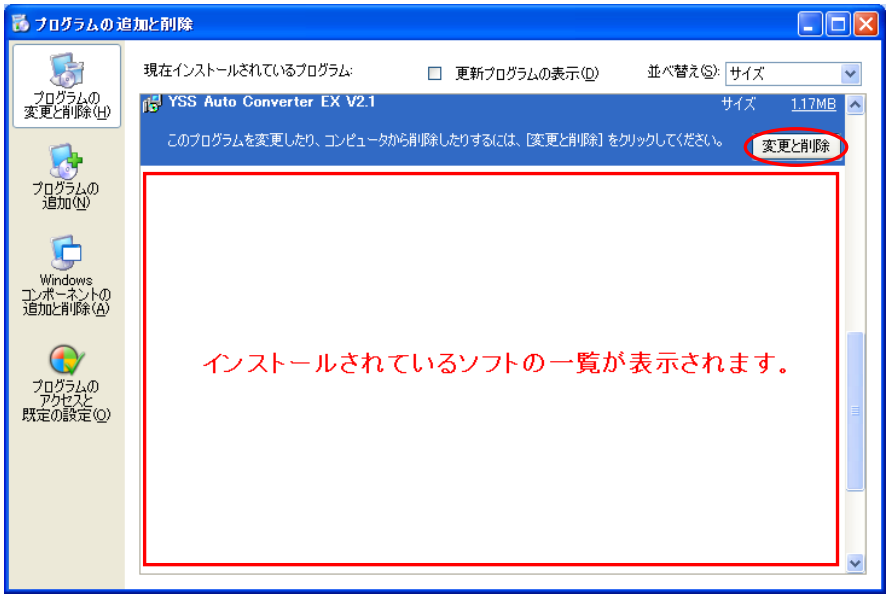
10.1　アンインストールの方法

(1)アドミニストレータ権限のあるアカウントでログインします。
（ログインできない場合は、システム管理者に確認してください。）

(2)コントロールパネルを開き、プログラムの追加と削除アイコンを右クリックします。

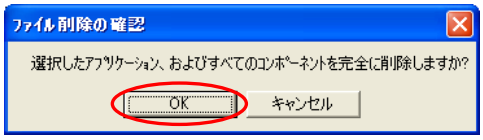


(3)プログラムの追加と削除画面が開きます。
現在インストールされているプログラムから YSS Auto Converter EX VX.X.X を選択し、変更と削除ボタンをクリックします。

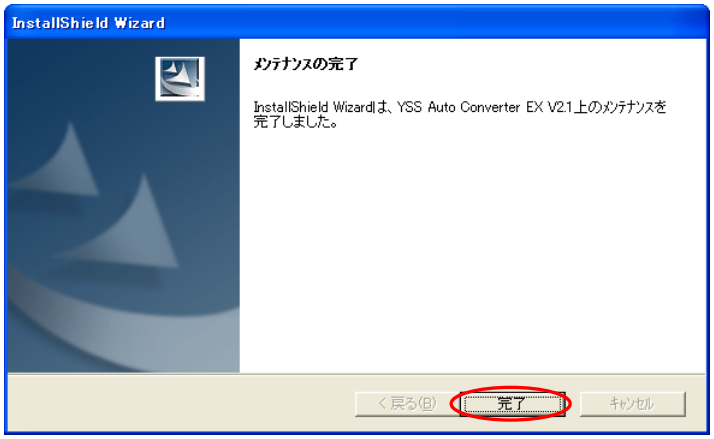


Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

(4)ファイル削除の確認ダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックすると削除が実行されます。



(5)削除が完了すると、この画面が表示されます。
「完了」ボタンをクリックすると画面は閉じられます。



以上で、アンインストールは完了です。

※PDF コンバータのアンインストールは PDF コンバータのマニュアルをご確認ください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

11　困ったときは

11.1　動作時

11.1.1　　サービスを使ってPDFオートコンバータ EX が動かない時（IN→OUT 変換の場合）

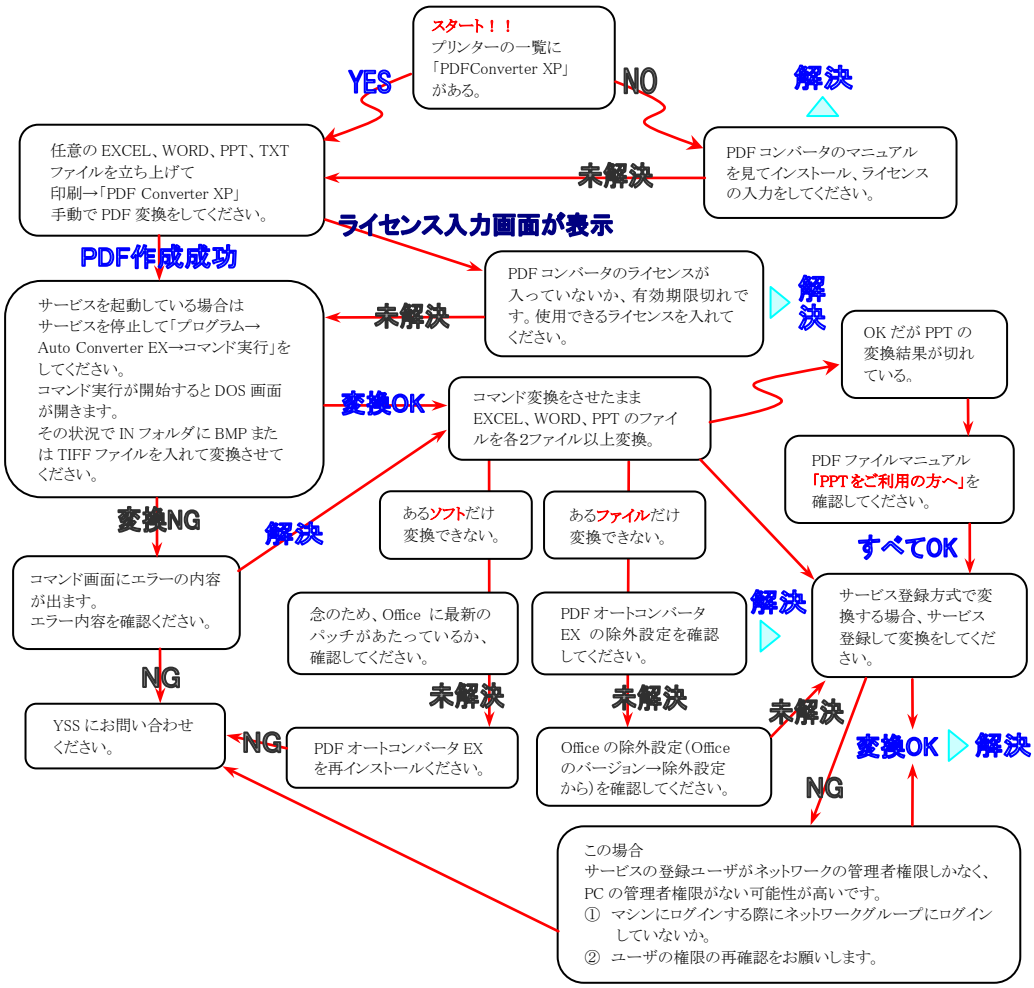
◆ 連絡前の事前チェック

サービスを利用した変換が上手く行かない場合、以下の項目をチェックしてください。

- 該当サーバ･PCの管理者権限でインストール･サービス登録してください。
  （ネットワークの管理者･パスワードのないユーザではNGです。）
- OS と Office の最新のパッチがあたっていることを確認してください。
- PDF コンバータをインストールしていることを確認してください。
- ハイパースレッティング OFF にしてください。

◆ 対処法

以下に各対処法が記載されていますので、ご確認ください。



Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

11.2　上記のフォローに対応しても変換が上手くいかない場合

以下のいずれに該当するのか、切り分けをお願いします。この切り分けの情報は当社サポートに連絡する場合にも必ずご連絡ください。

① すべてのファイルが変換できない
② Office だけすべてのファイルが変換できない（画像等は変換できる）
③ Excel だけすべてのファイルが変換できない（Word や画像は変換できる）
④ 特定のファイル名だけ変換できない。
⑤ 特定のファイルだけ変換できない。

11.2.1　　すべてのファイルが変換できない場合

Excel / Word / PPT / BMP / JPEG 等**すべての種類のすべてのファイルが**変換できない場合の対応方法です。

○ まず、どのようなエラーが出ているのか確認ください。エラーも出ていない場合、何か基本的な設定の間違いが考えられます。まず、インストールマニュアルに沿って再度インストールして頂くことをお勧めします。
↓
○ それでも原因が分からない場合は当社までお問い合わせください。

11.2.2　　Office だけすべてのファイルが変換できない（画像等は変換できる）

BMP / JPEG 等は変換できるのに、Excel / Word / PPT は**どんなファイルでも変換できない**場合は以下をご確認ください。変換できるファイルがある場合は、別の項目を確認ください。

○ Office のパッチが最新になっているか確認ください。初期の Office はバグがあるため正常に動作しないことがあります。最新のパッチを必ずあててください。
↓
○ Windows Server 2008 / 2012 / Vista / 7 / 8 で変換の場合、「【重要】Windows Server 2008 / Vista / 7 / 8 における必須の設定」のページをご確認ください。
↓
○ 変換の起動ユーザが 「そのマシンのアドミニストレータ」であることを確認ください。「ネットワークやワークグループのアドミニストレータ」では権限不足で変換できません。
↓
○ それでも原因が分からない場合は当社までお問い合わせください。

11.2.3　　Excel だけすべてのファイルが変換できない場合

Word/PPT/BMP/JPEG は変換できるが、Excel だけは**どんなファイルでも変換できない**場合は以下をご確認ください。Excel で変換できるファイルがある場合は、別の項目を確認ください。

○ Office のパッチが最新になっているか確認ください。初期の Office はバグがあるため正常に動作しないことがあります。最新のパッチを必ずあててください。
↓
○ Windows Server 2008 / 2012 / Vista / 7 / 8 で変換の場合、「【重要】Windows Server 2008 / Vista / 7 / 8

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

における必須の設定」のページをご確認ください。

↓

○　変換の起動ユーザが 「そのマシンのアドミニストレータ」であることを確認ください。「ネットワークやワークグループのアドミニストレータ」では権限不足で変換できません。

↓

○　それでも原因が分からない場合は当社までお問い合わせください。

11.2.4　特定のファイル名のファイルだけ変換できない場合

ファイルや拡張子が除外され上手く変換されていない可能性が考えられます。
以下の項目をご確認ください。

◆ PDF オートコンバータ EX の除外リスト

自動変換プログラムが、in フォルダから end フォルダへのファイル移動時にエラーを検出した場合、プログラムの構成上、次の処理に進む事が出来なくなります。この場合に、移動に失敗したファイルを除外リストに追加する事で、このファイルに対する一切の処理を停止します。
除外リストは、環境設定で、一時ファイルフォルダに指定されたフォルダ下に「ignore.txt」として作成されます。
一度除外リストに追加されたファイルをもう一度処理対象にするには、このファイルを削除してください。

◆ Excel、Word、PowerPoint の使用できないアイテム（Office 2003 の機能です。）

Office 2003（Excel、Word、PowerPoint）では一度トラブルがあったファイルを使用できないアイテムとして自動検出し、登録する機能があります。こちらに登録をされたファイルは変換できません。
※使用できないアイテムは、Office 2003 の機能です。

解除の方法は Excel 2003 での操作を例に説明します。
Excel のツールバーのバージョン情報→ヘルプを選択してください。バージョン情報画面が開きます。この画面の「使用できないアイテム」ボタンをクリックしてください。使用できないアイテム画面が開きます。ここに登録されているファイルは変換できません。変換できるようにしたいファイルを選択し、「有効にする」ボタンをクリックしてください。画面からファイル名が消え、解除されたことが確認できます。

◆ 除外拡張子

以下の拡張子は、デフォルトで変換処理から除外されます。
「com, exe, bat, cmd」また、このリストを変更するには、etc¥ignoreext.txt を編集してください。
これらの拡張子が in フォルダ内で検出された場合は、エラー扱いとして end フォルダへ移動されます。
またログには「[608]:デフォルトの除外拡張子の為、処理しませんでした。」のメッセージが出力されます。

11.2.5　特定のファイルだけ変換できない場合

同じアプリケーションの別ファイルは変換できるのに、ある特定のファイルだけ変換できない場合は、ファイルに問題がある可能性が高いです。ファイルを開いて普通にプリンタに印刷ができるファイルであれば、当社サポートまでお問い合わせください。

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

11.2.6　お問い合わせについて

本製品をインストールして正常に動作しなかった場合、このインストール・ガイドのインストール手順をもう一度確認してください。それでもエラーが発生する場合、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
また、お客様の使用方法によっては、個別の設定が必要な場合もあります。
お問い合わせの際には下記内容をお問い合わせ先までお知らせください。

ご連絡先	ご氏名	
	E-Mail アドレス	
	TEL	
	FAX	
	保守契約番号	
	ライセンス番号	
	メディア番号	
	貴社名	
	貴部署・役職	
ご使用環境	当社製品名	
	バージョン	
	製品版/体験版	
	インストール時期	
	マシン	
	CPU	
	メモリ	
	OS	
	OS のバージョン	
	特記事項	
問題の現象について	件名	
	内容	
添付ファイル一覧	現象の再現確認のため、問題の現象が確認されたファイル等のご提供をお願いします。	
	添付ファイル名	
その他	特定のファイルで問題が起きる等の場合は、当該ファイルを作成したアプリケーション等についてもご記入ください。	

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.

お問い合わせ先
株式会社ワイ･エス･エス
サポート窓口
E-mail：contact@iothe.co.jp
TEL：044-211-9332

OEM 製品でご使用を頂いている場合には、OEM 製品提供窓口にお問合せください。

※ Microsoft、PowerPoint、Word、Excel および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)及びその子会社の各国での商標です。
※ その他の製品名および社名は各社の登録商標または商標です。
※ 製品の仕様は性能向上のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YSS PDF Auto Converter EX Install guidebook

Copyright(C) YSS CO., LTD.
TEL: 044-211-9332
URL: http://www.iothe.co.jp/

Copyright(C) YSS CO.,LTD. All rights Reserved.